Canon

レーザビームプリンタ

Satera

LIPS V ソフトウェアガイド

ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

本書の構成について

USB クラスドライバ、Canon Port Setting Tool についての説明、および索引を掲載しています。

目次

第 6 章　困ったときには

第 7 章　付録

はじめに

このたびはキヤノン製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みいただきました後も大切に保管してください。

本書の読みかた

マークについて

本書では、安全のためにお守りいただきたいことや取り扱い上の制限・注意などの説明に、下記のマークを付けています。

注意 取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

重要 操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルを防ぐために、必ずお読みください。

メモ 操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

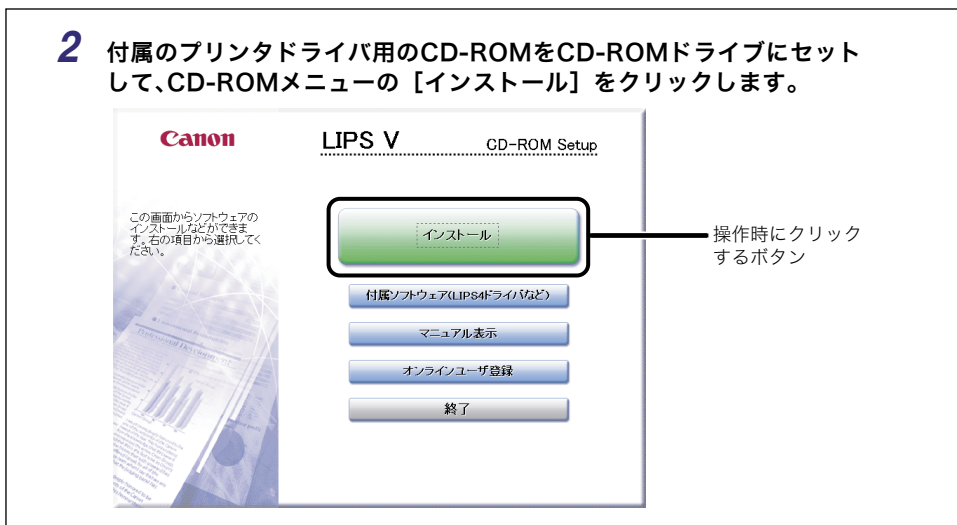
キー・ボタンの表記について

本書では、キー・ボタン名称を以下のように表しています。

- プリンタ上のキー：[キー名称]
  例：[オンライン]
- コンピュータ画面上のボタン：[ボタン名称]
  例：[OK]
  [設定]
- コンピュータ画面上のアイコン：＜アイコン＞＋（アイコン名称）
  例：（印刷）

画面について

本書で使われているコンピュータ操作画面は、お使いの環境によって表示が異なる場合があります。

操作時にクリックするボタンの場所は、（丸）で囲んで表しています。また、操作を行うボタンが複数表示されている場合は、それらをすべて囲んでいます。

略称について

本書に記載されている名称は、下記の略称を使用しています。

Microsoft® Windows® 95 operating system 日本語版：	Windows 95
Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版：	Windows 98
Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版：	Windows Me
Microsoft® Windows NT® operating system 日本語版：	Windows NT
Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版：	Windows 2000
Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版：	Windows XP
Microsoft® Windows Server™ 2003 operating system 日本語版：	Windows Server 2003
Microsoft® Windows® operating system：	Windows

商標について

Canon、Canon ロゴ、ColorGear、FontComposer、FontGallery、imageRUNNER、LASER SHOT、LIPS、PageComposer、imageWARE、NetSpot は、キヤノン株式会社の商標です。

Adobe、Adobe Acrobat は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標です。

Apple、AppleTalk、Macintosh、TrueType は、米国 Apple Computer Inc. の商標です。

AT、IBM は、米国 International Business Machines Corporation の商標です。

Microsoft、MS-DOS、Windows、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

NetWare®、Novell、IPX/SPX、NDS、NDPS、Novell Client は、米国 Novell, Inc. の商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。

ESC/P は、セイコーエプソン株式会社の商標です。

PC-98 シリーズは、日本電気株式会社の商品名です。

下記の書体は米国 Bitstream 社よりライセンスを受けています。

American Garamond Bold, American Garamond Bold Italic, American Garamond Italic, American Garamond Roman,

Bitstream Cataneo Bold, Bitstream Cataneo Bold Swash, Bitstream Cataneo Light, Bitstream Cataneo Light Swash, Bitstream Cataneo Regular, Bitstream Cataneo Regular Swash,

Bitstream Cooper Black, Bitstream Cooper Black Italic, Bitstream Cooper Black Outline,

Bitstream Roundhand Regular, Bitstream Roundhand Black, Bitstream Roundhand Bold,

Bodoni Bold, Bodoni Bold Italic, Bodoni Italic, Bodoni Roman

Century Oldstyle Bold, Century Oldstyle Italic, Century Oldstyle Roman,

Century Schoolbook Bold, Century Schoolbook Bold Italic, Century Schoolbook Italic, Century Schoolbook Roman,

Clarendon Black, Clarendon Bold, Clarendon Roman,

Cloister Black Openface, Cloister Black Regular,

Commercial PI Regular,

Commercial Script Regular,

Dutch 801 Extra Bold, Dutch 801 Extra Bold Italic, Dutch 801 Bold, Dutch 801 Bold Italic, Dutch 801 Italic, Dutch 801 Regular,

Exotic 350 Demi-Bold, Exotic 350 Bold, Exotic 350 Light,

Goudy Oldstyle Extra Bold, Goudy Oldstyle Handtooled, Goudy Oldstyle Italic, Goudy Oldstyle Bold, Goudy Oldstyle Bold Italic, Goudy Oldstyle Roman,

Holiday PI

Poster Bodoni Italic, Poster Bodoni Roman,

Prima Sans Bold, Prima Sans BT, Prima Serif Bold, Prima Serif BT, Prima Mono Bold, Prima Mono BT,

Ribbon 131 Bold, Ribbon 131 Regular,

Serifa Black, Serifa Bold, Serifa Bold Condensed, Serifa Italic, Serifa Light, Serifa Light Italic, Serifa Thin, Serifa Thin Italic, Serifa Roman,

Snowcap Regular,

Staccato 222, Staccato 555,

Swiss 721 Black Extended, Swiss 721 Black Outline, Swiss 721 Black Rounded, Swiss 721 Bold, Swiss 721 Bold Condensed, Swiss 721 Bold Condensed Italic, Swiss 721 Bold Extended, Swiss 721 Bold Italic, Swiss 721 Bold Outline, Swiss 721 Bold Rounded, Swiss 721 Condensed, Swiss 721 Condensed Italic, Swiss 721 Extended, Swiss 721 Italic, Swiss 721 Light, Swiss 721 Light Condensed, Swiss 721 Light Condensed Italic, Swiss 721 Light Italic, Swiss 721 Thin, Swiss 721 Thin Italic, Swiss 721 Roman,

Symbol Proportional Regular,

Zapf Humanist 601 Bold, Zapf Humanist 601 Bold Italic, Zapf Humanist 601 Italic, Zapf Humanist 601 Roman, Zapf Humanist 601 Ultra, Zapf Humanist 601 Ultra Italic

下記の書体は米国 Bitstream 社の商標です。

Bitstream Cataneo, Dutch 801, Snowcap, Swiss 721

下記の書体は Kingsley-ATF Type 社の商標です。

Cloister Black, Century Oldstyle, Century Schoolbook, Goudy Oldstyle

下記の書体は Fundicion Tipografica 社の商標です。

Serifa

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

Windows 用プリンタドライバの主な設定項目

お使いの機種や OS によって、設定できる項目は異なります。詳しくは、ヘルプを参照してください。

[ページ設定］ページ

お気に入り	目的に応じたプリンタドライバの設定が登録されています。リストから項目を選択すると、一度にプリンタドライバの設定変更を行うことができます。お気に入り項目は、追加したり編集したりすることができます。
出力方法	印刷ジョブの処理方法を設定します。
原稿サイズ	アプリケーションソフトウェアで作成された原稿のサイズを設定します。
出力用紙サイズ	印刷する用紙のサイズを設定します。［原稿サイズ］と異なるときは、自動的に拡大または縮小されて印刷されます。
部数	印刷する部数を設定します。
印刷の向き	用紙の方向に対して印刷する向きを縦または横で設定します。
ページレイアウト	1枚の用紙に複数ページの原稿を印刷するか（Nページ印刷）、複数の用紙に1ページ分の原稿を印刷するか（ポスター印刷）を設定します。1ページの原稿を1枚の用紙に印刷するときは、倍率を指定できます。Nページ印刷を選択した場合は配置順を設定できます。
スタンプ	原稿に透かし文字（「COPY」や「社外秘」など）を重ね合わせて印刷します。 ［スタンプ編集］で独自にスタンプを登録／編集することができます。
設定確認	プリンタドライバで設定された項目内容を［設定確認］ダイアログボックスで確認できます。
NetSpot Job Monitorを表示する	インストールしているNetSpot Job Monitorを起動します。
ユーザ定義用紙	［ユーザ定義用紙］ダイアログボックスで独自の用紙サイズを設定しておくことができます。
ページオプション	印刷時にページ枠や日付、ユーザ名、ページ番号を印刷するかどうかなどを設定します。 また、オーバレイ印字を行うかどうかを設定します。

[仕上げ］ページ

お気に入り	［ページ設定］ページの項を参照してください。
出力方法	印刷ジョブの処理方法を設定します。
印刷方法	両面ユニットが装着されている場合、片面印刷、両面印刷、製本印刷のいずれかの印刷方法を選択できます。製本印刷では、［製本詳細］で製本の方法などを設定できます。
印刷の向きが異なる用紙を組み合わせる	サイズや向きが異なるデータが混在するときに、排紙方法を設定します。
とじ方向	片面印刷または両面印刷の場合、とじ方向を長辺とじ（右または左）、短辺とじ（上または下）から選択できます。［とじしろ］で、とじしろの幅を指定できます。
排紙方法	排紙方法を選択します。
部単位で印刷する	複数部数印刷時に部単位ごとに排紙します。
排紙先	排紙先を設定します。
NetSpot Job Monitorを表示する	インストールしているNetSpot Job Monitorを起動します。
設定確認	［ページ設定］ページの項を参照してください。
仕上げ詳細	仕上げに関する詳細な設定を行います。

[お気に入りの追加］ダイアログボックス

名称	追加するお気に入りの名称を入力します。
アイコン	追加するお気に入りのアイコンを選択します。
コメント	追加するお気に入りのコメントを入力します。
設定確認	現在設定している項目の一覧が表示されます。

[お気に入りの編集］ダイアログボックス

追加したお気に入りを編集します。お気に入りの削除や、お気に入り一覧に表示する順序の変更、名称、アイコン、コメントの変更が行えます。また、お気に入りをファイルに保存したり、保存してあるお気に入りを読み込むことができます。

[ユーザ定義用紙］ダイアログボックス

用紙一覧	定型用紙と登録しているユーザ定義用紙の名称とサイズが表示されます。
ユーザ定義用紙名	登録するユーザ定義用紙の名称を入力します。
単位	サイズ単位にミリメートルかインチのどちらを採用するかを選択します。
用紙サイズ	サイズ一覧で選択したサイズの高さと幅の寸法を入力します。

[ページオプション］ダイアログボックス

[ページ修飾]ページ	ページ枠	ページ枠を印刷する場合に、リストから印刷する枠の種類を選択します。印刷しないときは[枠なし]を選択します。
	日付を印刷	印刷時の日付を印刷するかどうかと印刷する位置を設定します。
	時刻も印刷	印刷時の時刻を印刷するかどうかを設定します。
	ユーザ名を印刷	ユーザ名を印刷するかどうかと印刷する位置を設定します。
	ページ番号を印刷	ページ番号をつけて印刷するかどうかと印刷する位置を設定します。
	書式設定	日付やページ番号を印刷する際の書式の設定を行います。
[オーバレイ]ページ	処理方法	オーバレイ機能を使って印刷を行うかどうかを設定します。フォームファイルを作成するかも本項目で設定します。
	ファイル名	フォームファイルを作成するときに、フォームファイルのファイル名を選択します。[ファイル参照]で既存のファイルを選択したり、新規にフォームファイルを作成することができます。
	ファイル情報	選択したフォームファイルの情報が表示されます。

[製本詳細］ダイアログボックス

製本印刷の方法	製本印刷をどのように行うか設定します。
開き方向	左開きか右開きかを選択します。印刷の向きが横の場合は、上開きか下開きかを選択します。
製本とじしろを指定する	とじしろをつけるかどうかを設定します。つける場合、ミリ単位でとじしろの幅を指定します。

[仕上げ詳細］ダイアログボックス

イメージモード時キャリブレーションを行う	イメージモードで印刷するときに、キャリブレーションを行います。
パネルに表示する名称	印刷中にプリンタのパネルに表示する文字列を入力します。
用紙の左上を原点として印字する	用紙の左上余白０mmを原点として印字します（通常は５mm）。
印字領域を広げて印刷する	余白を0mmにして、印字可能な領域を広げます。
トレイ用紙サイズのチェックを行う	印刷データの用紙サイズと給紙トレイの用紙サイズが異なる場合にメッセージを表示させるときに設定します。
印刷の向きを180 度回転する	印刷を180 度回転させて出力します。
白紙節約モード	白紙ページを出力するかどうかを設定します。
はがき印刷	はがきを印刷するときの印刷方法を選択します。
フェースアップ時に排紙順序を逆にする	フェースアップ排紙を行う場合に、ページ順序を合わせるため排紙順序を逆にして出力します。
デバイスにダウンロードされた外字を使う	外字（Shift-JIS：F040～F9FC）の印刷方法を設定します。
処理オプション	排紙などの仕上げ関連において思いどおりに出力できない場合は、このボタンをクリックして［処理オプション］ダイアログボックスで設定します。

[給紙］ページ

お気に入り	［ページ設定］ページの項を参照してください。
出力方法	印刷ジョブの処理方法を設定します。
給紙方法	ページごとに給紙を設定します。
給紙部	用紙の給紙方法を指定します。
用紙名称	リモートUIで設定した用紙の愛称で給紙先を選択します。
用紙タイプ	印刷用紙の種類を選択します。
ユーザ定義用紙を縦送りにする	ユーザ定義用紙を縦送りに印刷するときに設定します。
印刷済み用紙の裏面に印刷する	手差しトレイから手動で両面印刷する場合に、印刷済み用紙の裏面を印刷するときに設定します。
設定確認	［ページ設定］ページの項を参照してください。
NetSpot Job Monitorを表示する	インストールしているNetSpot Job Monitorを起動します。

［印刷品質］ページ

お気に入り	［ページ設定］ページの項を参照してください。
出力方法	印刷ジョブの処理方法を設定します。
印刷目的	原稿の種類に合わせた印刷設定を選択します。［設定］で印刷品質の詳細を設定できます。
印刷品質	印刷する原稿の品質を選択します。独自に原稿の品質を設定する場合は、［ユーザ設定］を選択したあとに［設定］をクリックします。
設定	印字についての詳細な設定を行います。
カラーモード	カラー印刷を行うか、モノクロ印刷を行うかを選択します。
色／グレーの設定を行う	カラー／グレースケールの階調の調整を行って印刷するときに設定します。［色／グレー設定］で明度やコントラストの調整や補正を設定できます。
色／グレー調整サンプルプリント	［色／グレー設定］ダイアログボックスの色／グレー調整シートに表示される「明度／コントラスト」のサンプルイメージを印刷するときに設定します。
設定確認	［ページ設定］ページの項を参照してください。
NetSpot Job Monitorを表示する	インストールしているNetSpot Job Monitorを起動します。

［デバイスの設定］ページ

給紙オプション	プリンタに装着されている給紙オプションを設定します。
排紙オプション	プリンタに装着されている排紙オプションを設定します。
両面ユニット	両面ユニットを使用するかどうかを設定します。
両面モデル	両面モデルの機種をお使いの場合に設定します。
拡張メモリ	プリンタにメモリを増設した場合、増設したメモリの容量を選択します。
内部スプール処理	印刷データをコンピュータ側でスプールさせるかどうかを設定します。
パスワードの設定を許可する	[ID／パスワードの設定]ダイアログボックスで[パスワード]の設定をしたいときにチェックします。
デバイス機能	デバイスの機能バージョンを設定します。
フォント設定	原稿中のTrueTypeフォントの扱いかたを設定します。
給紙方法と用紙の割り当て	プリンタに装着されているカセットや手差しトレイに収納されている用紙のサイズと向きを設定します。
デバイス情報取得	NetSpot Job Monitorを介してデバイス情報が自動的に取得されて、プリンタドライバの設定値に反映されます。

［お気に入り］ページ

お気に入り一覧	目的に応じたプリンタドライバの設定が登録されています。リストから項目を選択すると、一度にプリンタドライバの設定変更を行うことができます。お気に入り項目は、追加したり編集したりすることができます。
新規追加	お気に入りを新規に追加します。
編集	追加したお気に入りを編集します。
削除	追加したお気に入りを削除します。
ファイル読み込み	ファイルに保存したお気に入り項目を読み込みます。
ファイル保存	追加したお気に入りをファイルに保存します。
ドキュメントプロパティでの許可	ドキュメントからプリンタの設定を行うとき、お気に入りの選択や編集を許可するかどうかを設定します。

［ユーザ設定］ダイアログボックス

グラフィックモード	印刷データをLIPSコントロールコードのデータに変換して印刷するか（LIPSモード）、ビットマップデータ（イメージモード）で印刷するかを選択します。
モード詳細	カラー原稿を印刷するときの処理方法（モノクロプリンタではカラー原稿をグレースケールに変換するときの処理方法）を設定します。
諧調	中間調のデータを印刷するときの階調を設定します。
カラー／モノクロ中間調	中間調を印刷するときのディザパターンを選択します。
ホスト展開	グラフィックをよりきれいに印刷するときに設定します。ただし、グラフィックデータがアプリケーションソフトウェアからのプリンタドライバで処理されるため、アプリケーションソフトウェアの解放に時間がかかります。
高精細モード	ホスト展開を選択したときにグラフィックデータをより美しく印刷させるときに設定します。
TrueTypeフォントをプリンタフォントとして置き換える	原稿にあるTrueTypeフォントをプリンタが持つフォントに置き換えて印刷します。TypeWing機能を使うTrueTypeフォントの印刷時間を短縮して印刷するときに設定します。
イメージデータを補正する	低解像度のイメージデータをなめらかに印刷します。
ドラフトモード	トナーを節約して印刷する機能を使うかどうかを設定します。
処理オプション	印字関連において思いどおりに出力できない場合は、このボタンをクリックして［処理オプション］ダイアログボックスで設定します。

［色／グレー設定］ダイアログボックス

［色／グレー調整］ページ	調整後の画像	サムネイルや明るさ／コントラストで設定した値を反映したサンプル画像が表示されます。
	元の画像	調整前のサンプル画像が表示されます。
	明るさ／コントラスト	原稿（オリジナル）の明度やコントラストを調整して印刷するときに設定します。スライダーを使って調整します。
	調整の対象	調整する対象をイメージ、グラフィックス、テキストから選択します。
［マッチング］ページ	マッチングモード	マッチング方法について設定します。
	イメージ	写真などのイメージを元の原稿やモニタに表示された状態に近づけた印刷にしたいときにマッチングを設定します。
	グラフィックス	図形などのグラフィックスを元の原稿やモニタに表示された状態に近づけた印刷にしたいときにマッチングを設定します。
	テキスト	文字を元の原稿やモニタに表示された状態に近づけた印刷にしたいときにマッチングを設定します。
	キヤノンファインを使う	カラー原稿を補正してきれいに印刷します。
	ガンマ補正	印刷結果の明るさをガンマ補正して調整することができます

［フォント設定］ダイアログボックス

［フォント置き換えテーブル］ページ	コンピュータシステムにインストールされているTrueTypeフォントのリストが表示されます。それぞれについて、印刷時にプリンタにダウンロードするのか、プリンタに内蔵されている特定のフォントに置き換えるのかを設定します。
［オプションフォント］ページ	プリンタにオプションフォントが追加されているとき、オプションフォントを登録することができます。

［給紙方法と用紙の割り当て］ダイアログボックス

カセットや手差しトレイの給紙元ごとに、収納されている用紙のサイズと向きを設定します。

［お気に入りの追加／編集］ダイアログボックス

お気に入りの表示	名称	追加するお気に入りの名称を入力します。
	アイコン	追加するお気に入りのアイコンを選択します。
	コメント	追加するお気に入りのコメントを入力します。
ページ設定	［ページ設定］ページの項を参照してください。	
仕上げ	［仕上げ］ページの項を参照してください。	
給紙	［給紙］ページの項を参照してください。	
印刷品質	［印刷品質］ページの項を参照してください。	

ご使用の前に

プリンタを使用する前にインストールする必要があるソフトウェアについて説明しています。

印刷する前に必要な作業

プリンタの設置が完了したら、次は印刷に必要なソフトウェアのインストールを行う必要があります。

お使いの環境に合ったソフトウェアをインストールしてください。

Windows をお使いの場合

■ プリンタドライバをインストールする（→第 2 章：Windows から印刷するには）

プリンタドライバは、アプリケーションソフトウェアから印刷するときに必要なソフトウェアです。プリンタドライバで印刷に関する設定を行います。お使いの環境によっては、Canon Driver Information Assist Service のインストールも必要となります。

■ その他のソフトウェアをインストールする（→第 5 章：プリンタのユーティリティソフトウェアを使用するには）

デバイスまたは使用環境に応じて、印刷状況閲覧ソフトウェア「NetSpot Job Monitor」、デバイスのプロトコル初期設定用ソフトウェア「NetSpot Device Installer」、TrueType フォントソフトウェア「FontGallery」をインストールしてください。

Macintosh をお使いの場合

■ **プリンタドライバをインストールする（→第 3 章：Macintosh から印刷するには）**

プリンタドライバは、アプリケーションソフトウェアから印刷するときに必要なソフトウェアです。プリンタドライバで印刷に関する設定を行います。プリンタに発生したエラーやプリンタに関する情報を取得するためのソフトウェア「プリントモニタ」もインストールされます。

■ **その他のソフトウェアを使用する（→第 5 章：プリンタのユーティリティソフトウェアを使用するには）**

TrueType フォントソフトウェア「FontGallery」をインストールします。

Mac OS X をお使いの場合は、デバイスのプロトコル初期設定用ソフトウェア「NetSpot Device Installer」をご利用になれます。

DOS をお使いの場合

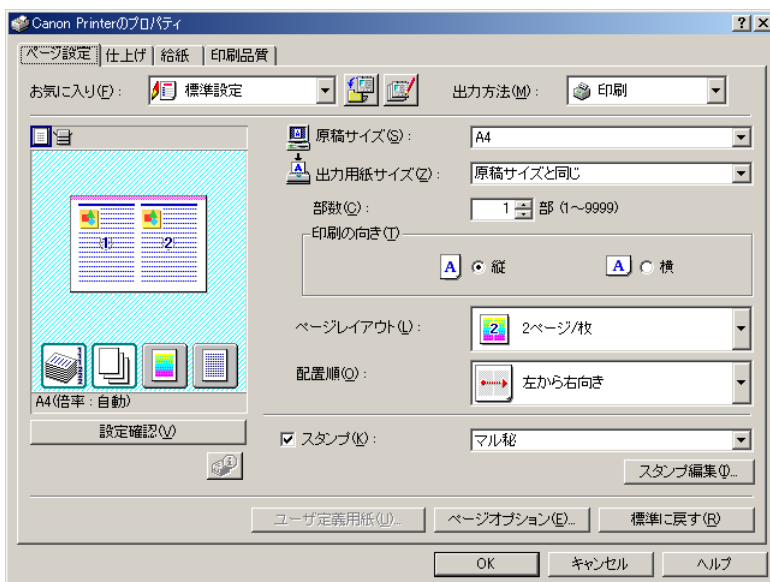
■ **アプリケーションソフトウェアからの設定（→第 4 章：DOS から印刷するには）**

プリンタドライバをインストールする必要はありません。アプリケーションソフトウェアから設定を行います。

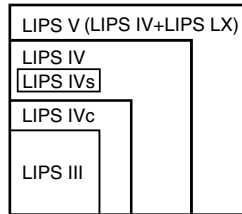
ソフトウェアの紹介

ここでは本製品に関連するソフトウェアを紹介しています。

LIPS V プリンタドライバ

アプリケーションソフトウェアから印刷するときに必要なプリンタドライバソフトウェアです。アプリケーションソフトウェアの印刷データをLIPSプリンタ用のデータに変換して、プリンタへ送ります。印刷データの変換以外にも、印刷データをスプールする機能や印刷条件を設定する機能を持っており、拡大・縮小やとじしろ、色／グレー調整など、さまざまな印刷の仕上がりを設定することができます。本ソフトウェアは付属の CD-ROM に収録されています。

LIPS V プリンタドライバは、LIPS IV から進化した、キヤノン独自の新しいプリンティングシステムです。LIPS V は、LIPS IV と LIPS LX から構成され、お使いの OS に最適なプリンタドライバを提供します。Windows 98/Me、Mac OS 9 には LIPS IV、Windows 2000/XP/Server 2003、Mac OS X には LIPS LX をインストールしてください。

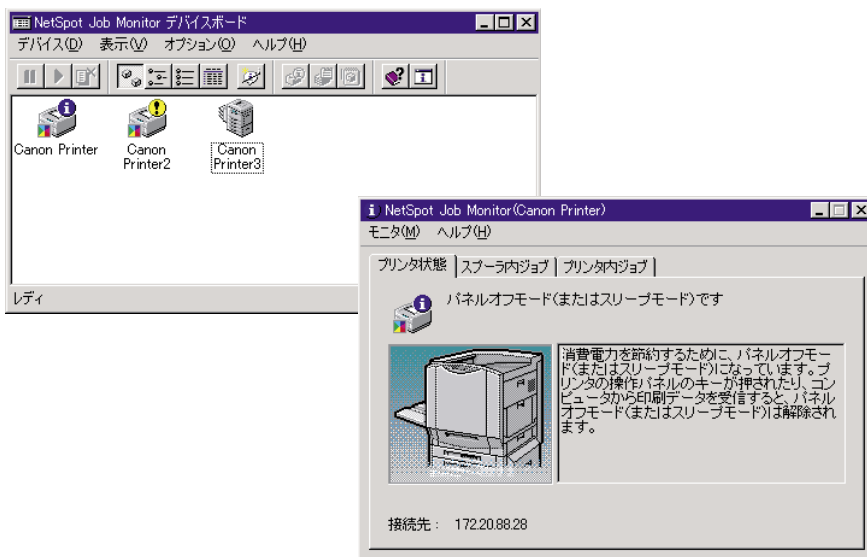
LIPS LX は、印刷データの処理をコンピュータとプリンタで負荷分散することによって、最適な速度で出力することを可能にします。従来よりも高速で安定した印刷ができるほか、少ないメモリでの動作を実現します。

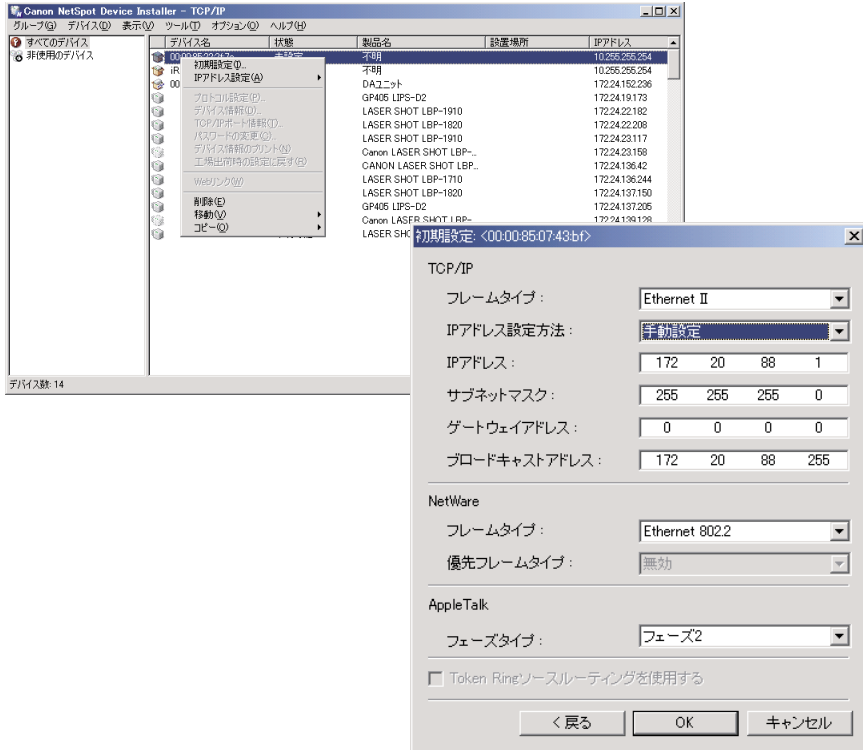
1
ご使用の前に

Canon LPR2

Canon LPR2 は、TCP/IP ネットワーク上のプリンタに印刷するためのソフトウェアです。本ソフトウェアは、LPR、RAW、IPP に対応しています。また、本ソフトウェアに登録されているプリンタのステータスや印刷ジョブの処理状況を確認することができます。本ソフトウェアは付属の CD-ROM に収録されています。インストール方法、設定方法は CD-ROM に収録されている「Canon LPR2 ユーザーズガイド 」(PDF 取扱説明書）を参照してください。詳しい使用方法は、オンラインヘルプを参照してください。

NetSpot Suite

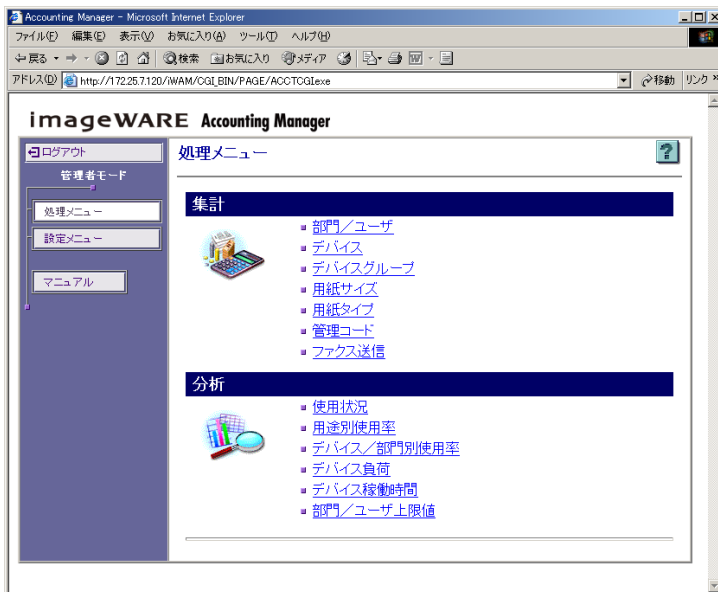
NetSpot Job Monitor

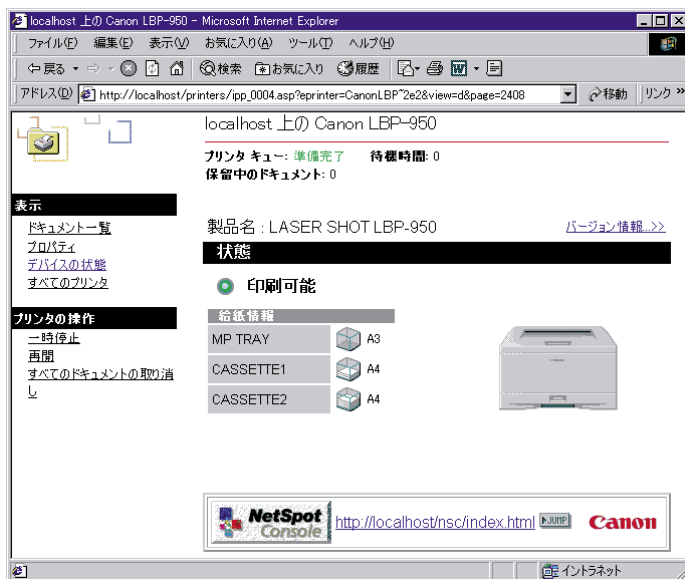
プリンタの状態を表示したり、処理中の印刷データを操作するためのユーティリティソフトウェアです。プリンタポートに接続されたプリンタだけでなく、ネットワーク経由で接続されているプリンタの状態もコンピュータ画面上に表示できます。また、印刷待ちデータの一時停止・再開・削除などが行えます。本ソフトウェアは付属の CD-ROM に収録されています。インストール方法は「NetSpot Job Monitor をインストールする」(→ P.5-2)を参照してください。

NetSpot Device Installer

ネットワークに接続されたキヤノン製デバイスのネットワークプロトコルの初期設定を行うユーティリティソフトウェアです。NetSpot Device Installer は、コンピュータへのインストールが不要で、簡単にデバイスの初期設定を行うことができます。本ソフトウェアは付属の CD-ROM に収録されています。インストール方法は「NetSpot Device Installer を使用する」(→ P.5-15) を参照してください。

imageWARE Accounting Manager

imageWARE Accounting Manager は、社内や部門内からのプリンタの印刷履歴を収集・管理するためのソフトウェアです。

ジョブアカウントを使用すると、誰が、いつ、どのプリンタに、何ページ印刷したかなどの情報や、その費用などを調べることができ、印刷枚数の集計管理、プリンタの最適な配置、部門ごとへの費用の割り振りなどを行うことができます。

imageWARE Accounting Manager は、別売のアプリケーションソフトウェアとなっております。詳しい情報は、お近くのキヤノン製品取扱店におたずねください。

Device Status Extension

プリンタを共有しているときは、お手持ちの Web ブラウザから共有プリンタの情報を表示することや印刷ジョブの操作などを行うことができます。Device Status Extension をインストールすることで、Device Status Extension に対応しているプリンタのプリンタ情報を表示する画面を、キヤノンが提供する画面に切り替えることができます。さらに、NetSpot Console をお使いの場合は、Device Status Extension の画面から NetSpot Console を起動することもできます。本ソフトウェアは、付属の CD-ROM に収録されています。インストール方法、使用方法は、［DSE］フォルダの Readme ファイルを参照してください。

FontGallery

FontGallery には、和文書体、かな書体、欧文書体が収められています。これらのフォントをお使いいただくことで、より多彩な文字表現が可能になります。また、欧文書体には、ユーロフォントも含まれていますので、アクセント記号や特殊な記号を表現することもできます。本ソフトウェアは付属の CD-ROM に収録されています。

リモート UI

リモート UI は、お手持ちの Web ブラウザを使ってプリンタの管理を行うためのソフトウェアです。Web ブラウザからネットワーク経由でプリンタにアクセスして、プリンタの状況の確認やジョブの操作、各種設定などができます。リモート UI の使用方法については、「リモート UI ガイド」を参照してください。

暗号化セキュアプリント　ドライバ Add-in for Client PC

暗号化セキュアプリントは、コンピュータから印刷するときに、印刷データを暗号化することによってデータ通信時のセキュリティを強化するソフトウェアです。本ソフトウェアをお使いになると、他のユーザに内容を見られずに印刷を行うことができ、不正な情報漏洩の防止が可能となります。本ソフトウェアは、暗号化セキュアプリント用の CD-ROM に収録されています。インストール方法、使用方法は、CD-ROM 内の Readme ファイルおよびオンラインヘルプを参照してください。

Windows から印刷するには

2
CHAPTER

Windows にプリンタドライバをインストールする手順、印刷する方法、および本プリンタの機能について説明しています。

印刷するときに必要な作業

Windows から印刷するときに必要な作業は、次のとおりです。

プリンタを設置したあとに行う作業

プリンタを設置したあとに行う作業は、次のとおりです。

■ プリンタドライバをインストールする（→ P.2-5）

プリンタドライバは、アプリケーションソフトウェアから印刷するときに必要なソフトウェアです。プリンタドライバで印刷に関する設定を行います。お使いの環境によっては、Canon Driver Information Assist Service のインストールも必要となります。

印刷のたびに行う作業

印刷のたびに行う作業は、次のとおりです。

■ 印刷設定を行う

プリンタの用紙サイズ、原稿サイズ、印刷部数などをプリンタドライバで設定します。これらの設定が適切でないと、期待した結果が得られない場合があります。

■ 印刷する

アプリケーションソフトウェアから印刷するためのメニューを選択します。この操作は、アプリケーションソフトウェアごとに異なりますので、各アプリケーションソフトウェアに付属の取扱説明書を参照してください。

必要なシステム環境

プリンタドライバを利用するには、次のシステム環境が必要です。

■ **プリンタドライバ**

プリンタドライバは以下のシステム環境でご利用になれます。

- OS
  - ・Microsoft Windows 98/Me 日本語版
  - ・Microsoft Windows 2000 Server/Professional 日本語版
  - ・Microsoft Windows XP Professional/Home Edition 日本語版
  - ・Microsoft Windows Server 2003 日本語版
- コンピュータ
  - ・上記 OS が動作するコンピュータ
- メモリ
  - ・上記 OS が動作するために必要なメモリ

重要

- 日本語以外の OS には対応していません。
- Windows 98/Me には LIPS IV プリンタドライバが、Windows 2000/XP/Server 2003 には LIPS LX プリンタドライバがインストールされます。
- Windows 2000/XP/Server 2003 に、LIPS IV プリンタドライバをインストールしたい場合は、自動表示された CD-ROM メニューを一度終了し、［マイコンピュータ］－［CANON_LIPS］を右クリックして開き、［LIPSV］－［LIPS4］フォルダから［SETUP.EXE］をダブルクリックしてインストールを行ってください。LIPS LX プリンタドライバで使用できないプリンタフォントを使用したい場合のみ、LIPS IV プリンタドライバをインストールしてください。
- Windows 95/NT 4.0 には対応していません。

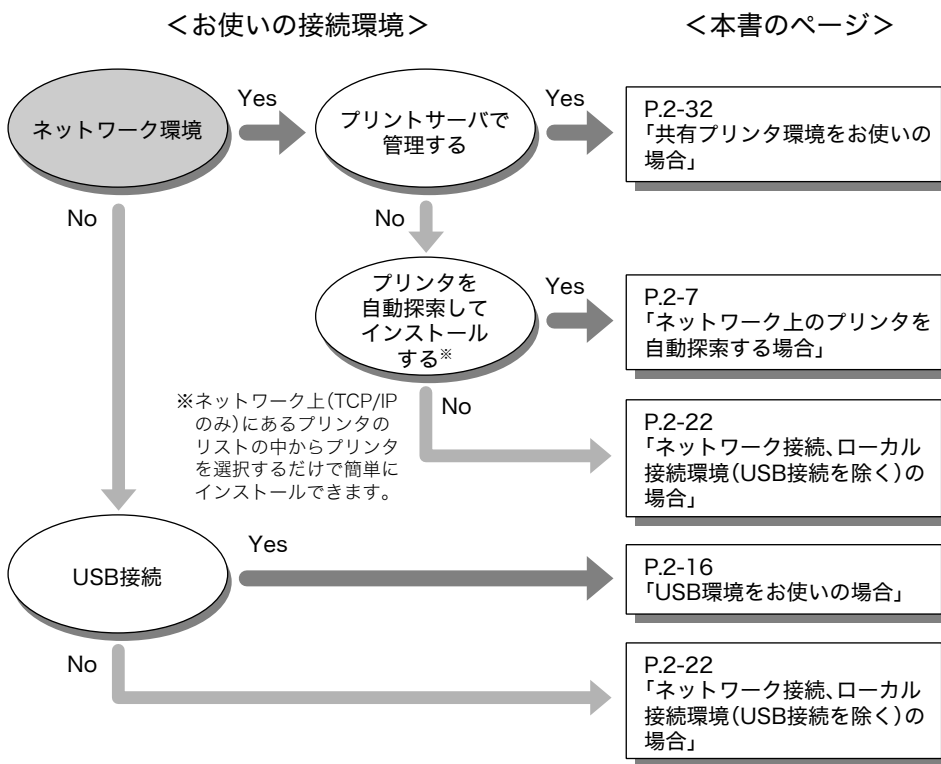
■ **USB 関連ドライバ**

USB 環境をお使いの場合、以下のシステムで USB クラスドライバ関連ファイルをご利用になれます。

- OS
  - ・Microsoft Windows 98/Me 日本語版
  - ・Microsoft Windows 2000 Server/Professional 日本語版
  - ・Microsoft Windows XP Professional/Home Edition 日本語版
  - ・Microsoft Windows Server 2003 日本語版
- コンピュータ
  - ・上記 OS が動作するコンピュータ
- メモリ
  - ・上記 OS が動作するために必要なメモリ

Windows 98 をお使いの場合、Windows 98 プリインストールモデルのみに対応しています。Windows 95/3.1 から Windows 98 へアップグレードした環境では使用できません。

プリンタドライバをインストールする

プリンタを使用するには、そのプリンタに適したプリンタドライバが必要です。
ここでは、プリンタドライバのインストール手順について説明しています。
お使いのプリンタの接続環境に合ったインストール方法を選択してください。

重要

本書では、インストーラでの手順を記載しております。Windows の［プリンタ］フォルダ（Windows XP/Server 2003 の場合は、［プリンタと FAX］フォルダ）からプリンタドライバをインストールする場合は、ファイル指定のウィザードで必ず以下のファイルを指定してください。また、その場合インストール後は、必ずコンピュータを再起動してください。以下のファイル以外のファイルを指定した場合、Microsoft 製のプリンタドライバがインストールされることがあります。

・Windows 98/Me 用ファイル：
　CD-ROM ドライブ ¥LIPSV¥LIPS4¥win98_me

・Windows 2000/XP/Server 2003 用ファイル：
　CD-ROM ドライブ ¥LIPSV¥LIPSLX¥win2k_xp（LIPS LX プリンタドライバ）
　CD-ROM ドライブ ¥LIPSV¥LIPS4¥win2k_xp（LIPS IV プリンタドライバ）

メモ

本書では Windows 2000 にインストールする場合の画面を使用しています。お使いの OS によって表示が異なる場合があります。

ネットワーク上のプリンタを自動探索する場合

ネットワークプロトコルとして TCP/IP をお使いの場合は、本手順でプリンタドライバをインストールします。ネットワーク上にあるプリンタを自動検索して、プリンタを選択するだけで簡単にインストールできます。

重要 本インストール方法は、TCP/IP ネットワーク環境（ネットワークプロトコル）でのみインストールできます。お使いのネットワーク環境がわからない場合は、ネットワーク管理者にご確認ください。

1 プリンタを正しく接続したあと、プリンタの電源が入っていること、およびプリンタのオンラインランプが点灯していることを確認します。

重要
- インストール前に、他のアプリケーションソフトウェアをすべて終了してください。
- プリンタの電源が入っていないときや、オフラインのときにインストールすると、正常にインストールできないことがあります。
- プラグアンドプレイの自動インストールにより、ウィザードが表示された場合は、［キャンセル］をクリックして本手順でインストールを行ってください。
- Windows 2000/XP/Server 2003 をお使いの場合、起動した際に、必ず Administrators のメンバーとしてログオンしてください。

2 付属のプリンタドライバ用の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットして、CD-ROM メニューの［インストール］をクリックします。

CD-ROM メニューが表示されないときは、以下の手順でインストーラを起動してください。

1. CD-ROM 内の［LIPSV］フォルダにある［Setup.exe］アイコンをダブルクリックします。
2. ［Readme ファイルの表示］をクリックして Readme ファイルの内容を確認したあと、［次へ］をクリックします。
3. 使用許諾契約書の内容を確認したあと、［はい］をクリックして、手順 6 へ進みます。

3 ［LIPS V プリンタドライバ］にチェックマークが付いていることを確認したあと、［インストール］をクリックします。

チェックマークが付いているソフトウェアは、順次インストールされます。必要に応じて、チェックマークを外します。

セットアップウィザードが表示されます。

4 ［Readme ファイルの表示］をクリックして Readme ファイルの内容を確認したあと、［次へ］をクリックします。

使用許諾契約書が画面に表示されます。

5 **画面に表示された使用許諾契約書の内容を確認したあと、［はい］をクリックします。**

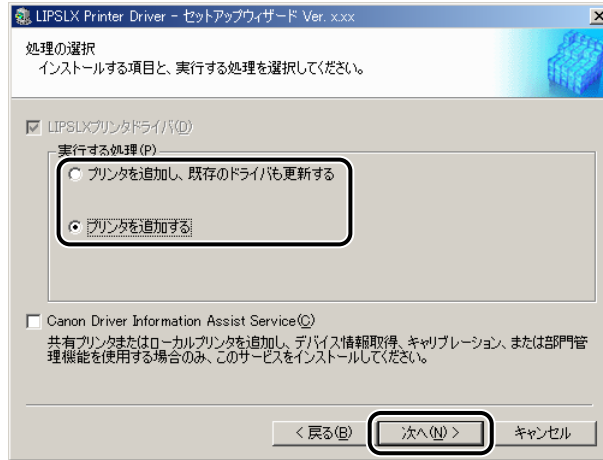
メモ

Canon Driver Information Assist Serviceが既にインストールされていて、Windowsファイアウォール機能を持っているOSをお使いの場合に、以下の画面が表示されたときは、［はい］または［いいえ］をクリックします。
［はい］をクリックすると、Canon Driver Information Assist Serviceに対するWindowsファイアウォールのブロックが解除され、デバイス情報取得やキャリブレーションを行えるようになります。

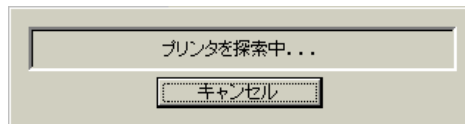
［いいえ］をクリックすると、Canon Driver Information Assist Serviceは使用できなくなります。

6 ［ネットワーク上のプリンタを探索してインストール］を選択したあと、［次へ］をクリックします。ネットワーク上にあるスリープ状態のプリンタも探索する場合は、［スリープ状態のプリンタも復帰させて探索する］にチェックマークを付けます。

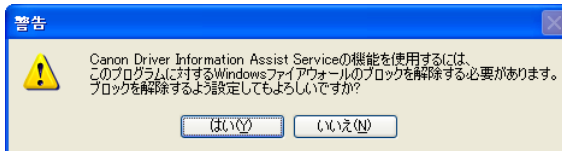
7 処理の選択画面で、［次へ］をクリックします。
共有プリンタ環境で、デバイス情報取得、およびキャリブレーションを使用する場合は、プリントサーバでインストールを行うときに［Canon Driver Information Assist Service］にチェックマークを付けます。

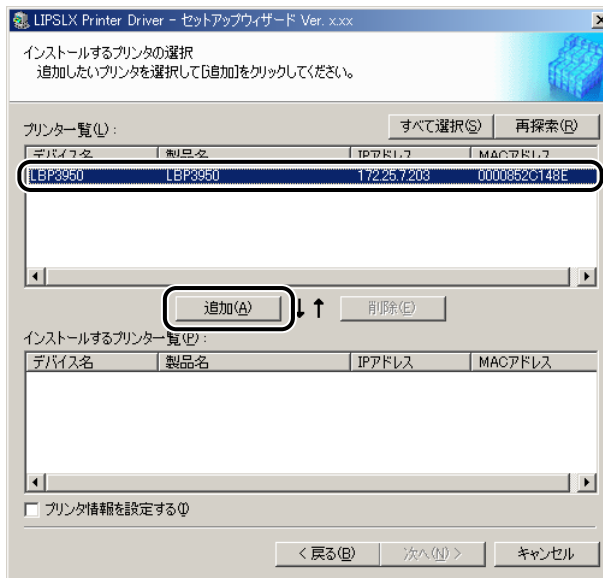
既にプリンタドライバがインストールされている場合は、以下の画面が表示されます。
実行する処理を選択したあと、［次へ］をクリックします。

インストール方法の種類

［プリンタを追加し、既存のドライバも更新する］：	新規にプリンタドライバを追加して、併せて既に登録されているプリンタドライバを更新します。
［プリンタを追加する］：	新規にプリンタドライバを追加します。
［既存のドライバは削除する］（Windows 98/Me のみ）：	既存のプリンタドライバをアンインストールして、新規にプリンタドライバを追加します。

プリンタが探索されます。

［プリンター覧］に、探索されたプリンタが表示されます。

メモ

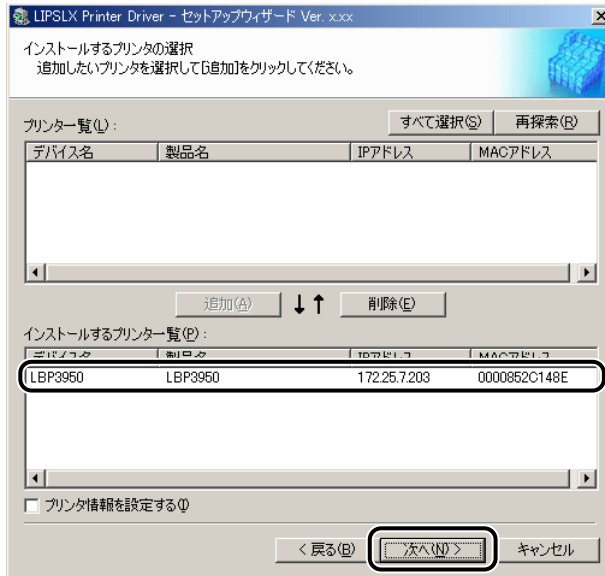
- Windows 2000/XP/Server 2003 で［プリンタを追加する］を選択した場合は、既に登録されている同じ機種のプリンタドライバのみ更新されます。
- Windows 98/Me で［プリンタを追加する］を選択した場合は、既に登録されているすべてのプリンタドライバが自動的に更新されます。
- LIPSLX/LIPS4 プリンタドライバは自動でインストールされるため、［LIPSLX プリンタドライバ］／［LIPS4 プリンタドライバ］を選択することはできません。
- Windows ファイアウォール機能を持っている OS をお使いの場合に、以下の画面が表示されたときは、［はい］または［いいえ］をクリックします。
  ［はい］をクリックすると、Canon Driver Information Assist Service に対する Windows ファイアウォールのブロックが解除され、デバイス情報取得やキャリブレーションを行えるようになります。
  ［いいえ］をクリックすると、Canon Driver Information Assist Service は使用できなくなります。

- Canon Driver Information Assist Service が既にインストールされている場合は、手順 7 で［Canon Driver Information Assist Service］が表示されません。

8 ［プリンター覧］からインストールするプリンタを選択したあと、［追加］をクリックします。

［すべて選択］をクリックすると、探索されたプリンタがすべて選択されます。プリンタが探索されない（［プリンター覧］にプリンタが表示されない）場合は、［再探索］をクリックします。

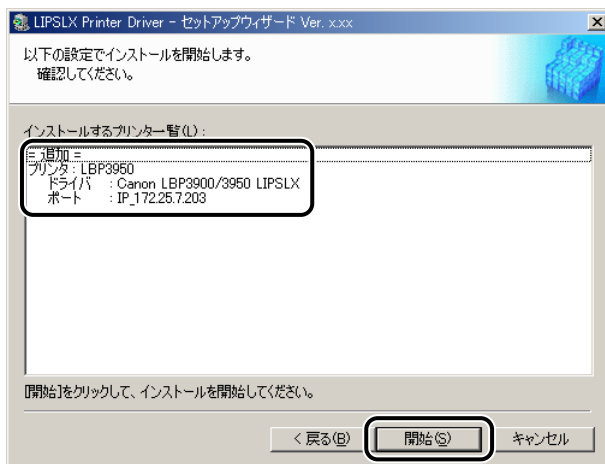
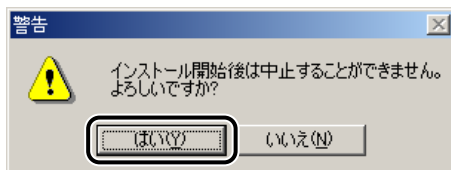
選択したプリンタが［インストールするプリンター覧］に表示されます。

メモ

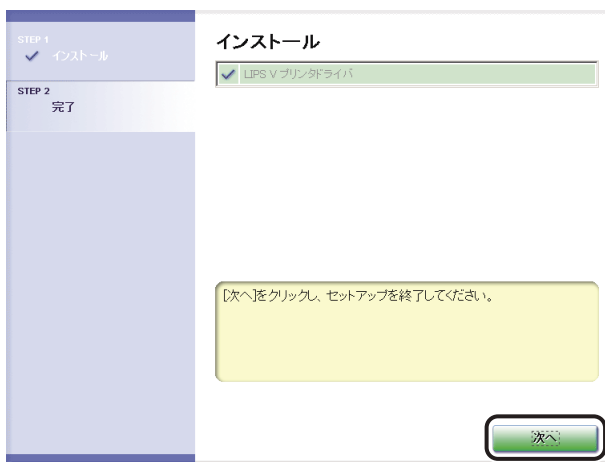
- [インストールするプリンタ一覧] からインストールしないプリンタを選択したあと [削除] をクリックすると、選択したプリンタが削除されます。
- [再探索] をクリックしてもプリンタが探索されない場合は、「ネットワーク接続、ローカル接続環境（USB 接続を除く）の場合」（→ P.2-22）を参照してインストールしてください。

9 インストールするプリンタを確認したあと、[次へ] をクリックします。

プリンタ名を変更する場合や、通常使うプリンタとして設定する場合は、[プリンタ情報を設定する] にチェックマークを付けます。

Windows 2000/XP/Server 2003 でプリンタを共有設定する場合は、表示された画面の [プリンタを共有する] にチェックマークを付けます。さらに、[共有名] に任意の共有名を入力することもできます。

10 ［インストールするプリンター覧］を確認したあと、［開始］をクリックします。

11 「インストール開始後は中止することができません。よろしいですか？」というメッセージが表示されたら、［はい］をクリックします。

インストールが開始されます。

メモ　お使いの環境によっては、コンピュータの再起動を促すメッセージが表示される場合があります。その場合は、コンピュータの再起動後にインストールを続けてください。

12 ［次へ］をクリックします。

お使いの機種によっては、この画面は表示されません。手順 13 へ進みます。

13 ［終了］をクリックします。

コンピュータを再起動する場合は、［今すぐコンピュータを再起動する］または［ただちにコンピュータを再起動する］にチェックマークを付けます。

インストール終了後に、デバイス情報の取得が自動で行われます。

メモ

- 共有プリンタ環境でデバイス情報を取得するには、プリントサーバへ Canon Driver Information Assist Service のインストールが必要です。
- プリンタドライバの［デバイスの設定］ページにおいて、手動でデバイス情報（排紙オプションなど）の設定を行うこともできます。「印刷前のプリンタ情報設定」（→ P.2-53）を参照してください。

以上でインストールの作業が終了しました。

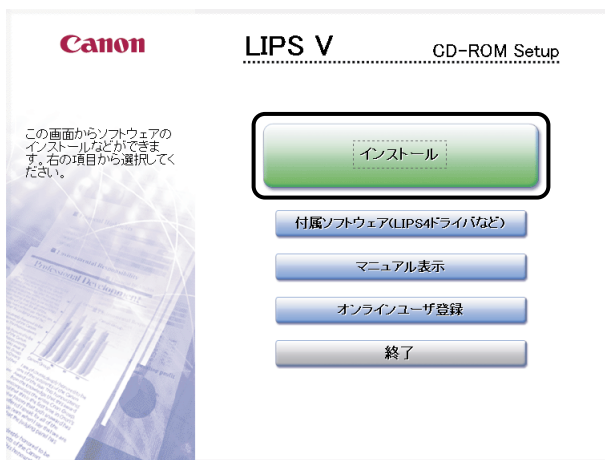
USB環境をお使いの場合

USB環境でのプリンタドライバのインストール手順について説明しています。次の手順で、ドライバをインストールしてください。

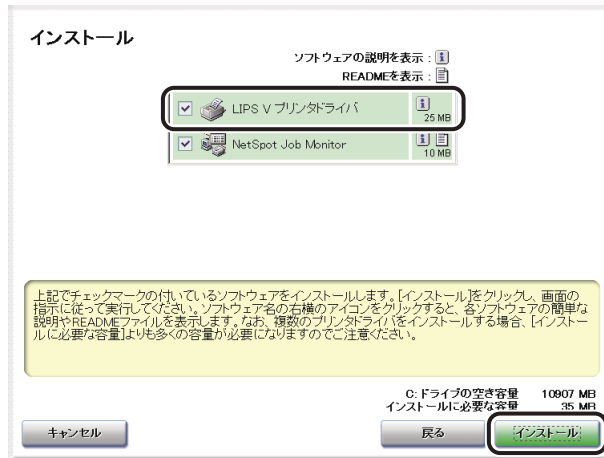
重要
- USB接続時のみ、以下の手順でインストールしてください。USBに対応していない機種では、USB接続できません。
- 既にインストールされている機種を追加してインストールを行う場合は、「ネットワーク接続、ローカル接続環境（USB接続を除く）の場合」（→P.2-22）を参照してください。
- 古いバージョンのLIPSプリンタドライバがインストールされている場合は、「ネットワーク接続、ローカル接続環境（USB接続を除く）の場合」（→P.2-22）を参照して、既存のドライバを更新してください。
- Windows 2000/XP/Server 2003をお使いの場合、起動した際に、必ずAdministratorsのメンバーとしてログオンしてください。

1 プリンタ本体とコンピュータの電源がオフになっていることを確認して、プリンタ本体とコンピュータをUSBケーブルで接続したあと、コンピュータの電源を入れ、Windowsを起動します。

重要
- プラグアンドプレイの自動インストールにより、ウィザードが表示された場合は、［キャンセル］をクリックして、本手順でインストールを行ってください。
- インストール前に、他のアプリケーションソフトウェアをすべて終了してください。

2 付属のプリンタドライバ用のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットして、CD-ROMメニューの［インストール］をクリックします。

CD-ROM メニューが表示されないときは、以下の手順でインストーラを起動してください。

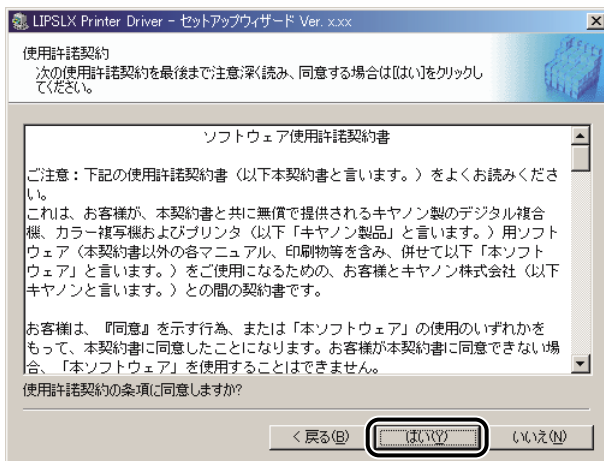
1. CD-ROM 内の[LIPSV]フォルダにある[Setup.exe]アイコンをダブルクリックします。
2. [Readme ファイルの表示]をクリックして Readme ファイルの内容を確認したあと、[次へ]をクリックします。
3. 使用許諾契約書の内容を確認したあと、[はい]をクリックして、手順 6 へ進みます。

3 [LIPS V プリンタドライバ]にチェックマークが付いていることを確認したあと、[インストール]をクリックします。

チェックマークが付いているソフトウェアは、順次インストールされます。必要に応じて、チェックマークを外します。

セットアップウィザードが表示されます。

4 ［Readme ファイルの表示］をクリックして Readme ファイルの内容を確認したあと、［次へ］をクリックします。

使用許諾契約書が画面に表示されます。

5 画面に表示された使用許諾契約書の内容を確認したあと、［はい］をクリックします。

6 ［USB 接続でインストール］を選択したあと、［次へ］をクリックします。

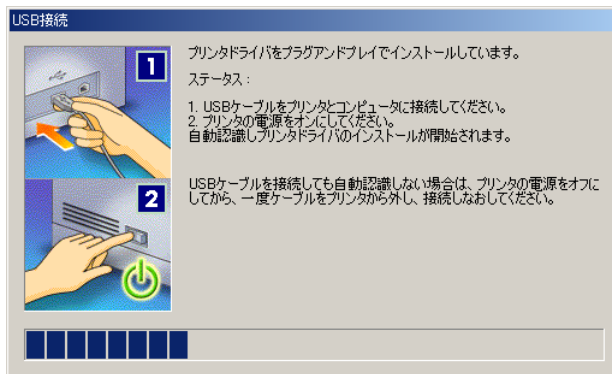
7 ドライバをインストールします。

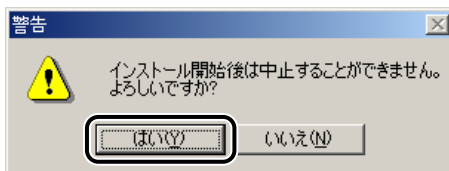
● **初めてプリンタドライバをインストールする場合**

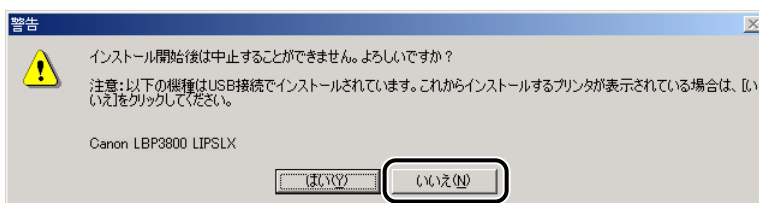
❑ 「インストール開始後は中止することができません。よろしいですか？」というメッセージが表示されたら、［はい］をクリックします。

インストールが開始されます。

メモ　お使いの環境によっては、コンピュータの再起動を促すメッセージが表示される場合があります。その場合は、コンピュータの再起動後にインストールを続けてください。

❑ 次の画面が表示されたら、プリンタの電源を入れます。

● **違う機種のプリンタドライバを USB 接続以外で既にインストールしている場合**

❑ 「インストール開始後は中止することができません。よろしいですか？」というメッセージが表示されたら、［はい］をクリックしたあと、画面の指示に従ってインストールを続けます。

● **同じ機種のプリンタドライバを USB 接続で既にインストールしている場合**

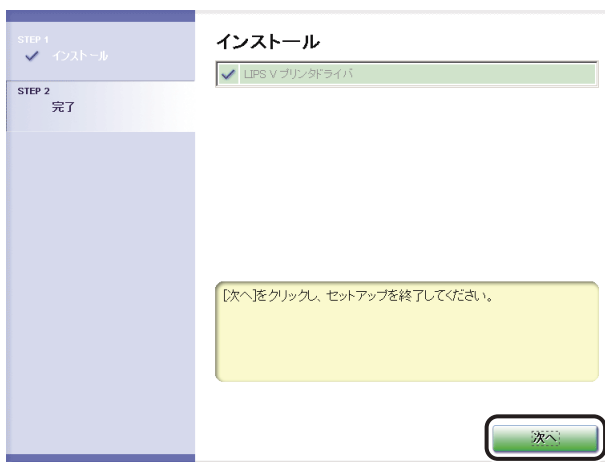
❑ 以下のメッセージが表示されたら、［いいえ］をクリックして、インストールを中断します。

❑ 「ネットワーク接続、ローカル接続環境（USB 接続を除く）の場合」（→ P.2-22）の手順に従ってインストールを行い、ポートの設定箇所で既存の USB ポートを選択します。

● **古いバージョンのプリンタドライバがインストールされている場合**

❑ 以下のメッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。

❑ 「ネットワーク接続、ローカル接続環境（USB 接続を除く）の場合」（→ P.2-22）の手順 7 以降に従って、既存のドライバを更新します。

❑ 再度、手順 1 から USB 接続ドライバをインストールします。

8 ［次へ］をクリックします。

お使いの機種によっては、この画面は表示されません。手順 9 へ進みます。

9 ［終了］をクリックします。

コンピュータを再起動する場合は、［今すぐコンピュータを再起動する］または［ただちにコンピュータを再起動する］にチェックマークを付けます。

メモ

- インストールが終了したら、「印刷前のプリンタ情報設定」(→ P.2-53)を参照してオプションや機種名などを設定してください。
- インストール途中でプリンタドライバが正しく認識されなかった場合は、プラグアンドプレイでインストールを行ってください。
- USB 接続の環境でプリンタドライバが正しくインストールできない場合は、「USB クラスドライバをインストールできない場合は」（→ P.7-2）を参照してください。
- Canon Driver Information Assist Service がインストールされていない場合は、プリンタドライバのインストール終了時に Canon Driver Information Assist Service のインストールについての確認メッセージが表示されます。

以上でインストールの作業が終了しました。

ネットワーク接続、ローカル接続環境（USB 接続を除く）の場合

次の手順でプリンタドライバをインストールしてください。

1 **プリンタを正しく接続したあと、プリンタの電源が入っていること、およびプリンタのオンラインランプが点灯していることを確認します。**

重要
- インストール前に、他のアプリケーションソフトウェアをすべて終了してください。
- プリンタの電源が入っていないときや、オフラインのときにインストールすると、正常にインストールできないことがあります。
- プラグアンドプレイの自動インストールにより、ウィザードが表示された場合は、［キャンセル］をクリックして本手順でインストールを行ってください。
- Windows 2000/XP/Server 2003 をお使いの場合、起動した際に、必ず Administrators のメンバーとしてログオンしてください。

2 **付属のプリンタドライバ用の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットして、CD-ROM メニューの［インストール］をクリックします。**

CD-ROM メニューが表示されないときは、以下の手順でインストーラを起動してください。

1. CD-ROM 内の［LIPSV］フォルダにある［Setup.exe］アイコンをダブルクリックします。
2. ［Readme ファイルの表示］をクリックして Readme ファイルの内容を確認したあと、［次へ］をクリックします。
3. 使用許諾契約書の内容を確認したあと、［はい］をクリックして、手順 6 へ進みます。

3 [LIPS V プリンタドライバ] にチェックマークが付いていることを確認したあと、[インストール] をクリックします。

チェックマークが付いているソフトウェアは、順次インストールされます。必要に応じて、チェックマークを外します。

セットアップウィザードが表示されます。

4 [Readme ファイルの表示] をクリックして Readme ファイルの内容を確認したあと、[次へ] をクリックします。

使用許諾契約書が画面に表示されます。

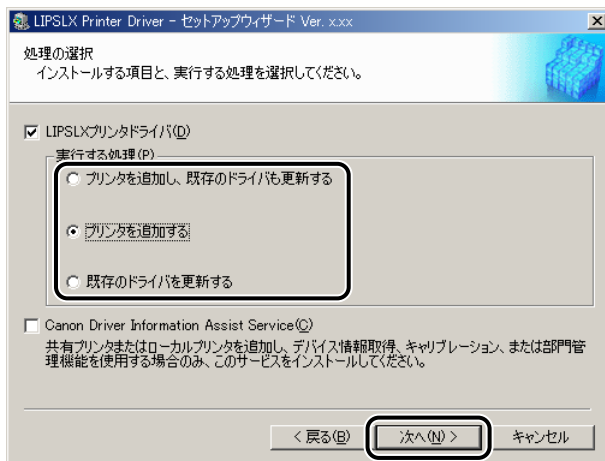
5 画面に表示された使用許諾契約書の内容を確認したあと、[はい]をクリックします。

メモ

Canon Driver Information Assist Service が既にインストールされていて、Windows ファイアウォール機能を持っている OS をお使いの場合に、以下の画面が表示されたときは、[はい]または[いいえ]をクリックします。
[はい]をクリックすると、Canon Driver Information Assist Service に対する Windows ファイアウォールのブロックが解除され、デバイス情報取得やキャリブレーションを行えるようになります。
[いいえ]をクリックすると、Canon Driver Information Assist Service は使用できなくなります。

6 ［ポートを手動で設定してインストール］を選択したあと、［次へ］をクリックします。

7 処理の選択画面で、［次へ］をクリックします。
共有プリンタ環境で、デバイス情報取得、およびキャリブレーションを使用する場合は、プリントサーバでインストールを行うときに［Canon Driver Information Assist Service］にチェックマークを付けます。

既にプリンタドライバがインストールされている場合は、以下の画面が表示されます。
実行する処理を選択したあと、［次へ］をクリックします。

インストール方法の種類

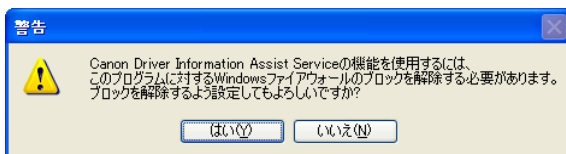
［プリンタを追加し、既存のドライバも更新する］：新規にプリンタドライバを追加して、併せて既に登録されているプリンタドライバを更新します。

［プリンタを追加する］：新規にプリンタドライバを追加します。

［既存のドライバは削除する］(Windows 98/Me のみ)：既存のプリンタドライバをアンインストールして、新規にプリンタドライバを追加します。

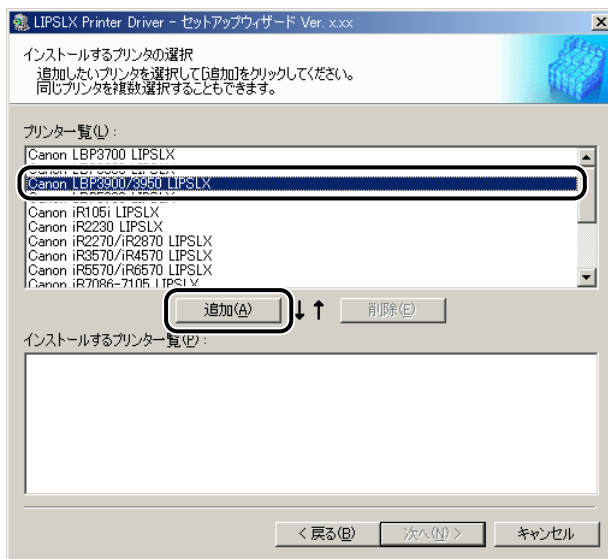
［既存のドライバを更新する］：既に登録されている既存のプリンタドライバを更新します。

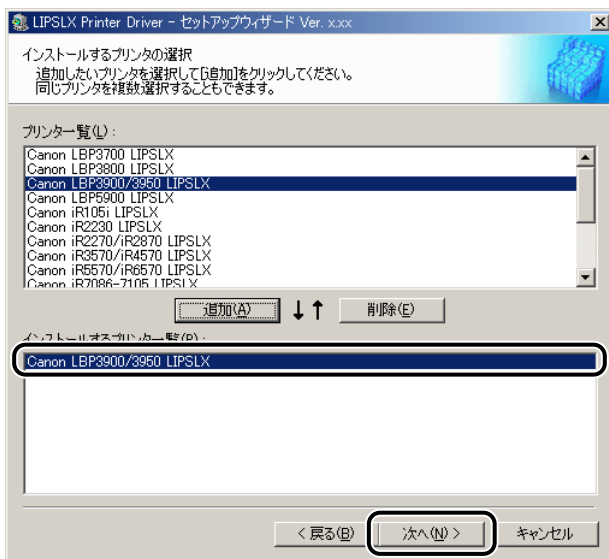
メモ

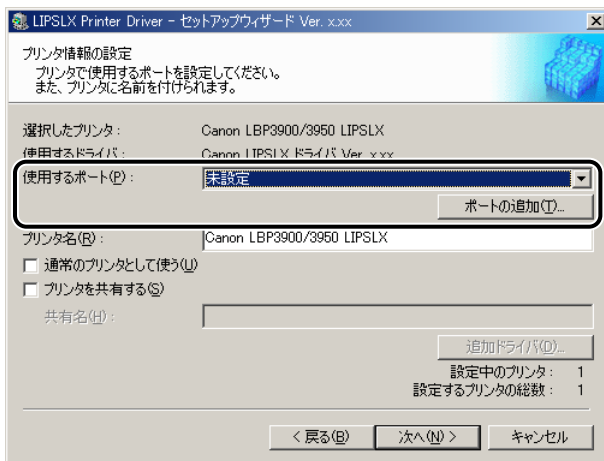
- Windows 2000/XP/Server 2003 で［プリンタを追加する］を選択した場合は、既に登録されている同じ機種のプリンタドライバのみ更新されます。
- Windows 98/Me で［プリンタを追加する］を選択した場合は、既に登録されているすべてのプリンタドライバが自動的に更新されます。
- ネットワーク環境でお使いの場合（共有プリンタ環境のサーバとしてお使いの場合は除く）は、Canon Driver Information Assist Service のインストールは必要ありません。
- Windows ファイアウォール機能を持っている OS をお使いの場合に、以下の画面が表示されたときは、［はい］または［いいえ］をクリックします。
  ［はい］をクリックすると、Canon Driver Information Assist Service に対する Windows ファイアウォールのブロックが解除され、デバイス情報取得やキャリブレーションを行えるようになります。
  ［いいえ］をクリックすると、Canon Driver Information Assist Service は使用できなくなります。

- Canon Driver Information Assist Service が既にインストールされている場合は、手順 7 で［Canon Driver Information Assist Service］が表示されません。

8 ［プリンター覧］からインストールするプリンタを選択したあと、［追加］をクリックします。

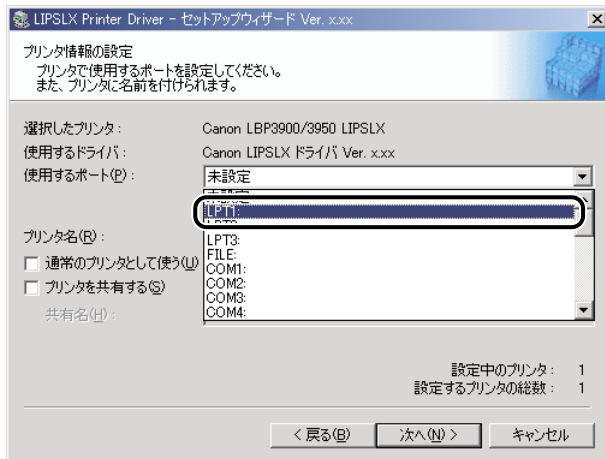
選択したプリンタが［インストールするプリンター覧］に表示されます。

メモ

- 複数のプリンタを選択する場合は、［CTRL］キーを押しながら選択してください。
- ［インストールするプリンター覧］からインストールしないプリンタを選択したあと［削除］をクリックすると、選択したプリンタが削除されます。

9 ［インストールするプリンター覧］を確認したあと、［次へ］をクリックします。

10 ポートを設定します。

メモ

- 複数のドライバが選択されている場合、上記の画面がドライバごとに表示されるため、プリンタによって異なるポートを選択できます。
- ポートの設定方法が分からない場合は、仮のポート（［LPT1］など）を選択したあと［次へ］をクリックして、画面の指示に従ってインストールを続けてください。ドライバのインストールが終了したら、正しいポートを設定してください。ポートの詳細な設定方法については、「ネットワークガイド」を参照してください。

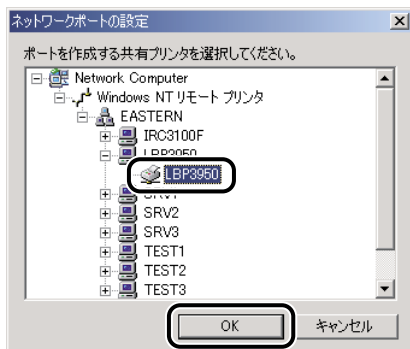
● **標準のポートを設定する場合**

❏ ［使用するポート］のドロップダウンリストから使用するプリンタポートを選択したあと、手順 11 へ進みます。

● **ネットワークプリンタ用のポートを設定する場合**

❏ ［ポートの追加］から［ネットワーク］を選択したあと、［OK］をクリックします。

❏ 使用するネットワークプリンタを選択したあと、［OK］をクリックし、手順 11 へ進みます。

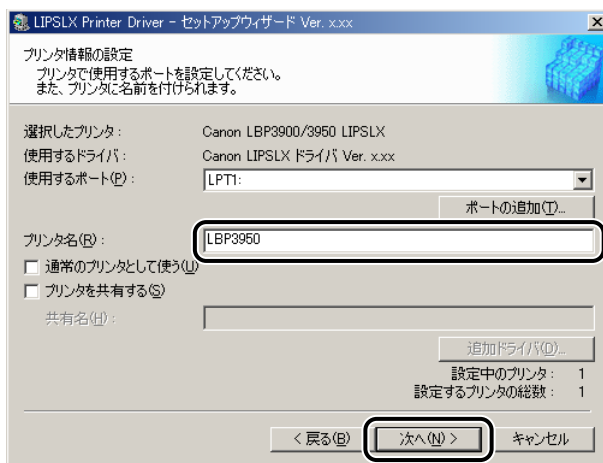
2

Windows から印刷するには

● ポートを追加する場合

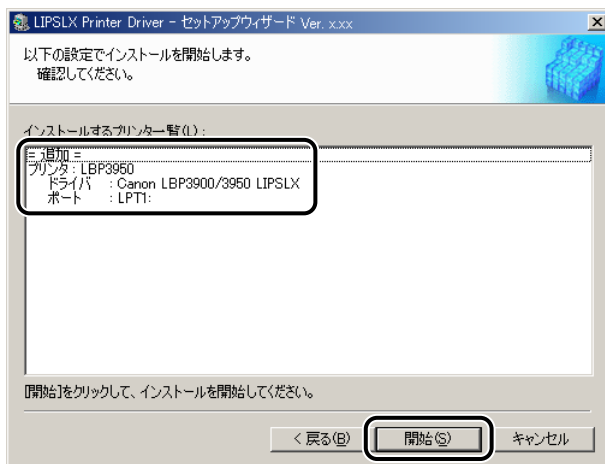
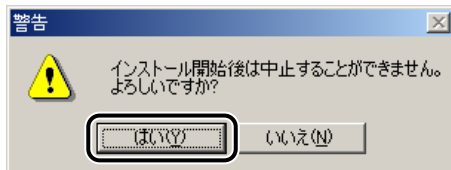
❑ [ポートの追加] から追加するプリンタポートを選択したあと、[OK] をクリックします。

❑ 表示されるウィザードに従って、追加するポートの設定を行い、手順 11 へ進みます。

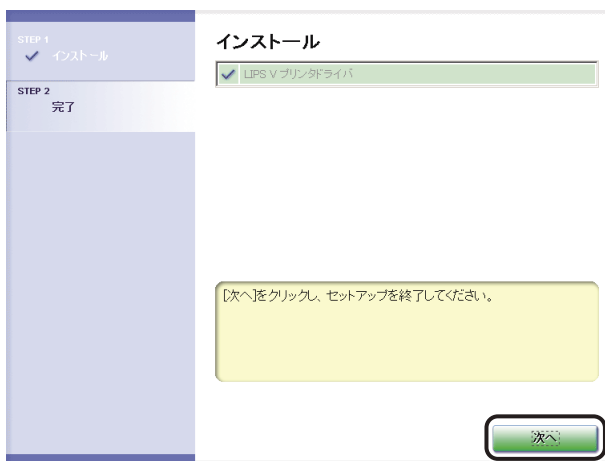
メモ
- 上記ダイアログボックスに表示されるポートは、お使いの OS によって異なります。
- Windows 98/Me で新規に LPR ポートを追加する場合は、あらかじめ Canon LPR2 のインストールが必要です。CD-ROM の［Lprport］フォルダにある［Setup.exe］ファイルを起動して、インストールを行ってください。詳しくは、「Canon LPR2 ユーザーズガイド」(PDF 取扱説明書) を参照してください。ただし、キヤノン製以外のネットワークボードをご使用の場合は、各メーカー付属の取扱説明書を参照してください。

11 ［プリンタ名］を入力したあと、［次へ］をクリックします。

通常使うプリンタとして設定するときは、［通常のプリンタとして使う］にチェックマークを付けます。

Windows 2000/XP/Server 2003 でプリンタを共有設定する場合は、［プリンタを共有する］にチェックマークを付けます。さらに、［共有名］に任意の共有名を入力することもできます。ただし、［ポートの追加］で［ネットワーク］を選択している場合は、［プリンタ名］、［プリンタを共有する］は設定できません。

12 ［インストールするプリンター覧］を確認したあと、［開始］をクリックします。

13 「インストール開始後は中止することができません。よろしいですか？」というメッセージが表示されたら、［はい］をクリックします。

インストールが開始されます。

メモ　お使いの環境によっては、コンピュータの再起動を促すメッセージが表示される場合があります。その場合は、コンピュータの再起動後にインストールを続けてください。

14 ［次へ］をクリックします。

お使いの機種によっては、この画面は表示されません。手順 15 へ進みます。

15 ［終了］をクリックします。

コンピュータを再起動する場合は、［今すぐコンピュータを再起動する］または［ただちにコンピュータを再起動する］にチェックマークを付けます。

メモ インストールが終了したら、「印刷前のプリンタ情報設定」（→P.2-53）を参照してオプションなどを設定してください。

以上でインストールの作業が終了しました。

共有プリンタ環境をお使いの場合

ネットワーク環境において、プリントサーバを利用することにより、効率よく印刷管理を行うことができます。プリントサーバ、クライアントそれぞれで以下の設定を行ってください。

■ プリントサーバでの設定

インストーラを使って、ドライバをインストールします。インストールの途中で、共有設定および代替ドライバのインストールを行います。

■ クライアントでの設定

プリントサーバにインストールされたドライバにアクセスして、ネットワーク経由でインストールを行います。

メモ

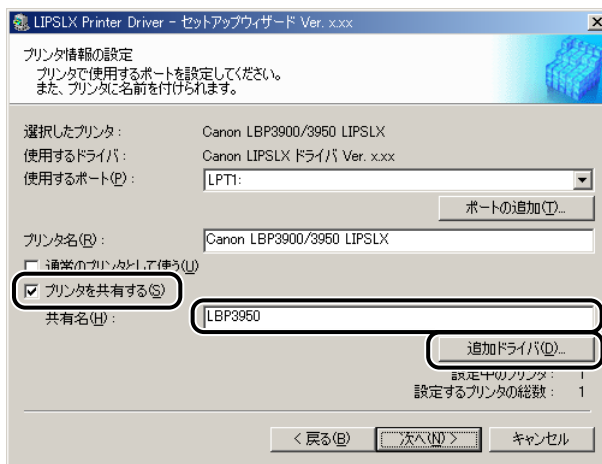
- 代替ドライバとは、共有設定したプリントサーバ上に他の OS 用のドライバもコピーしておき、クライアントが接続したときにドライバをネットワーク経由でインストールする Windows 2000/XP/Server 2003 の機能です。
- Windows 98/Me のサーバ・クライアントの環境で共有設定を行う場合は、次の手順で行ってください。
  1. Windows の［コントロールパネル］－［マイネットワーク］（または［ネットワークコンピュータ］）を選択します。
  2. ［ネットワークの設定］ページの［ファイルとプリンタの共有］で、［プリンタを共有できるようにする］にチェックマークを付けたあと、［OK］をクリックします。
  3. Windows の［スタート］メニューの［設定］－［プリンタ］を選択して、［プリンタ］フォルダを表示します。
  4. お使いのプリンタ名のアイコンを選択して、［ファイル］メニューから［共有］を選択します。
  5. ［共有する］にチェックマークを付けて、［共有名］などを設定します。
  6. ［OK］をクリックします。

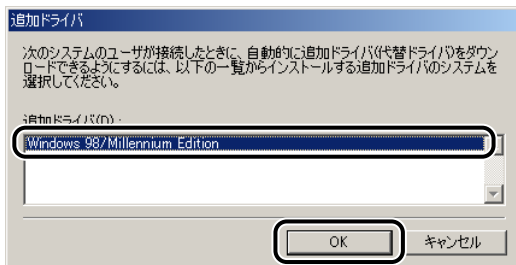
プリントサーバでの設定（Windows 2000/XP/Server 2003）

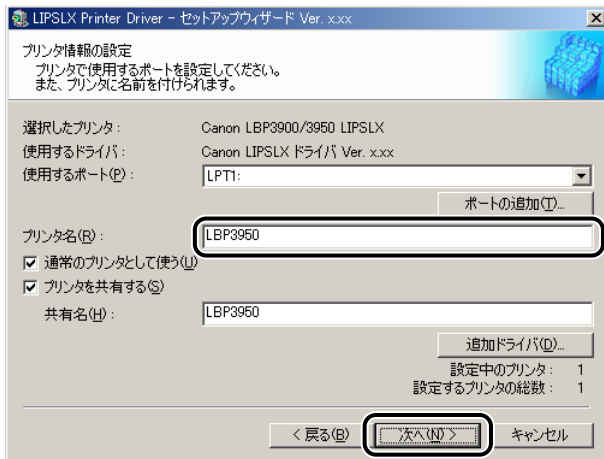
プリンタの共有設定と代替インストールを行う場合は、次の手順で行ってください。

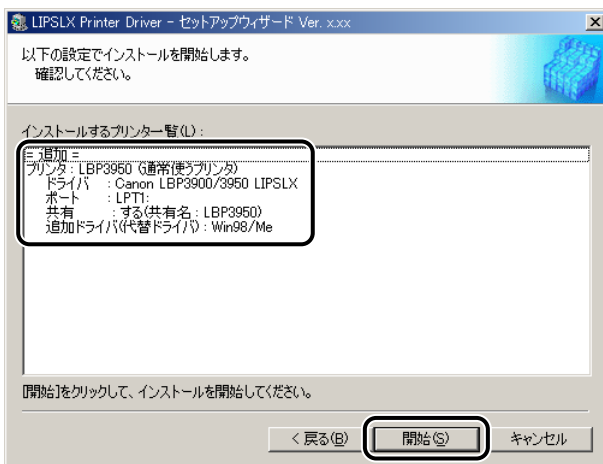
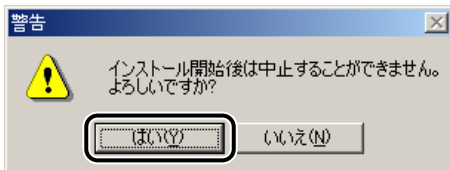
1 インストーラを起動して、画面の指示に従います。

「ネットワーク接続、ローカル接続環境（USB 接続を除く）の場合」（→ P.2-22）の手順 1 〜 10 を参照してください。

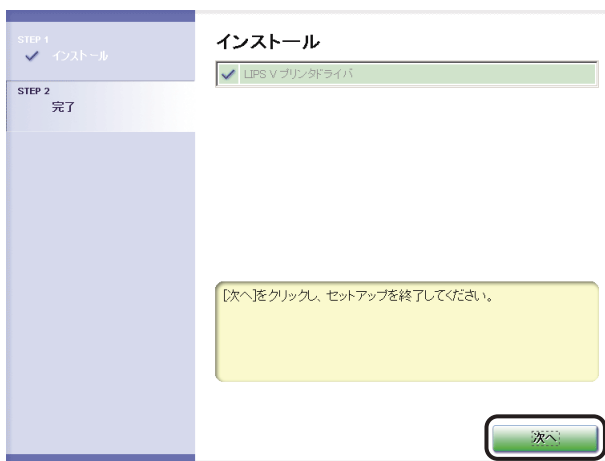
2 ［プリンタを共有する］にチェックマークを付けて、［共有名］を入力したあと、［追加ドライバ］をクリックします。

［追加ドライバ］ダイアログボックスが表示されます。

3 インストールする代替ドライバの OS を選択して、［OK］をクリックします。

ウィザードに戻ります。

4 ［プリンタ名］を入力したあと、［次へ］をクリックします。

通常使うプリンタとして設定するときは、［通常のプリンタとして使う］にチェックマークを付けます。

5 ［インストールするプリンター覧］を確認したあと、［開始］をクリックします。

6 「インストール開始後は中止することができません。よろしいですか？」というメッセージが表示されたら、［はい］をクリックします。

インストールが開始されます。

メモ　お使いの環境によっては、コンピュータの再起動を促すメッセージが表示される場合があります。その場合は、コンピュータの再起動後にインストールを続けてください。

7 ［次へ］をクリックします。

お使いの機種によっては、この画面は表示されません。手順 8 へ進みます。

8 ［終了］をクリックします。

コンピュータを再起動する場合は、［今すぐコンピュータを再起動する］または［ただちにコンピュータを再起動する］にチェックマークを付けます。

メモ インストールが終了したら、「印刷前のプリンタ情報設定」（→P.2-53）を参照してオプションなどを設定してください。

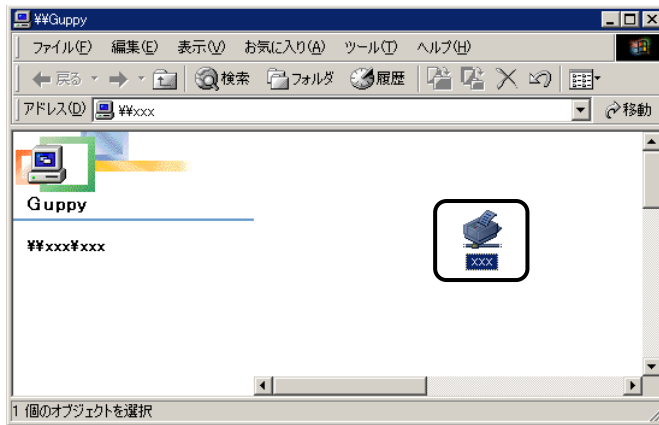
以上で共有設定と代替ドライバのインストールが終了しました。

クライアントでの設定

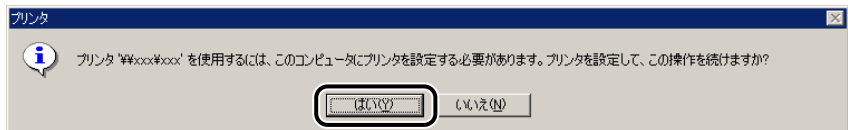
プリントサーバで代替インストールしている場合、クライアント側には以下の手順でインストールを行ってください。

メモ プリントサーバで代替インストールされていない環境では、「プリントサーバでの設定（Windows 2000/XP/Server 2003）」（→ P.2-33）を参照してインストールを行ってください。

1 ［マイネットワーク］（または［ネットワークコンピュータ］）から、共有設定しているコンピュータ（プリントサーバ）を選択してダブルクリックします。

2 インストールするプリンタをダブルクリックします。

上図は、Windows Me をお使いの場合の画面例です。

メッセージが表示されます。

3 ［はい］をクリックします。

上図は、Windows Me をお使いの場合の画面例です。

4 Windows 98/Me をお使いの場合は、ウィザードの指示に従ってインストールを行います。

5 インストールが終了したら、コンピュータを再起動します。

以上でインストールの作業が終了しました。

Canon Driver Information Assist Service をインストールする

共有プリンタ環境で、デバイス情報取得、およびキャリブレーションを使用する場合は、プリントサーバに Canon Driver Information Assist Service のインストールが必要です。本手順に従ってプリントサーバに Canon Driver Information Assist Service をインストールしてください。

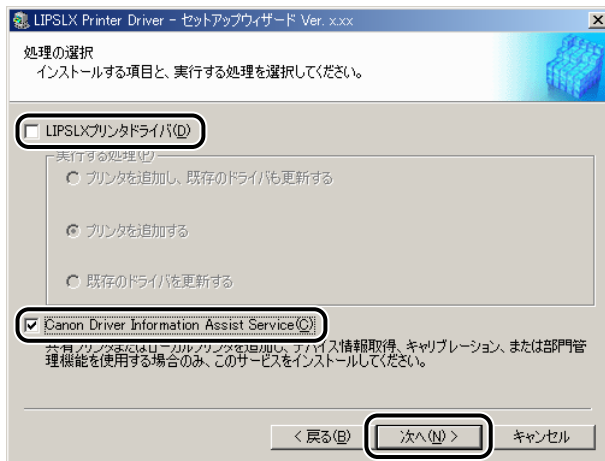
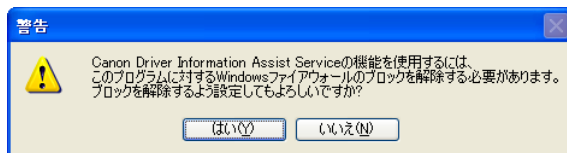
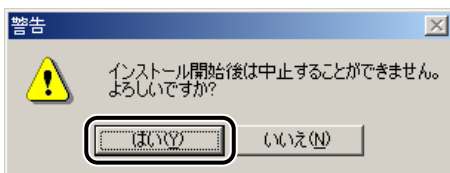
重要 LBP5900 でパラレルインターフェースにセントロニクスケーブルを接続している場合、デバイスの情報取得およびキャリブレーションの機能は使用できません。

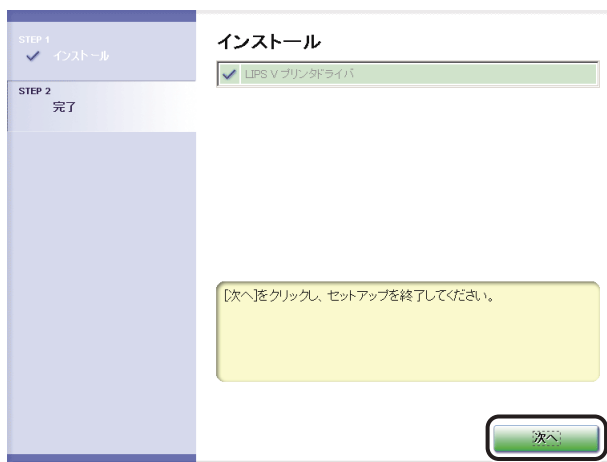
メモ
- デバイス情報取得機能を使うと、排紙オプションなどのプリンタ情報を自動的にプリンタドライバに反映することができます。（→印刷前のプリンタ情報設定：P.2-53）
- ネットワーク環境でお使いの場合（共有プリンタ環境のサーバとしてお使いの場合は除く）は、Canon Driver Information Assist Service のインストールは必要ありません。
- Canon Driver Information Assist Service のみをインストールするには、コンピュータに LIPS プリンタドライバがインストールされている必要があります。

1 インストーラを起動して、画面の指示に従います。

「ネットワーク接続、ローカル接続環境（USB 接続を除く）の場合」（→ P.2-22）の手順 1 ～ 6 を参照してください。

2 処理の選択画面で、[LIPSLX プリンタドライバ]、または [LIPS4 プリンタドライバ] のチェックマークを外して [Canon Driver Information Assist Service] にチェックマークを付けたあと、[次へ] をクリックします。

メモ

- プリンタドライバがインストールされていない場合は、プリンタドライバのインストールと合わせて Canon Driver Information Assist Service のインストールが行われます。
- Windows ファイアウォール機能を持っている OS をお使いの場合に、以下の画面が表示されたときは、[はい] または [いいえ] をクリックします。
  [はい] をクリックすると、Canon Driver Information Assist Service に対する Windows ファイアウォールのブロックが解除され、デバイス情報取得やキャリブレーションを行えるようになります。
  [いいえ] をクリックすると、Canon Driver Information Assist Service は使用できなくなります。

3 「インストール開始後は中止することができません。よろしいですか？」というメッセージが表示されたら、[はい] をクリックします。

インストールが開始されます。

4 [次へ] をクリックします。

お使いの機種によっては、この画面は表示されません。手順 5 へ進みます。

5 ［終了］をクリックします。

コンピュータを再起動する場合は、［今すぐコンピュータを再起動する］または［ただちにコンピュータを再起動する］にチェックマークを付けます。

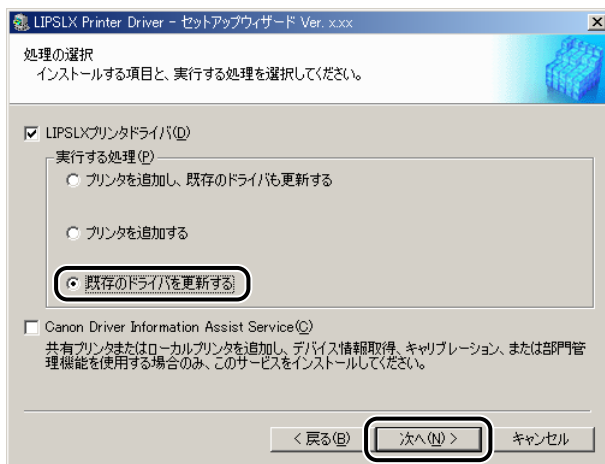
以上で Canon Driver Information Assist Service のインストールが終了しました。

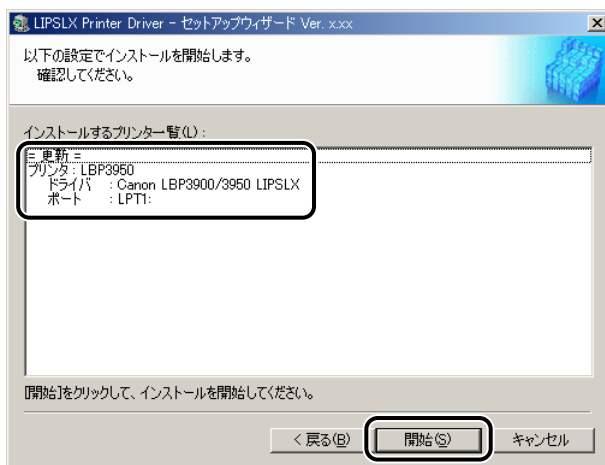
プリンタドライバを更新する

既に登録されているプリンタドライバを更新する場合には、以下の手順に従ってください。

1 インストーラを起動して、画面の指示に従います。

「ネットワーク接続、ローカル接続環境（USB 接続を除く）の場合」（→ P.2-22）の手順 1 ～ 6 を参照してください。

2 [既存のドライバを更新する] を選択したあと、[次へ] をクリックします。

［Canon Driver Information Assist Service］にチェックマークを付けて、Canon Driver Information Assist Service をインストールすることもできます。Canon Driver Information Assist Service のインストールについては、「Canon Driver Information Assist Service をインストールする」（→ P.2-38）を参照してください。

3 ［インストールするプリンター覧］を確認したあと、［開始］をクリックします。

4 画面の指示に従って更新を完了させせます。

「ネットワーク接続、ローカル接続環境（USB 接続を除く）の場合」（→ P.2-22）の手順 13 〜 15 を参照してください。

重要　プリントサーバ上で更新したドライバをクライアントから使用するには、現在使用しているドライバをアンインストールしたあと、再度インストールしてください。（→クライアントでの設定：P.2-36）

以上でプリンタドライバの更新が終了しました。

プリンタドライバをアンインストールする

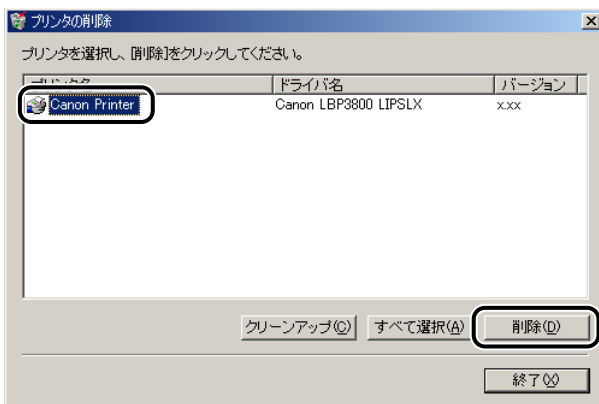
プリンタドライバが不要になった場合は、以下の手順でアンインストールを行います。

重要 プリンタドライバが Administrators の権限で Windows 2000/XP/Server 2003 にインストールされている場合、Administrators 以外の権限ではアンインストールできません。必ず、Administrators の権限でログオンしてからアンインストールしてください。

1 **すべてのアプリケーションソフトウェアを終了します。**

2 **[スタート] メニューから、[プログラム] ー [Canon Printer Uninstaller] ー [LIPSLX Printer Driver Uninstaller] または [LIPS4 Printer Driver Uninstaller] を選択します。**

アンインストーラが起動します。

3 **ア ンインストールするプリンタ名を選択したあと、[削除] をクリックします。**

プリンタドライバがアンインストールされます。

メモ [クリーンアップ] をクリックすると、本ドライバに関連するファイルやレジストリ情報などがすべて削除されます。通常は、[削除] でアンインストールを行ってください。

印刷条件を設定する

プリンタドライバのプロパティダイアログボックスの各ページで、いろいろな印刷条件の設定を行うことができます。設定できる項目は、プロパティダイアログボックスの表示方法によって異なります。お使いのOSに合わせて、以下の手順に従ってプロパティダイアログボックスを表示してください。

ドライバのプロパティダイアログボックスは二種類あります。

■ **ドキュメントプロパティダイアログボックス**

印刷ジョブの設定を行う画面です。アプリケーションソフトウェアから表示した場合、その印刷ジョブのみに対する設定項目を指定できます。

Windows 2000/XP/Server 2003の場合はP.2-45を、Windows 98/Meの場合はP.2-50を参照してください。

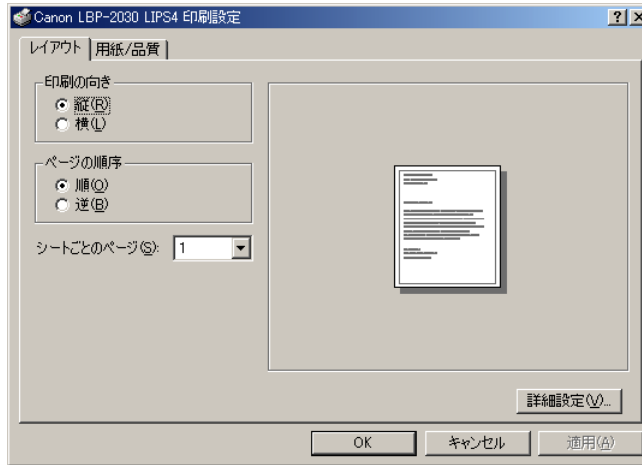
Windows 2000/XP/Server 2003で［プリンタ］フォルダから表示した場合、すべての印刷ジョブに対するデフォルト値を設定できます。（→ P.2-47）

■ **プリンタプロパティダイアログボックス**

プリンタのオプションの機器の設定などを行う画面です。［プリンタ］フォルダから表示します。

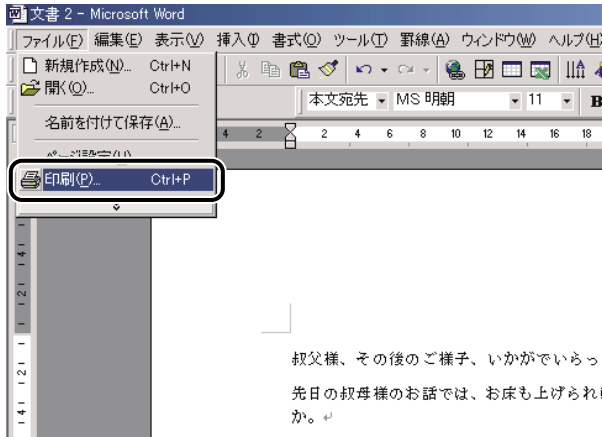
Windows 2000/XP/Server 2003では、よく使う機能をお気に入りとして登録することなどができます。（→ P.2-49）

Windows 98/Meではすべての印刷ジョブに対するデフォルト値を設定できます。（→ P.2-52）

以下のような画面が表示される場合は、Microsoft製のプリンタドライバがインストールされています。「プリンタドライバをインストールする」（→P.2-5）の手順に従って、キヤノン製のプリンタドライバをインストールしてください。

Windows 2000/XP/Server 2003の場合

アプリケーションソフトウェアからドキュメントプロパティダイアログボックスを表示する

アプリケーションソフトウェアからドキュメントプロパティダイアログボックスを表示した場合は、その印刷ジョブのみに対して設定項目を指定できます。

1 アプリケーションソフトウェアのメニューから、印刷コマンドを選択します。

［印刷］ダイアログボックスが表示されます。

2 ドロップダウンリストボックスからお使いのプリンタを選択したあと、［プロパティ］をクリックします。

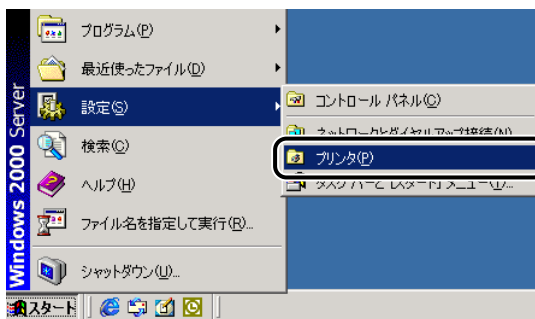
ドキュメントプロパティダイアログボックスが表示されます。

メモ お使いのアプリケーションソフトウェアにより、印刷操作は異なります。詳しくは、アプリケーションソフトウェアに付属の取扱説明書を参照してください。

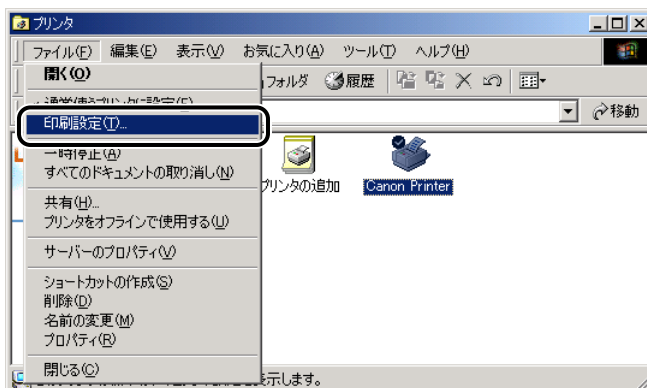
[プリンタ]フォルダからドキュメントプロパティダイアログボックスを表示する

[プリンタ]フォルダからドキュメントプロパティダイアログボックスを表示した場合は、すべての印刷ジョブに対してのデフォルト値を指定することができます。

メモ　[プリンタ]フォルダの設定をするには、プリンタの[フルコントロールアクセス権]を持っている必要があります。[プリンタ]フォルダからドキュメントプロパティダイアログボックスを表示できない場合は、アプリケーションソフトウェアから表示してください。

1 **[スタート]メニューから[設定]－[プリンタ](Windows XP/Server 2003の場合は、[プリンタとFAX])を選択します。**

[プリンタ]フォルダが表示されます。

メモ　Windows XP Professional/Server 2003の場合は、[スタート]－[プリンタとFAX]、Windows XP Home Editionの場合は、[スタート]－[コントロールパネル]－[プリンタとその他のハードウェア]－[プリンタとFAX]を選択してください。

2 **お使いのプリンタ名のアイコンを選択したあと、[ファイル] メニューから [印刷設定] を選択します。**

ドキュメントプロパティダイアログボックスが表示されます。

メモ　プリンタ名のアイコンを右クリックして、[印刷設定] を選択しても、ドキュメントプロパティダイアログボックスを表示できます。

[プリンタ]フォルダからプリンタプロパティダイアログボックスを表示する

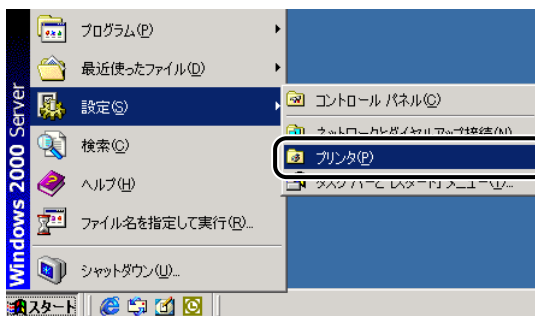
[プリンタ]フォルダからプリンタプロパティダイアログボックスを表示した場合は、プリンタのオプション機器の設定やよく使う機能をお気に入りとして登録することができます。

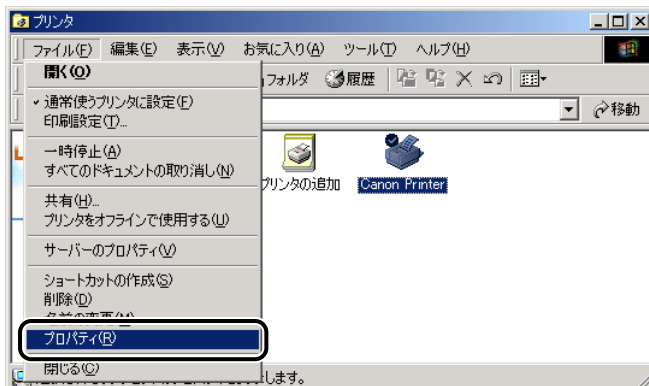
メモ

- [プリンタ]フォルダの設定をするには、プリンタの[フルコントロールアクセス権]を持っている必要があります。[プリンタ]フォルダからドキュメントプロパティダイアログボックスを表示できない場合は、アプリケーションソフトウェアから表示してください。
- プリンタのオプション機器を設定する[デバイスの設定]ページは、本手順でのみ表示可能です。

1 **[スタート]メニューから[設定]－[プリンタ](Windows XP/Server 2003 の場合は、[プリンタと FAX])を選択します。**

[プリンタ]フォルダが表示されます。

メモ

Windows XP Professional/Server 2003 の場合は、[スタート]－[プリンタと FAX]、Windows XP Home Edition の場合は、[スタート]－[コントロールパネル]－[プリンタとその他のハードウェア]－[プリンタと FAX]を選択してください。

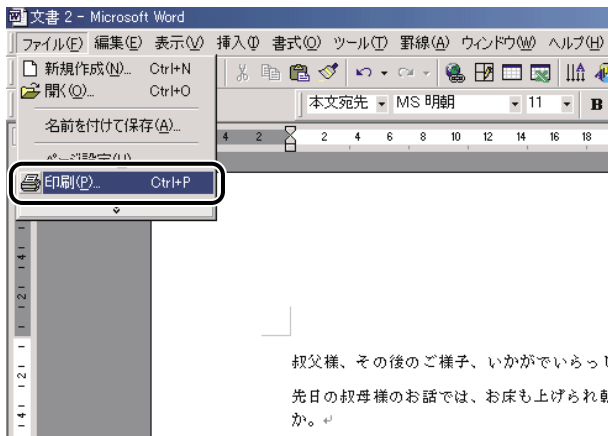
2 **お使いのプリンタ名のアイコンを選択したあと、［ファイル］メニューから［プロパティ］を選択します。**

プリンタプロパティダイアログボックスが表示されます。

メモ プリンタ名のアイコンを右クリックして［プロパティ］を選択しても、プリンタプロパティダイアログボックスを表示できます。

Windows 98/Me の場合

アプリケーションソフトウェアからドキュメントプロパティダイアログボックスを表示する

アプリケーションソフトウェアからドキュメントプロパティダイアログボックスを表示した場合は、その印刷ジョブのみに対して設定項目を指定できます。

1 アプリケーションソフトウェアのメニューから、印刷コマンドを選択します。

［印刷］ダイアログボックスが表示されます。

2 ドロップダウンリストボックスからお使いのプリンタを選択したあと、［プロパティ］をクリックします。

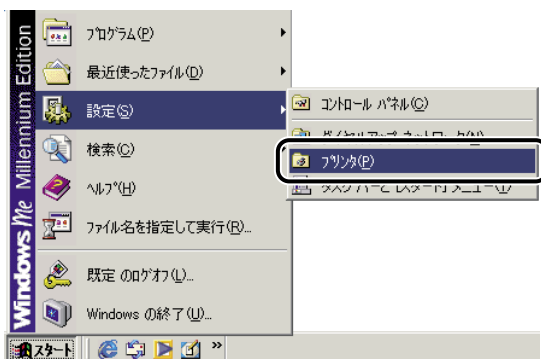
ドキュメントプロパティダイアログボックスが表示されます。

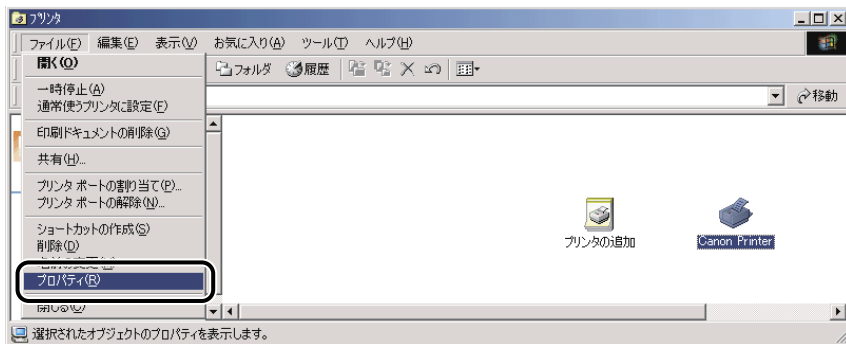
メモ　お使いのアプリケーションソフトウェアにより、印刷操作は異なります。詳しくは、アプリケーションソフトウェアに付属の取扱説明書を参照してください。

[プリンタ]フォルダからプリンタプロパティダイアログボックスを表示する

[プリンタ]フォルダからプリンタプロパティダイアログボックスを表示した場合は、プリンタのオプション機器などを設定したり、すべての印刷ジョブに対してのデフォルト値を指定したりすることができます。

メモ　プリンタのオプション機器を設定する[デバイスの設定]ページは、本手順でのみ表示可能です。

1 [スタート]メニューから[設定]－[プリンタ]を選択します。

[プリンタ]フォルダが表示されます。

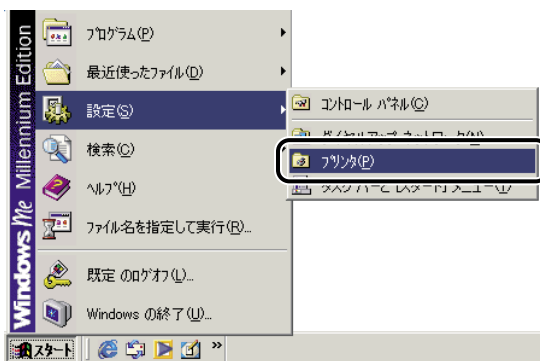
2 お使いのプリンタ名のアイコンを選択したあと、[ファイル]メニューから[プロパティ]を選択します。

プリンタプロパティダイアログボックスが表示されます。

メモ　プリンタ名のアイコンを右クリックして[プロパティ]を選択しても、プリンタプロパティダイアログボックスを表示できます。

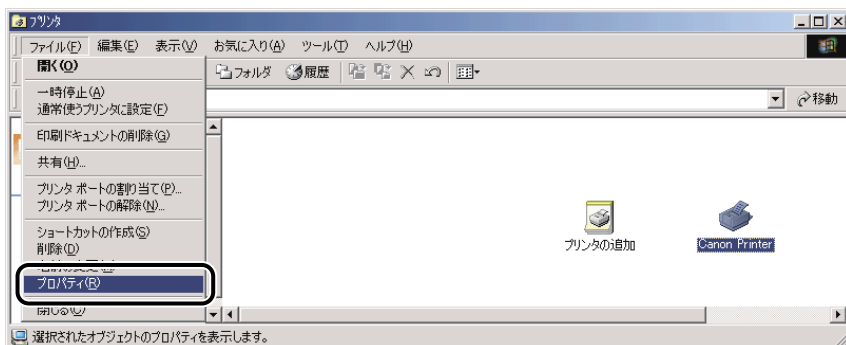
印刷前のプリンタ情報設定

印刷前に、排紙オプションや給紙オプションなどのプリンタの環境を設定してください。オプションを装着するたびに、必ず設定してください。

重要 共有プリンタ環境で本手順を行う場合は、Canon Driver Information Assist Service がプリントサーバにインストールされている必要があります。

1 ［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］を選択します。

［プリンタ］フォルダが表示されます。

メモ Windows XP Professional/Server 2003 の場合は、［スタート］－［プリンタと FAX］、Windows XP Home Edition の場合は、［スタート］－［コントロールパネル］－［プリンタとその他のハードウェア］－［プリンタと FAX］を選択してください。

2 お使いのプリンタ名のアイコンを選択したあと、［ファイル］メニューから［プロパティ］を選択します。

プリンタプロパティダイアログボックスが表示されます。

メモ　プリンタ名のアイコンを右クリックして［プロパティ］を選択しても、プリンタプロパティダイアログボックスを表示できます。

3 ［デバイスの設定］ページを表示して、［デバイス情報取得］をクリックします。

重要　LBP5900 でパラレルインターフェースにセントロニクスケーブルを接続している場合、デバイスの情報取得およびキャリブレーションの機能は使用できません。

メモ　デバイス情報取得がエラーになった場合は、給紙オプションや排紙オプションなどのお使いの環境を手動で設定してください。

4 給紙オプションや排紙オプションなど、お使いの環境を確認したあと、［OK］をクリックします。

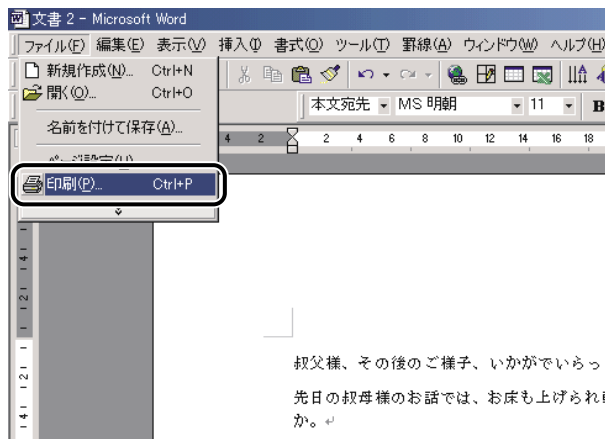
以上で印刷前のプリンタ情報設定が終了しました。

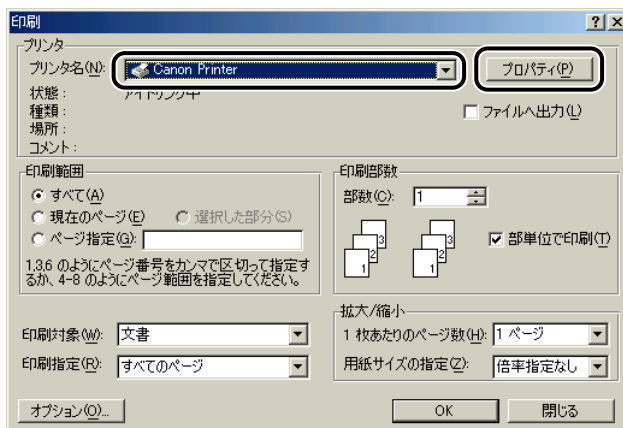
プリンタドライバを使って印刷する

原稿作成から印刷するまでの主な手順は、次のとおりです。ここでは「Microsoft Word 2000」を例に、印刷の手順を説明しています。

メモ　印刷の手順は、アプリケーションソフトウェアによって異なります。詳しくは、各アプリケーションソフトウェアに付属の取扱説明書を参照してください。

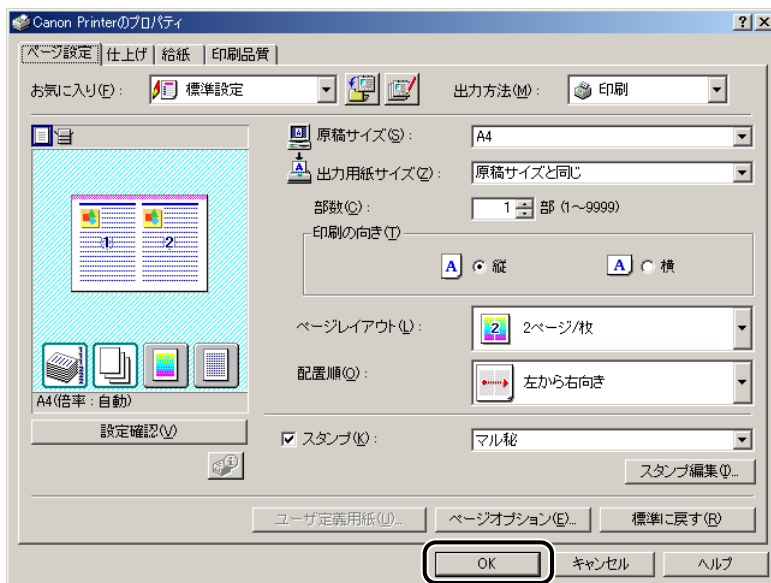
1 **Microsoft Word 2000 を起動して、原稿を作成します。**

2 **［ファイル］メニューから、［印刷］を選択します。**

［印刷］ダイアログボックスが表示されます。

3 ［プリンタ名］にお使いのプリンタ名が表示されていることを確認したあと、［プロパティ］をクリックします。

正しいプリンタ名が表示されていない場合は、一覧からお使いのプリンタ名を選択します。

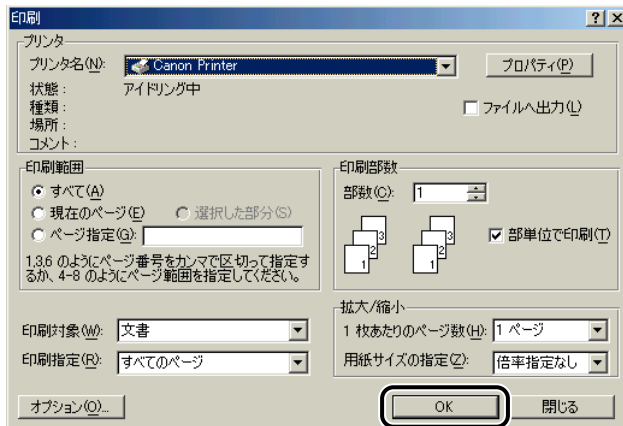
ドキュメントプロパティダイアログボックスが表示されます。

メモ　ここに表示されるプリンタ名は、［プリンタ］フォルダ（Windows XP/Server 2003 の場合は、［プリンタとFAX］フォルダ）で変更することができます。ドキュメントプロパティダイアログボックスは、お使いのアプリケーションソフトウェアによって表示する手順が異なる場合があります。

4 ドキュメントプロパティダイアログボックスの各ページで印刷条件を設定したあと、［OK］をクリックします。

［印刷］ダイアログボックスに戻ります。

重要 ［ページ設定］ページと［給紙］ページの内容は、印刷するたびに確認することをおすすめします。

メモ 上図のようなダイアログボックスが表示されない場合は、Microsoft 製のプリンタドライバがインストールされています。「プリンタドライバをインストールする」(→ P.2-5)を参照して、キヤノン製のプリンタドライバをインストールしなおしてください。

5 ［印刷］ダイアログボックスの［OK］をクリックします。

印刷が始まります。

メモ

- 正常に印刷が終了しないときは、「第 6 章　困ったときには」を参照してください。
- 「いろいろな印刷機能を使用する」（→ P.2-60）では、プリンタとプリンタドライバの機能を利用することについて説明しています。印刷する原稿と目的に合わせて、プリンタとプリンタドライバを設定して、活用してください。

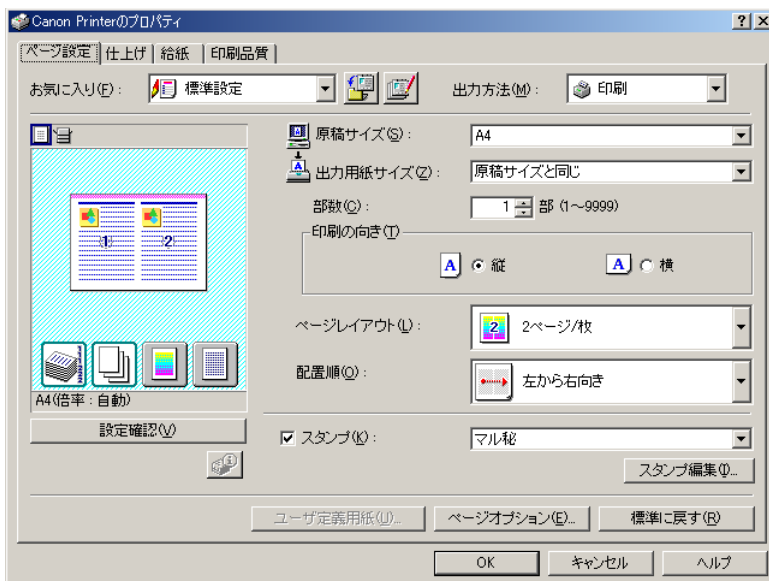
いろいろな印刷機能を使用する

拡大・縮小印刷や、複数ページ分の原稿を 1 枚の用紙に印刷するなどの機能を使用することができます。これらの機能は、プリンタドライバから設定できます。

プリンタドライバの各ページの主な機能

プリンタドライバから設定できる主な機能を紹介します。お使いのプリンタによって、設定できる項目は異なります。ここで紹介されている以外の機能の詳細は、オンラインヘルプを参照してください。（→オンラインヘルプの使い方：P.2-71）

各ページ共通機能

各ページに共通する設定項目です。

■ **プレビュー**

現在の設定が表示されます。また、プレビュー内をクリックすることでページレイアウト、片面／両面印刷、カラー／モノクロ切り替え、とじ位置の指定なども行えます。プレビュー左上のアイコンをクリックすると、ドキュメントのプレビューと、デバイスのプレビューを切り替えることができます。

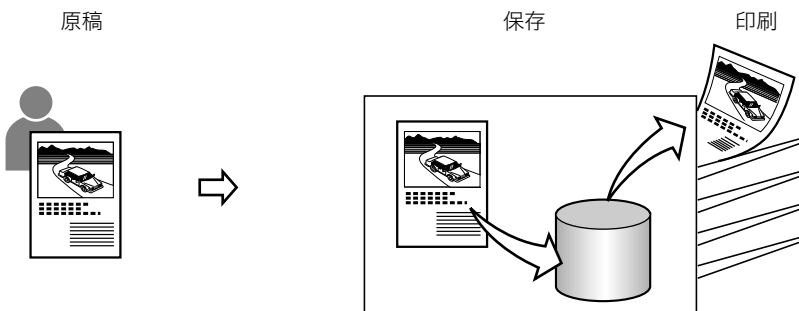
■ お気に入り印刷

よく利用する印刷設定を登録しておくことで、印刷のたびに行う設定操作を省略できます。ファイルに保存して、他のコンピュータでも使うことができます。あらかじめ以下の設定が用意されていますので、プリンタドライバの各ページ上部の［お気に入り］から選択してください。ただし、お使いのプリンタドライバや、お使いの機種によって、選択できる項目が異なります。

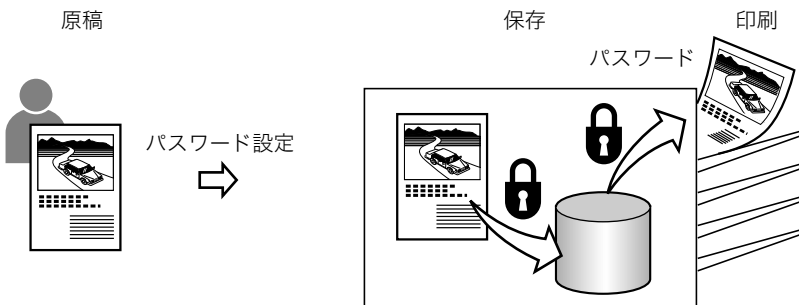
名称	主な設定内容
標準設定	各項目の設定値が初期状態の設定になり、一般の文書に適した印刷を実行します
ビットマップ展開	イメージモードで印刷します
TrueType 置換なし	TrueType フォントをそのまま印刷します
TrueType 置換	TrueType フォントをプリンタフォントに置き換えて印刷します
2ページ / 枚（片面）	用紙 1 枚に 2 ページずつ片面印刷します
2ページ / 枚（両面）	用紙 1 枚に 2 ページずつ両面印刷します
両面	用紙の両面に印刷します
出力サイズ A4 固定	出力用紙を A4 サイズのみに印刷します
社外秘	各ページに「 社外秘 」のスタンプをつけて印刷します
モノクロ文書	カラー原稿をモノクロで印刷します
色調優先	安定した色調で印刷します。複数印刷を行う場合に色調の違いを軽減します
高階調	高精密に印刷するのに適したモードです

メモ　登録したお気に入りは、［お気に入り］リストの横にある［お気に入りの編集］－［ファイル保存]でファイルに保存することをおすすめします。プリンタ名称を変更する場合や、他のプリンタにインポートする場合に必要となることがあります。

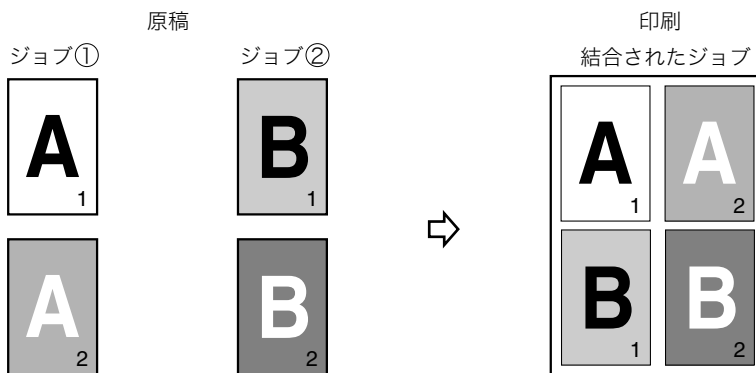
■ 保存（[出力方法]）

印刷データを、プリンタのハードディスクに保存することができます。あとでまとめて印刷するときなどに、便利な機能です。100個のボックスの中から、保存するボックスを指定できます。また、保存するデータに任意の名称を付加することもできます。保存したデータは、リモートUI、またはプリンタの本体パネルから出力してください。

＊ ハードディスクが必要です。

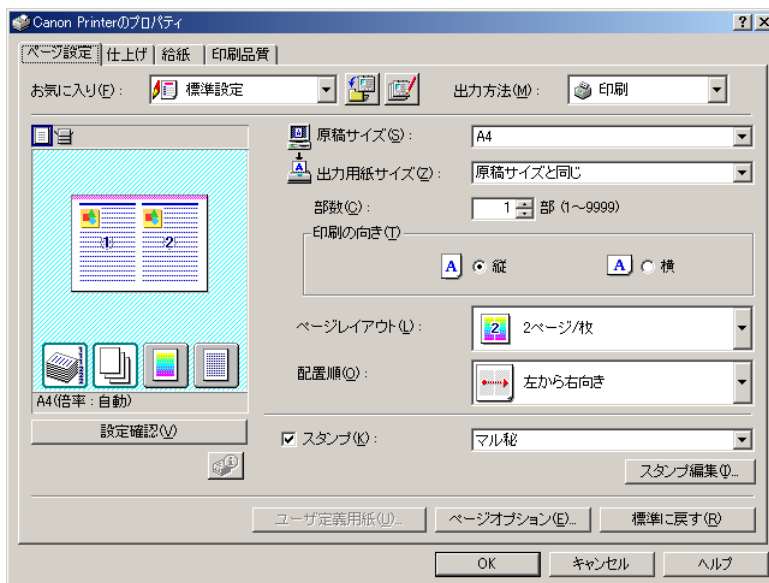
■ セキュアプリント（[出力方法]）

印刷ジョブに、ユーザ名とパスワード（暗証番号）を付加してプリンタに保存します（セキュアジョブ）。機密書類など、大事な書類を印刷するときに便利な機能です。セキュアジョブを出力するときは、リモートUI、またはプリンタの本体パネルからパスワードを入力してください。

＊ ハードディスクが必要です。

■ **ジョブ結合（[出力方法] − [編集＋プレビュー]）**

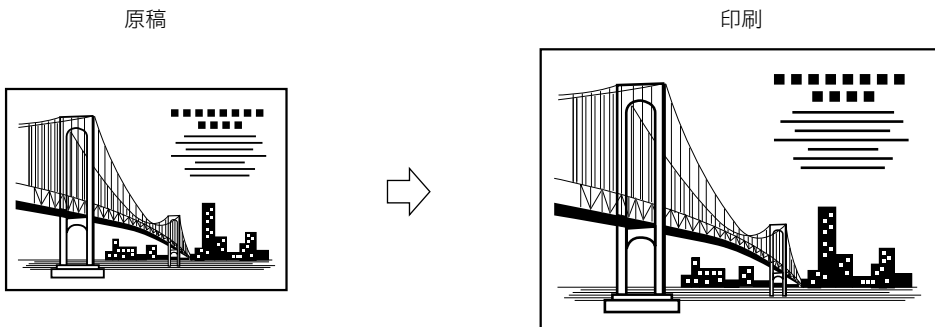
別々のアプリケーションソフトウェアで作成した原稿を、1 つに結合することができます。また、結合したジョブの順序入れ替えや、結合したジョブに対する N ページ印刷などを行えます。

＊ 上図は、2 つのジョブ（各 2 ページ）を結合して、1 枚の用紙に印刷する例です。

[ページ設定] ページ

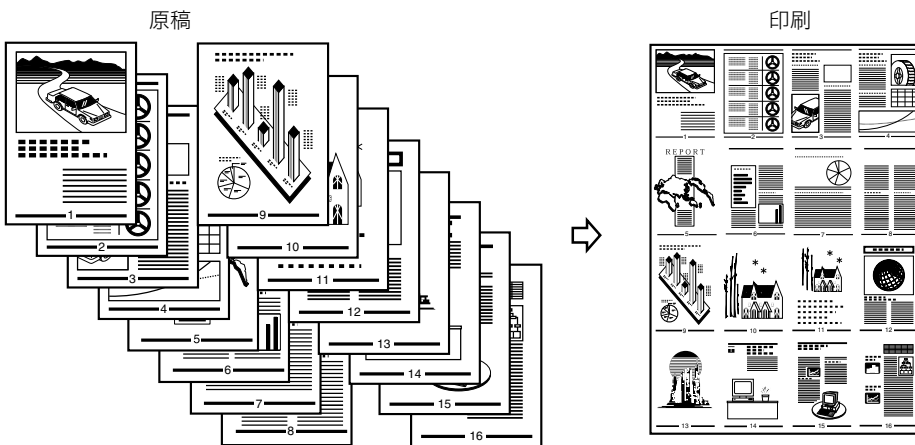
原稿サイズや部数、印刷の向きなど、印刷ページに関する設定を行います。

■ 拡大縮小印刷（[出力用紙サイズ] ／ [原稿サイズ]）

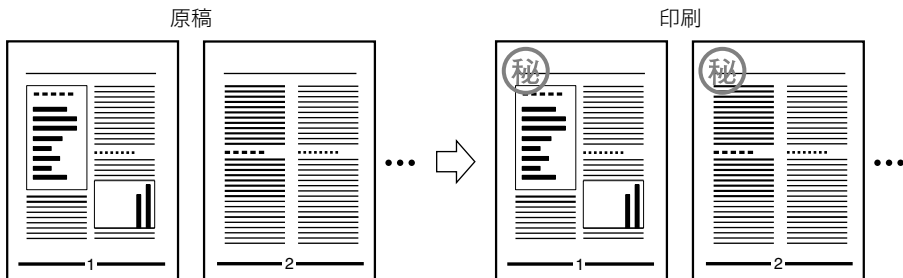
A4 サイズの原稿を B5 サイズの用紙に縮小して印刷したり、逆に B5 サイズの原稿を A4 サイズの用紙に拡大して印刷します。

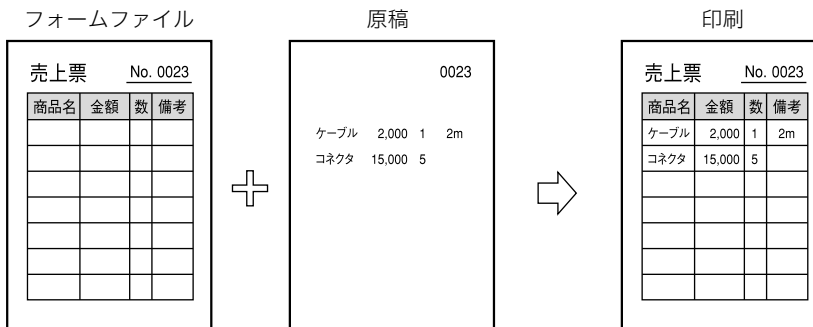
任意の倍率で拡大縮小することもできます。

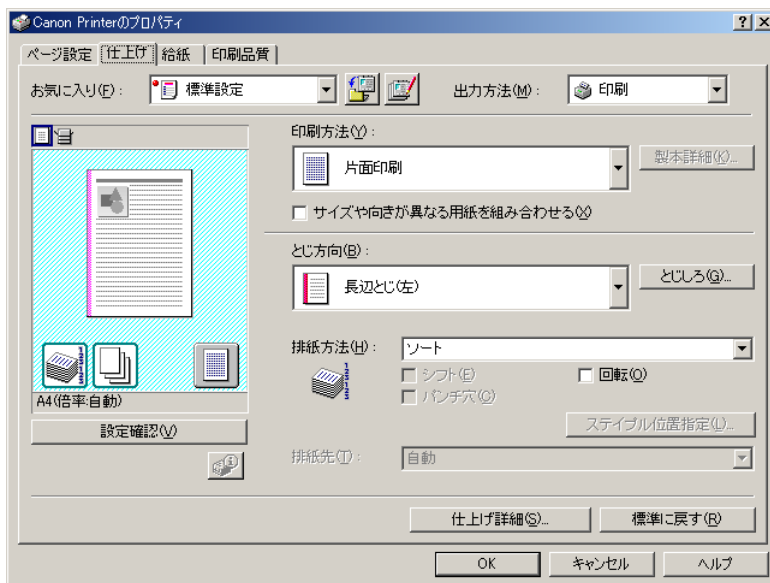
原稿　　　　　　　　　　　　　　　　　　印刷

■ N ページ印刷（[ページレイアウト]）

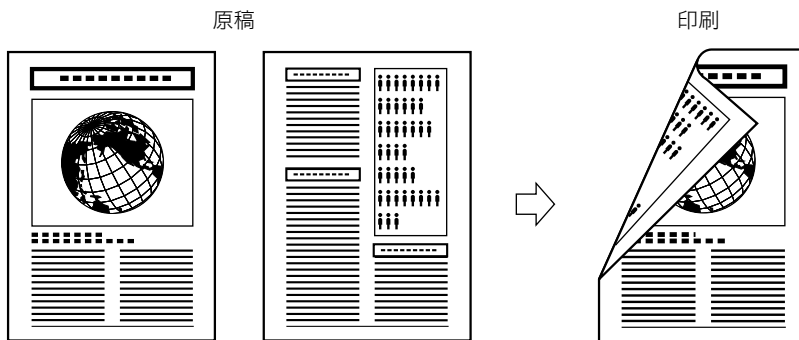
複数ページの原稿を並べ替えて、1 枚の用紙に印刷できます。最大 16 ページの原稿を 1 枚の用紙に印刷できます。

原稿　　　　　　　　　　　　　　　　　　印刷

■ スタンプ印刷（[スタンプ]）

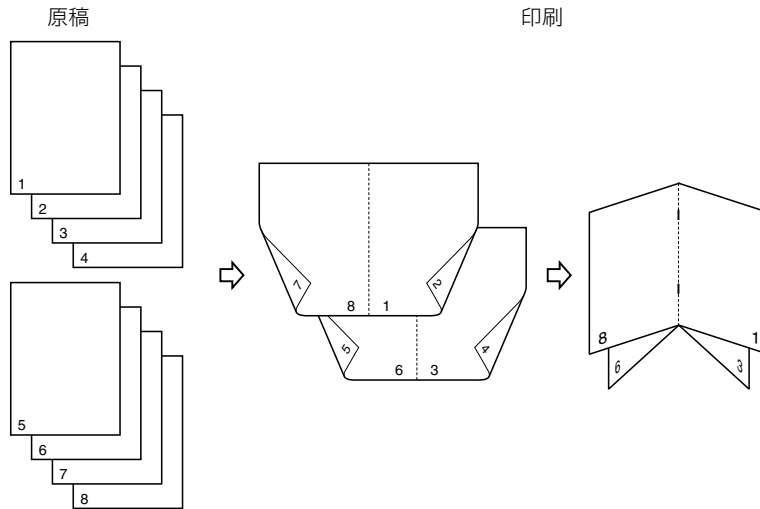
印刷原稿の背景にスタンプを押したように出力します。「社外秘」や「コピー禁止」などが用意されています。オリジナルのスタンプ作成もできます。

■ オーバレイ印刷（[ページオプション]）

各ページにあらかじめ作成したフォームファイル（下地）を作成しておき、印刷データに重ねて印刷することができます。給料明細など、特定のフォーマットに印刷するときに便利な機能です。

［仕上げ］ページ

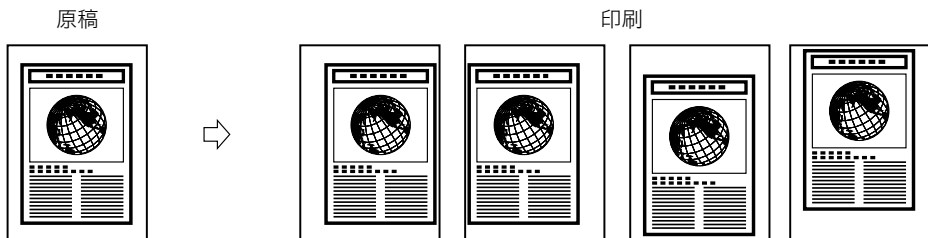
印刷方法や排紙方法など、印刷の仕上げに関する設定を行います。

■ 両面印刷（［印刷方法］）

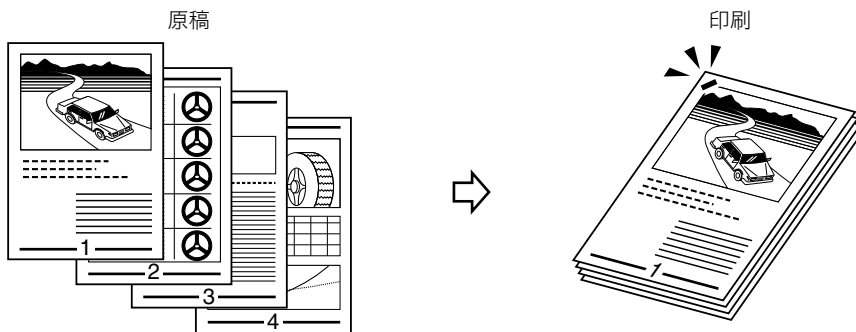
2 ページ分の原稿を、1 枚の用紙の表と裏の両面に印刷することができます。

＊　お使いの機種によっては、オプションの両面ユニットが必要です。

■ 製本印刷（[印刷方法]）

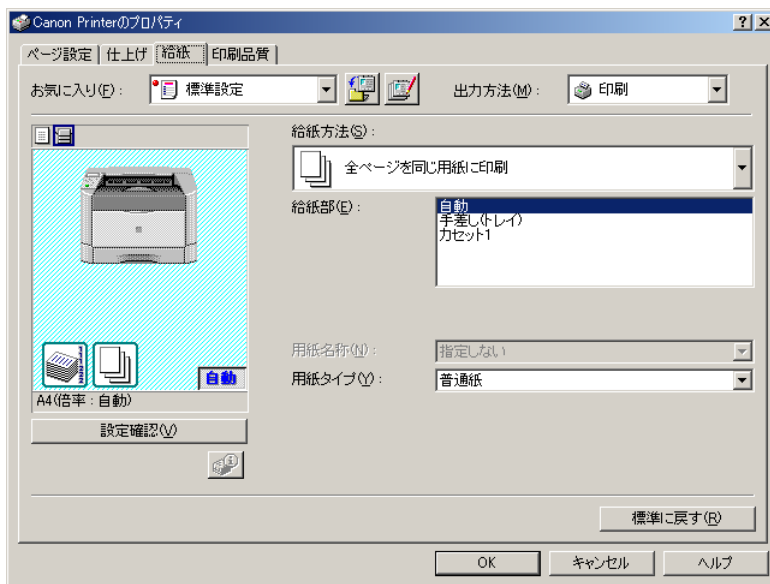
製本印刷では、ページ番号が順番どおりに並ぶように印刷順序が調整されるため、用紙を 2 つ折りにするだけで本を作ることができます。さらに、一部の機種では、最大 15 枚の用紙を中とじすることができ、全ページの中とじ、または幾つかの束に分けた中とじが可能です。

* お使いの機種によっては、オプションの両面ユニットが必要です。
* 中とじを行うには、オプションのサドルフィニッシャーが必要です。（一部の機種のみ可能）

■ とじしろ（[とじしろ]）

印刷原稿のとじしろを設定することができます。印刷物をとじたりするときに、とじしろをつけると便利です。

■ **ステイプル印刷（[排紙方法]）**

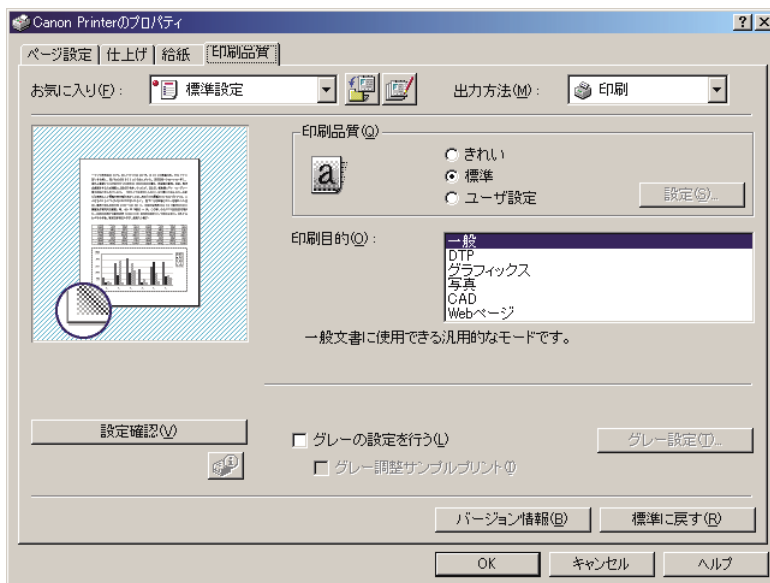
印刷した用紙をステイプル（ホチキス止め）します。ステイプルする位置の指定もできます。

＊ オプションの排紙ユニット（フィニッシャー、サドルフィニッシャー、ソータ）が必要です。

[給紙] ページ

給紙方法に関する設定を行います。

■ **用紙の指定（[給紙方法]）**

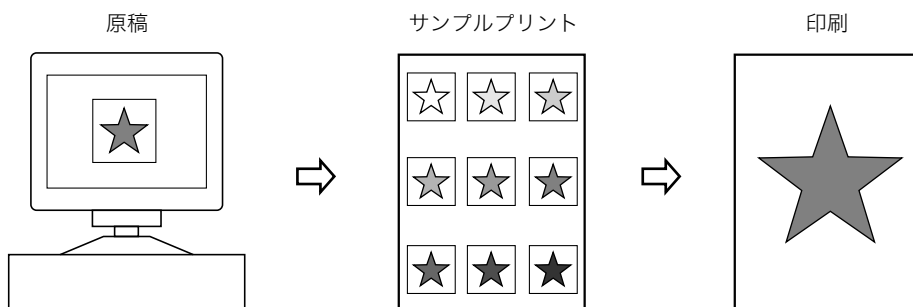
ページごとに、印刷に使用する用紙の給紙段を指定できます。

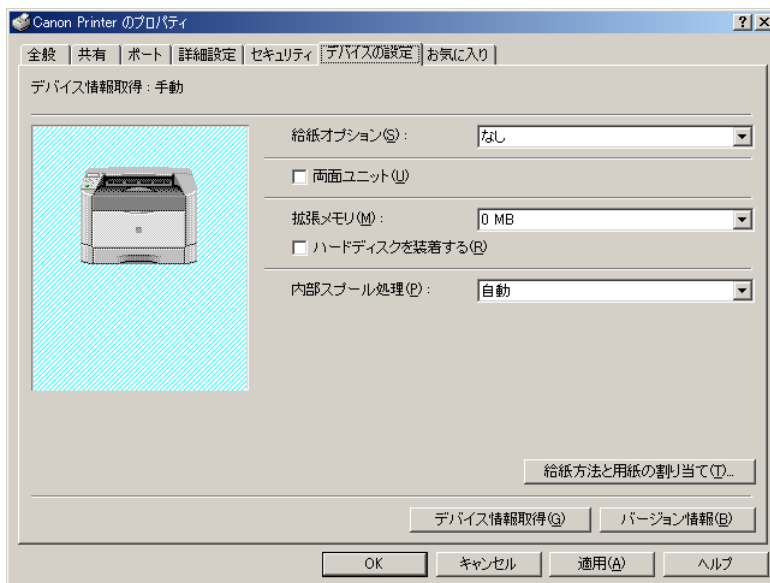
[印刷品質] ページ

解像度やモノクロ中間調など、印刷品質に関する設定を行います。

■ **印刷目的（[印刷目的]）**

印刷の目的に合った設定があらかじめ用意されています。原稿の内容に合わせて項目を選択すると、最適な設定で印刷を行えます。用意されている［印刷目的］は、一般文書、DTP、写真、CAD などです。

■ **サンプルプリント（[色／グレー設定]）**

1 つのデータに対して、色調整の異なる 9 つの画像をまとめて 1 枚の用紙に印刷します。出力結果を比較して、明度やコントラストを調整するのに役立ちます。

［デバイスの設定］ページ

プリンタのオプションなどの設定を行います。

■ **オプションの設定（［給紙オプション］／［排紙オプション］／［デバイス情報取得］）**

給紙オプションや排紙オプションを設定することができます。［デバイス情報取得］機能を使うと、お使いのプリンタのオプション情報が取得され、自動でプリンタドライバ側の設定が行われます。

オンラインヘルプの使い方

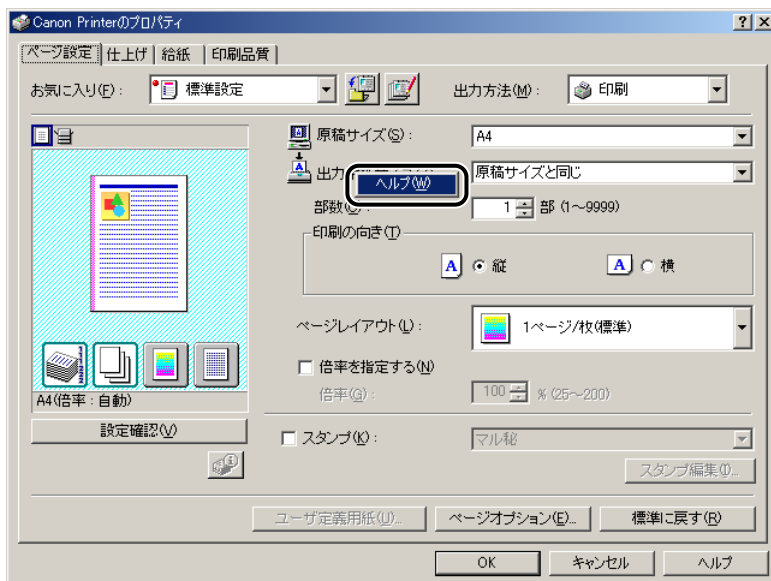
プリンタドライバの使用方法や各機能の詳細については、オンラインヘルプを参照してください。

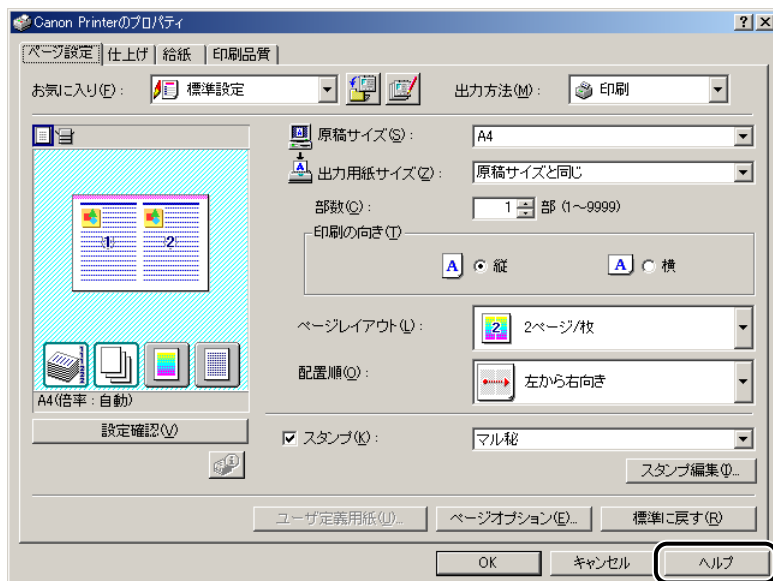
オンラインヘルプは、次の手順で表示できます。

1 **「印刷条件を設定する」（→ P.2-44）の手順に従って、プリンタドライバを表示します。**

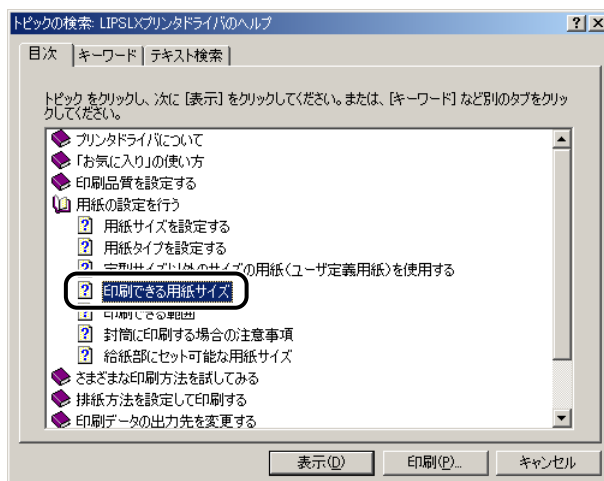
2 **調べたい項目を表示します。**

● 画面上の項目の機能を表示する場合

❑ 該当する項目を右クリックして、[ヘルプ] を選択します。

● 操作方法を表示する場合

❏ ［ヘルプ］をクリックします。

ヘルプファイルが表示されます。

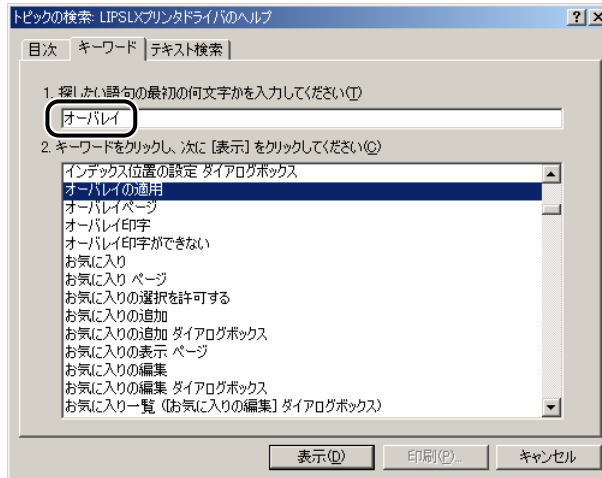
❏ ［目次］をクリックします。

❏ 知りたい項目のタイトルをダブルクリックします。

● **キーワードで検索する場合**

❑ ［ヘルプ］をクリックします。

ヘルプファイルが表示されます。

❑ ［キーワード］をクリックします。

❑ キーワードを入力して、関連するヘルプ項目のタイトルを表示します。

❑ 知りたい項目のタイトルをダブルクリックします。

メモ　お使いの OS によっては、［テキスト検索］で、自動的に作成された語句の一覧から検索することもできます。

2
Windows から印刷するには

Macintosh から印刷するには

3
CHAPTER

Macintosh にプリンタドライバをインストールする手順、および印刷する方法について説明しています。

印刷するときに必要な作業

Macintosh から印刷するときに必要な作業は、以下のとおりです。

プリンタを設置したあとに行う作業

■ プリンタドライバをインストールする

プリンタドライバは、アプリケーションソフトウェアから印刷するときに必要なソフトウェアです。プリンタドライバで、印刷に関する設定を行います。プリンタに発生したエラーや、プリンタに関する情報を取得するためのソフトウェア「プリントモニタ」もインストールされます。

■ プリンタをプリンタリストに登録する

プリンタドライバをインストールしたあと、使用するプリンタの機種と接続方法をプリンタリストに登録します。

印刷のたびに行う作業

■ 印刷する

アプリケーションソフトウェアからプリントメニューを開き、プリンタリストに登録したプリンタを選択します。印刷部数などの設定を行い、印刷します。

必要なシステム環境

Macintosh 用プリンタドライバを利用するには、次のシステム環境が必要です。

Mac OS 9 用プリンタドライバ

- OS
  - ・Mac OS 9.1/9.2.1/9.2.2、Mac OS X（10.1.5 以降の Classic のみ）
- コンピュータ／メモリ
  - ・上記 OS が動作する環境

重要
- Mac OS 9 には、LIPS IV プリンタドライバをインストールしてください。
- Mac OS X Classic をお使いの場合、本プリンタドライバをご利用ください。
- 日本語以外の OS には対応していません。

Mac OS X 用プリンタドライバ

- OS
  - ・Mac OS X（10.2.8 以降）
- コンピュータ／メモリ
  - ・上記 OS が動作する環境

重要
- Mac OS X には、通常は LIPS LX プリンタドライバをインストールしてください。
- Mac OS X Classic をお使いの場合、Mac OS 9 用プリンタドライバをご利用ください。
- Mac OS X に LIPS IV プリンタドライバをインストールする場合は、［LIPSV］フォルダー［プリンタドライバ MacOSX］フォルダー［LIPS4］フォルダ内にある［Installer］アイコンをダブルクリックしてください。
- 日本語以外の OS には対応していません。

プリンタドライバをインストールする

初めてプリンタを使用するときには、プリンタドライバのインストールが必要です。以下の手順に従って、インストールしてください。

Mac OS 9 用プリンタドライバの場合

1 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

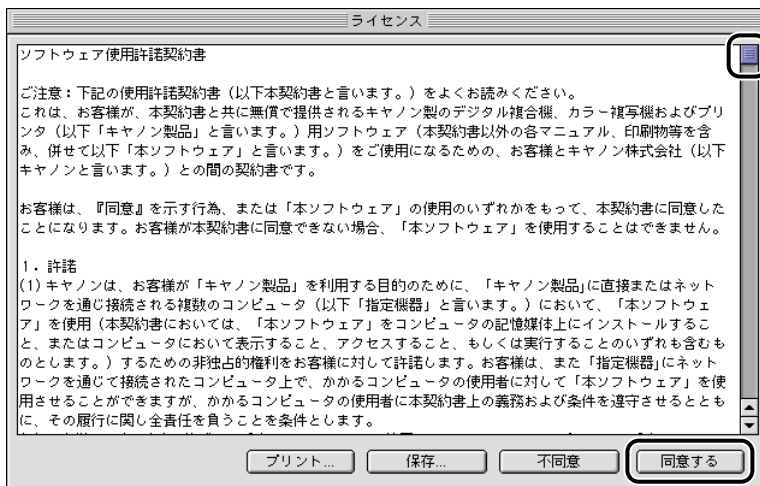
重要　インストール前に、他のアプリケーションソフトウェアをすべて終了してください。

2 CD-ROM 内の［LIPSV］－［プリンタドライバ MacOS9］フォルダを開きます。

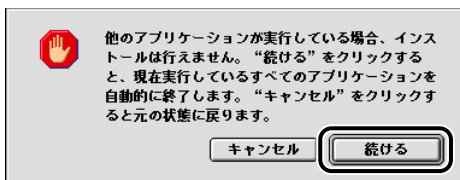
メモ　お使いの機種によって、フォルダ構成が異なることがあります。

3 ［Installer］アイコンをダブルクリックします。

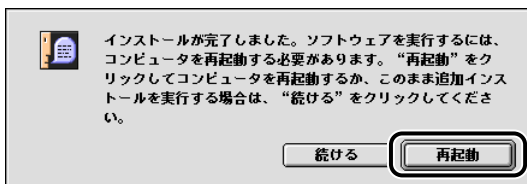
インストーラが起動します。

4 スクロールを下まで移動して内容を確認したあと、［同意する］をクリックします。

5 ［簡易インストール］が選択されていることを確認したあと、［インストール］をクリックします。

メモ　［カスタムインストール］ページを選択すると、インストールする項目を選択できます。

6 メッセージが表示されたら、［続ける］をクリックします。

インストールが開始されます。

メモ　プリンタのユーティリティソフトウェア「プリンタモニタ」も、同時にインストールされます。

7 インストールが完了してメッセージが表示されたら、［再起動］をクリックして、コンピュータを再起動します。

以上でインストールの作業が終了しました。引き続き、「プリンタをプリンタリストに登録する」（→ P.3-18）でプリンタを登録してください。

Mac OS X 用プリンタドライバの場合

1 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

重要
- インストール前に、他のアプリケーションソフトウェアをすべて終了してください。
- インストール前に、古いバージョンのプリンタドライバをアンインストールしてください。（→ P.3-14）

2 CD-ROM 内の［LIPSV］－［プリンタドライバ MacOSX］フォルダを開きます。

メモ　お使いの機種によって、フォルダ構成が異なることがあります。

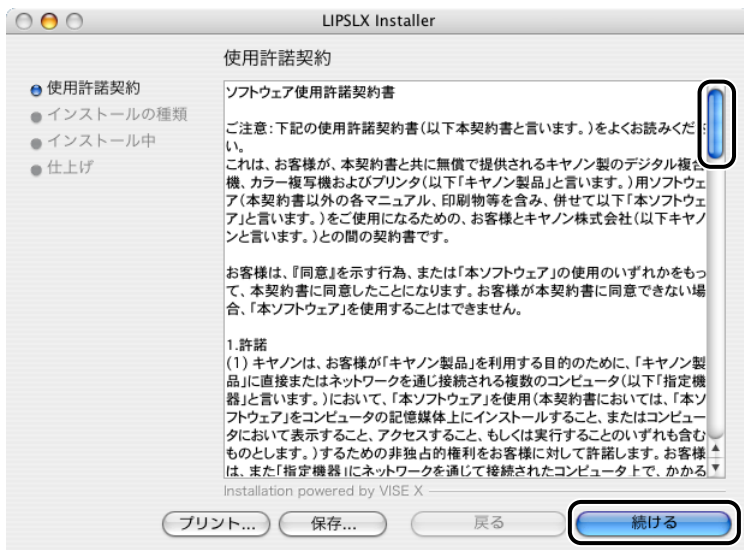
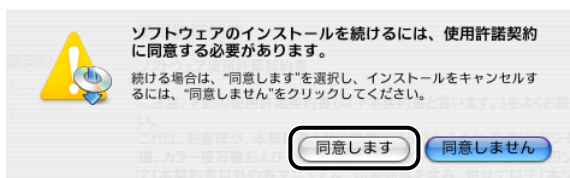
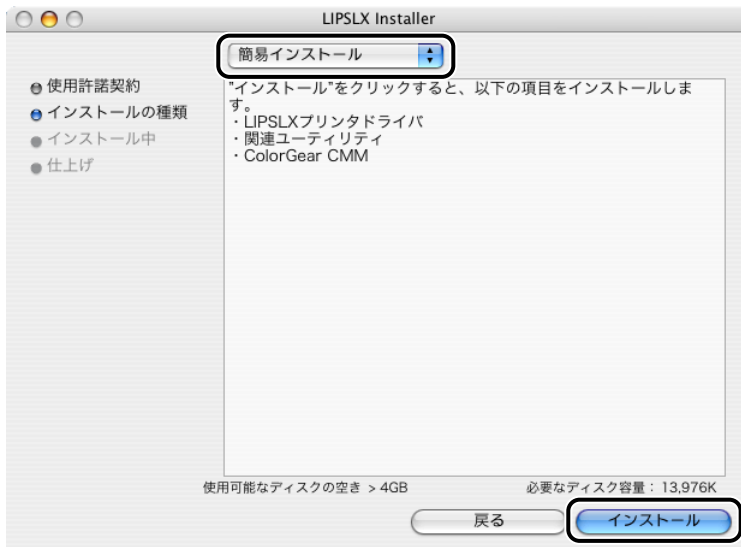
3 ［LIPSLX Installer］アイコンをダブルクリックします。

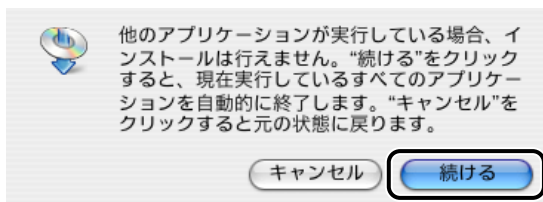
［認証］ダイアログが表示されます。

メモ　お使いの環境によっては、［認証］ダイアログが表示されない場合があります。その場合は、手順 5 へ進んでください。

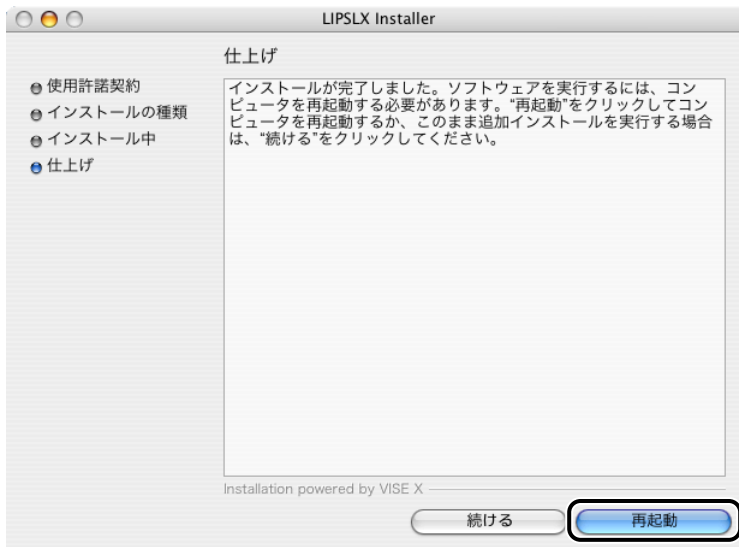
4 管理者の名前とパスワードを入力したあと、［OK］をクリックします。

インストーラが起動して、使用許諾契約書が画面に表示されます。

5 スクロールを下まで移動して内容を確認したあと、［続ける］をクリックします。

6 ［同意します］をクリックします。

7 ［簡易インストール］が選択されていることを確認したあと、［インストール］をクリックします。

メモ　［カスタムインストール］を選択すると、インストールする項目を選択できます。

8 メッセージが表示されたら、［続ける］をクリックします。

インストールが開始されます。

メモ　プリンタのユーティリティソフトウェア「プリンタモニタ」も、同時にインストールされます。

9 インストールが完了してメッセージが表示されたら、［再起動］をクリックして、コンピュータを再起動します。

コンピュータが再起動します。

以上でインストールの作業が終了しました。引き続き、「プリンタをプリンタリストに登録する」（→ P.3-18）でプリンタを登録してください。

プリンタドライバをアンインストールする

プリンタドライバが不要になった場合は、以下の手順でアンインストールを行います。

Mac OS 9 用プリンタドライバの場合

1 **すべてのアプリケーションソフトウェアを終了します。**

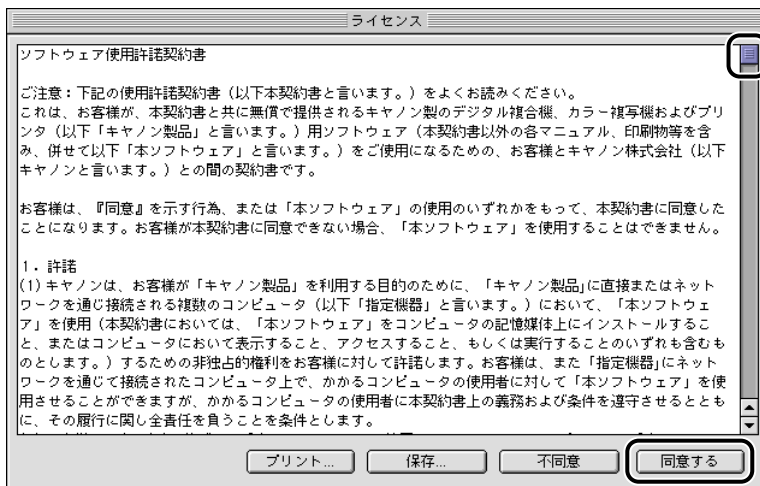
2 **付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。**

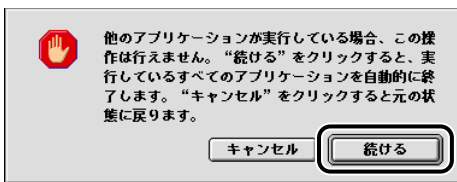
3 **CD-ROM 内の［LIPSV］－［プリンタドライバ MacOS9］フォルダを開きます。**

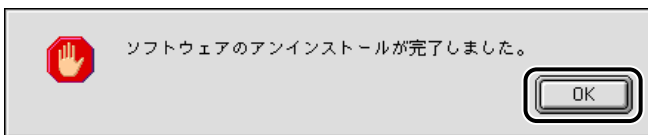
メモ　お使いの機種によって、フォルダ構成が異なることがあります。

4 **［Installer］アイコンをダブルクリックします。**

インストーラが起動します。

5 スクロールを下まで移動して内容を確認したあと、［同意する］をクリックします。

6 ［アンインストール］を選択したあと、［アンインストール］をクリックします。

7 メッセージが表示されたら、［続ける］をクリックします。

アンインストールが開始されます。

8 アンインストールが完了してメッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。

［Installer］ダイアログに戻ります。

9 ［終了］をクリックします。

以上でプリンタドライバのアンインストールが終了しました。

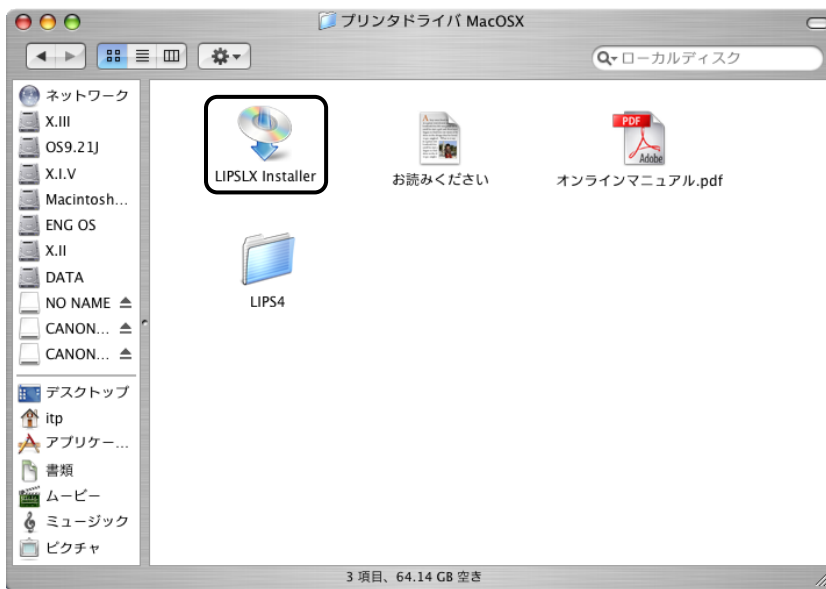
Mac OS X 用プリンタドライバの場合

1 すべてのアプリケーションソフトウェアを終了します。

2 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

3 CD-ROM 内の［LIPSV］－［プリンタドライバ MacOSX］フォルダを開きます。

メモ　お使いの機種によって、フォルダ構成が異なることがあります。

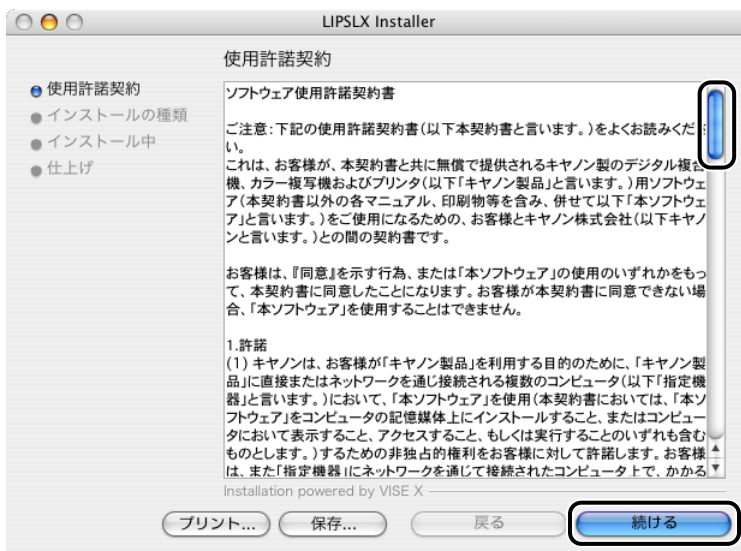
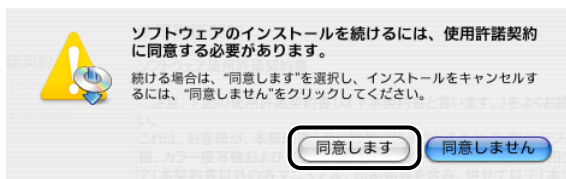
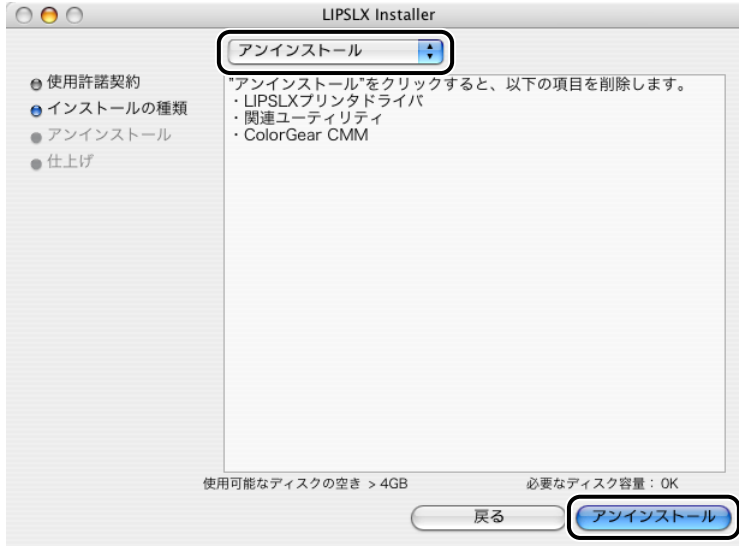
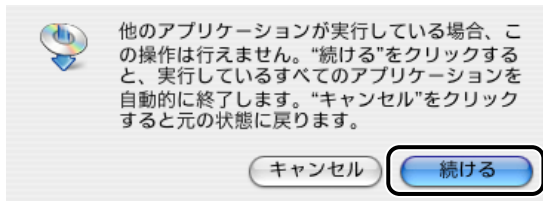
4 ［LIPSLX Installer］アイコンをダブルクリックします。

［認証］ダイアログが表示されます。

メモ　お使いの環境によっては、［認証］ダイアログが表示されない場合があります。その場合は、手順 6 へ進んでください。

3　Macintosh から印刷するには

5 管理者の名前とパスワードを入力したあと、[OK]をクリックします。

インストーラが起動して、使用許諾契約書が画面に表示されます。

6 スクロールを下まで移動して内容を確認したあと、[続ける]をクリックします。

7 [同意します]をクリックします。

8 ［アンインストール］を選択したあと、［アンインストール］をクリックします。

9 メッセージが表示されたら、［続ける］をクリックします。

アンインストールが開始されます。

10 アンインストールが完了してメッセージが表示されたら、［終了］をクリックします。

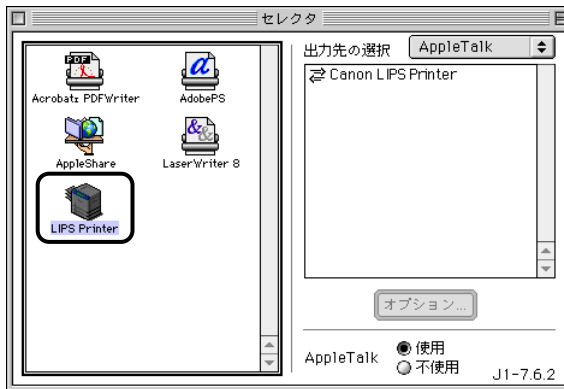
以上でプリンタドライバのアンインストールが終了しました。

プリンタをプリンタリストに登録する

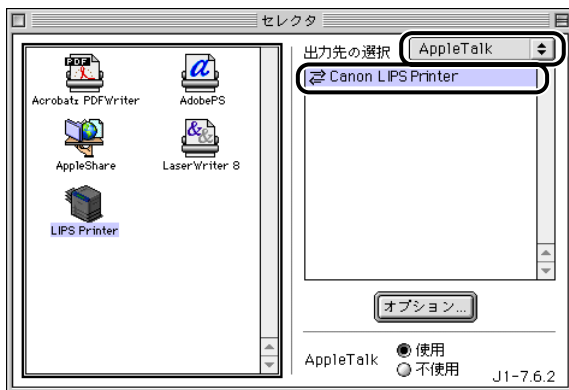
プリンタドライバをインストールしたら、プリンタをプリンタリストに登録します。

Mac OS 9 用プリンタドライバの場合

1 **Apple メニューから［セレクタ］を選択します。**

2 **［LIPS Printer］アイコンを選択します。**

［出力先の選択］に、本プリンタドライバで使用できるデバイスの一覧が表示されます。

- キヤノン製以外のプリンタドライバをインストールした場合は、アイコンの名称が異なります。セレクタにアイコンが表示されないときは、プリンタドライバを再度インストールしてください。
- ［出力先の選択］に、プリンタ名が表示されないときは、プリンタの電源が入っていることを確認してください。

3 ［出力先の選択］から使用するプリンタの接続形態（［AppleTalk］、［USB］のいずれか）とプリンタを選択します。

4 セレクタを閉じます。

設定が保存されます。

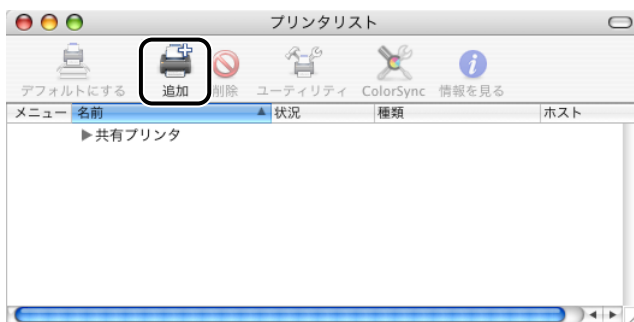
以上で Macintosh から印刷する準備が終了しました。

Mac OS X 用プリンタドライバの場合

USB 接続の場合（Mac OS X 10.2.8 ～ 10.3.9）

1 お使いのハードディスクの［アプリケーション］－［ユーティリティ］フォルダにある、［プリンタ設定ユーティリティ］アイコンをダブルクリックします。

［プリンタリスト］ダイアログが表示されます。

メモ　Mac OS X 10.2.8 をお使いの場合は、［プリントセンター］アイコンをダブルクリックしてください。

2 ［追加］をクリックします。

メモ　［プリンタリスト］ダイアログの画面は、Mac OS X のバージョンによって異なります。

3 ［USB］を選択します。

4 プリンタリストの一覧からお使いのプリンタを選択したあと、[追加]をクリックします。

Mac OS X 10.3 以降をお使いの場合は、お使いのプリンタを選択したあとに、[プリンタの機種]で[LIPSLX Printer]を選択してから[追加]をクリックしてください。

Mac OS X 10.2.8 をお使いの場合は、[種類]が[LIPSLX Printer]と表示されているプリンタを選択してください。それ以外のプリンタは、選択しないでください。

メモ　プリンタ名が表示されないときは、プリンタの電源が入っていることを確認してください。

5 [プリンタリスト]ダイアログに、プリンタが追加されていることを確認したあと、[プリンタリスト]ダイアログを閉じます。

メモ　[プリンタリスト]ダイアログに、お使いの機種名が表示されない場合は、[Canon Printer LIPS LX](モノクロプリンタの場合)、[Canon Color Printer LIPS LX](カラープリンタの場合)と表示されます。

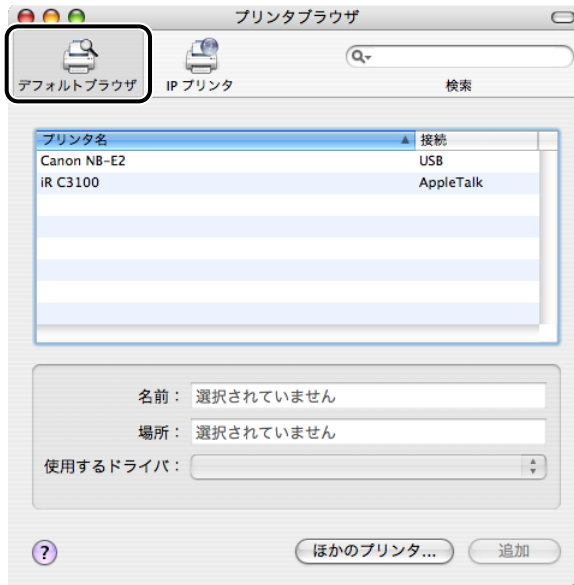
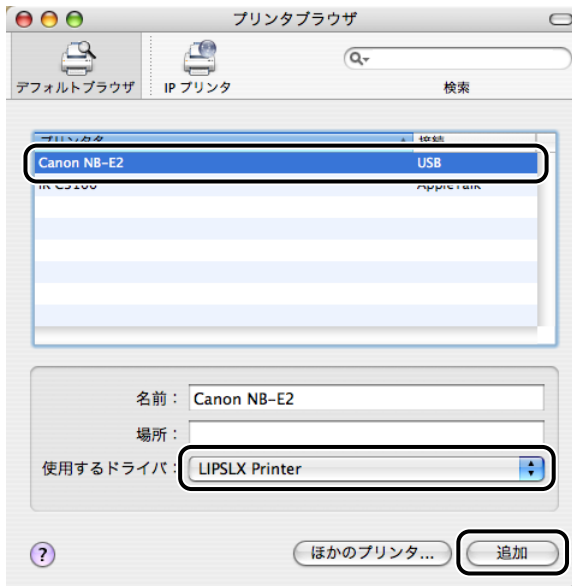
USB 接続の場合(Mac OS X 10.4 以降)

1 お使いのハードディスクの[アプリケーション]－[ユーティリティ]フォルダにある、[プリンタ設定ユーティリティ]アイコンをダブルクリックします。

[プリンタリスト]ダイアログが表示されます。

2 [追加]をクリックします。

[プリンタブラウザ]ダイアログが表示されます。

3 ［デフォルトブラウザ］をクリックします。

4 プ リンタ名の一覧からお使いのプリンタを選択したあと、［使用するドライバ］で［LIPSLX Printer］を選択して、［追加］をクリックします。

［接続］が［USB］と表示されているプリンタを選択してください。

メモ　プリンタ名が表示されないときは、プリンタの電源が入っていることを確認してください。

5 ［プリンタリスト］ダイアログに、プリンタが追加されていることを確認したあと、［プリンタリスト］ダイアログを閉じます。

メモ　［プリンタリスト］ダイアログに、お使いの機種名が表示されない場合は、［Canon Printer LIPS LX］（モノクロプリンタの場合）、［Canon Color Printer LIPS LX］（カラープリンタの場合）と表示されます。

AppleTalk 接続の場合（Mac OS X 10.2.8 ～ 10.3.9）

1 お使いのハードディスクの［アプリケーション］－［ユーティリティ］フォルダにある、［プリンタ設定ユーティリティ］アイコンをダブルクリックします。

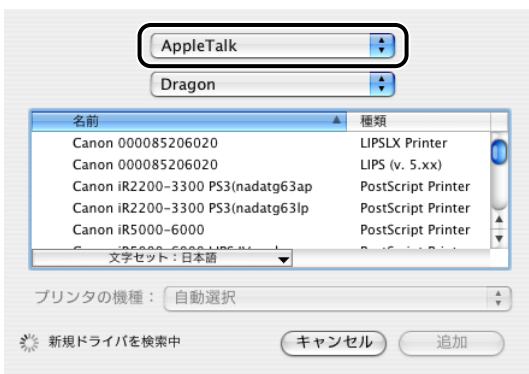
［プリンタリスト］ダイアログが表示されます。

メモ　Mac OS X 10.2.8 をお使いの場合は、［プリントセンター］アイコンをダブルクリックしてください。

2 ［追加］をクリックします。

メモ　［プリンタリスト］ダイアログの画面は、Mac OS X のバージョンによって異なります。

3 ［AppleTalk］を選択します。

3 Macintosh から印刷するには

4 プリンタリストの一覧からお使いのプリンタを選択したあと、[追加]をクリックします。

[種類] が [LIPSLX Printer] と表示されているプリンタを選択してください。それ以外のプリンタは、選択しないでください。

メモ　プリンタ名が表示されないときは、プリンタの電源が入っていることを確認してください。

5 [プリンタリスト] ダイアログに、プリンタが追加されていることを確認したあと、[プリンタリスト] ダイアログを閉じます。

メモ　[プリンタリスト] ダイアログに、お使いの機種名が表示されない場合は、[Canon Printer LIPS LX] (モノクロプリンタの場合)、[Canon Color Printer LIPS LX] (カラープリンタの場合) と表示されます。

AppleTalk 接続の場合 (Mac OS X 10.4 以降)

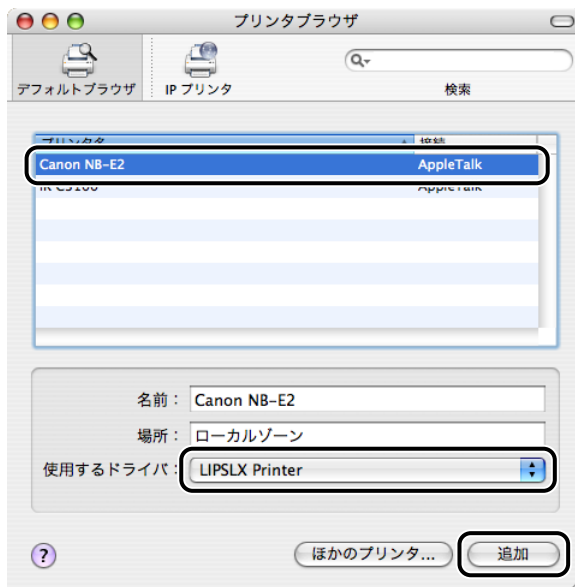
1 お使いのハードディスクの [アプリケーション] − [ユーティリティ] フォルダにある、[プリンタ設定ユーティリティ] アイコンをダブルクリックします。

[プリンタリスト] ダイアログが表示されます。

2 [追加] をクリックします。

[プリンタブラウザ] ダイアログが表示されます。

3 [デフォルトブラウザ] をクリックします。

4 プリンタ名の一覧からお使いのプリンタを選択したあと、［使用するドライバ］で［LIPSLX Printer］を選択して、［追加］をクリックします。

［接続］が［AppleTalk］と表示されているプリンタを選択してください。

メモ　プリンタ名が表示されないときは、プリンタの電源が入っていることを確認してください。

5 ［プリンタリスト］ダイアログに、プリンタが追加されていることを確認したあと、［プリンタリスト］ダイアログを閉じます。

メモ　［プリンタリスト］ダイアログに、お使いの機種名が表示されない場合は、［Canon Printer LIPS LX］（モノクロプリンタの場合）、［Canon Color Printer LIPS LX］（カラープリンタの場合）と表示されます。

IP 接続の場合（Mac OS X 10.2.8 ～ 10.3.9）

1 **お使いのハードディスクの［アプリケーション］－［ユーティリティ］フォルダにある、［プリンタ設定ユーティリティ］アイコンをダブルクリックします。**

［プリンタリスト］ダイアログが表示されます。

メモ　Mac OS X 10.2.8 をお使いの場合は、［プリントセンター］アイコンをダブルクリックしてください。

2 **［追加］をクリックします。**

メモ　［プリンタリスト］ダイアログの画面は、Mac OS X のバージョンによって異なります。

3 **［Canon IP（LIPSLX)］を選択します。**

4 **［プリンタのアドレス］に、お使いのプリンタの IP アドレス、またはDNS 名称を入力します。**

メモ　IP アドレスをプリンタの名称に使用する場合は、［キュー名］は空白のままにしてください。

5 **［追加］をクリックします。**

6 **［プリンタリスト］ダイアログに、プリンタが追加されていることを確認したあと、［プリンタリスト］ダイアログを閉じます。**

3
Macintosh から印刷するには

メモ　［プリンタリスト］ダイアログに、お使いの機種名が表示されない場合は、［Canon Printer LIPS LX］（モノクロプリンタの場合）、［Canon Color Printer LIPS LX］（カラープリンタの場合）と表示されます。

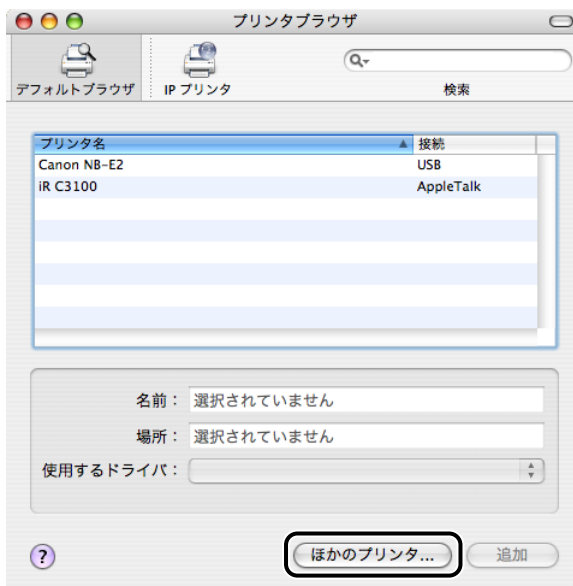
IP 接続の場合（Mac OS X 10.4 以降）

1 **お使いのハードディスクの［アプリケーション］－［ユーティリティ］フォルダにある、［プリンタ設定ユーティリティ］アイコンをダブルクリックします。**

［プリンタリスト］ダイアログが表示されます。

2 **［追加］をクリックします。**

［プリンタブラウザ］ダイアログが表示されます。

3 **［ほかのプリンタ］をクリックします。**

4 ［Canon IP（LIPSLX)］を選択します。

5 ［プリンタのアドレス］に、お使いのプリンタの IP アドレス、または DNS 名称を入力します。

メモ　IP アドレスをプリンタの名称に使用する場合は、［キュー名］は空白のままにしてください。

6 ［追加］をクリックします。

7 ［プリンタリスト］ダイアログに、プリンタが追加されていることを確認したあと、［プリンタリスト］ダイアログを閉じます。

メモ　［プリンタリスト］ダイアログに、お使いの機種名が表示されない場合は、［Canon Printer LIPS LX］（モノクロプリンタの場合）、［Canon Color Printer LIPS LX］（カラープリンタの場合）と表示されます。

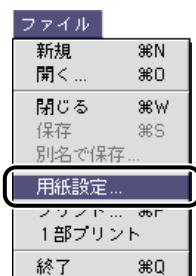
以上で Macintosh から印刷する準備が終了しました。

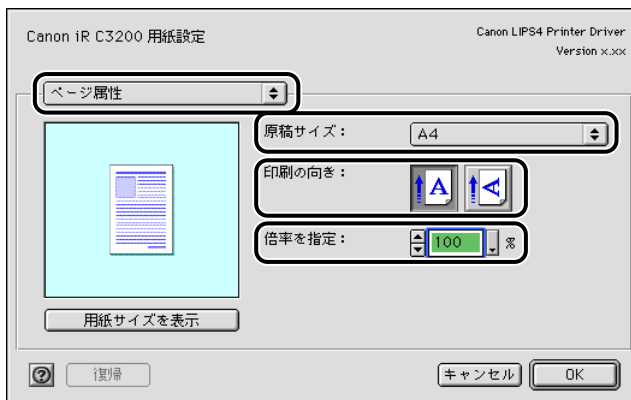
プリンタドライバから印刷する

ここでは、アプリケーションソフトウェアから原稿を印刷する手順を説明しています。
なお、印刷手順はアプリケーションソフトウェアによって異なります。詳しくは、各アプリケーションソフトウェアに付属の取扱説明書を参照してください。

Mac OS 9 用プリンタドライバの場合

1 **アプリケーションソフトウェアを起動します。**

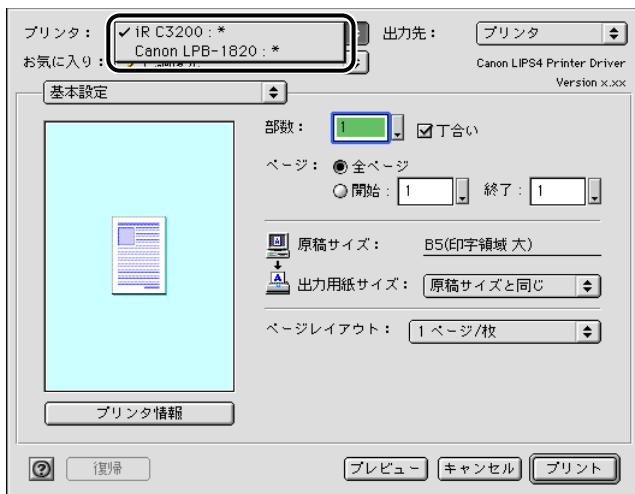
2 **［ファイル］メニューから［用紙設定］を選択します。**

［用紙設定］ダイアログが表示されます。

3 ［ページ属性］が選択されていることを確認して、原稿サイズ、印刷方向、倍率を設定します。

4 ［用紙設定］ダイアログの［OK］をクリックします。

5 ［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。

［プリント］ダイアログが表示されます。

メモ　［プリント］ダイアログの表示は、お使いのアプリケーションソフトウェアによって異なることがあります。

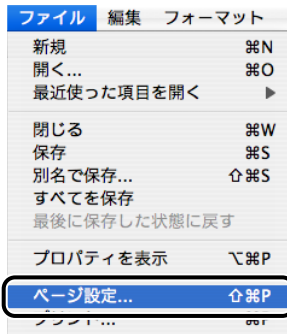
6 ［プリンタ］のポップアップメニューから、プリンタ名を選択します。

ゾーンが設定されている AppleTalk 環境では、メニューに「プリンタ名：ゾーン名」が表示されます。

7 ページ範囲、部数などを設定したあと、［プリント］をクリックします。

印刷が開始されます。

Mac OS X 用プリンタドライバの場合

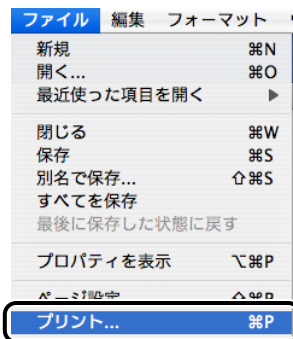
1 アプリケーションソフトウェアを起動して、印刷する原稿を表示します。

2 ［ファイル］メニューから［ページ設定］（または［用紙設定］）を選択します。

［ページ設定］（または［用紙設定］）ダイアログが表示されます。

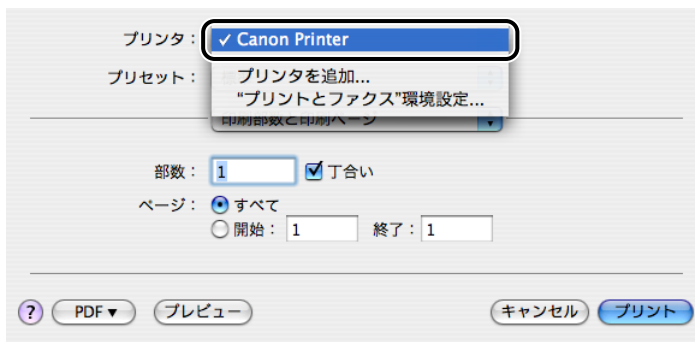
3 ［設定］で［ページ属性］が選択されていることを確認して、［対象プリンタ］で印刷するプリンタを選択します。

4 用紙サイズ、拡大縮小率、用紙の向きを設定します。

5 ［ページ設定］（または［用紙設定］）ダイアログの［OK］をクリックします。

6 ［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。

［プリント］ダイアログが表示されます。

メモ　［プリント］ダイアログの表示は、お使いのアプリケーションソフトウェアによって異なることがあります。

7 ［プリンタ］から印刷するプリンタ名を選択します。

8 ページ範囲、部数などを設定したあと、［プリント］をクリックします。

印刷が開始されます。

メモ

- 手順 7 の［プリンタ］には、［プリンタ設定ユーティリティ］のプリンタリスト（Mac OS X 10.2.8 をお使いの場合は、［プリントセンター］のプリンタリスト）に追加したプリンタが表示されます。
- プリンタドライバの使用方法については、オンラインマニュアルを参照してください。オンラインマニュアルの表示方法は、「オンラインマニュアルを表示する」（→ P.3-34）を参照してください。

オンラインマニュアルを表示する

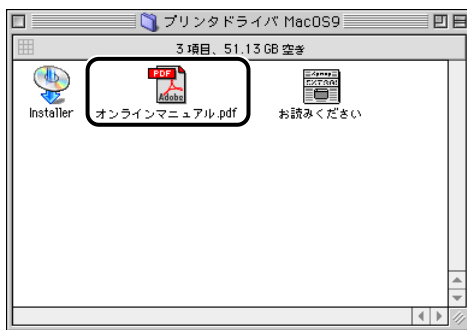
プリンタドライバの使用方法については、オンラインマニュアルを参照してください。
オンラインマニュアルは、次の手順で表示できます。

Mac OS 9 用プリンタドライバの場合

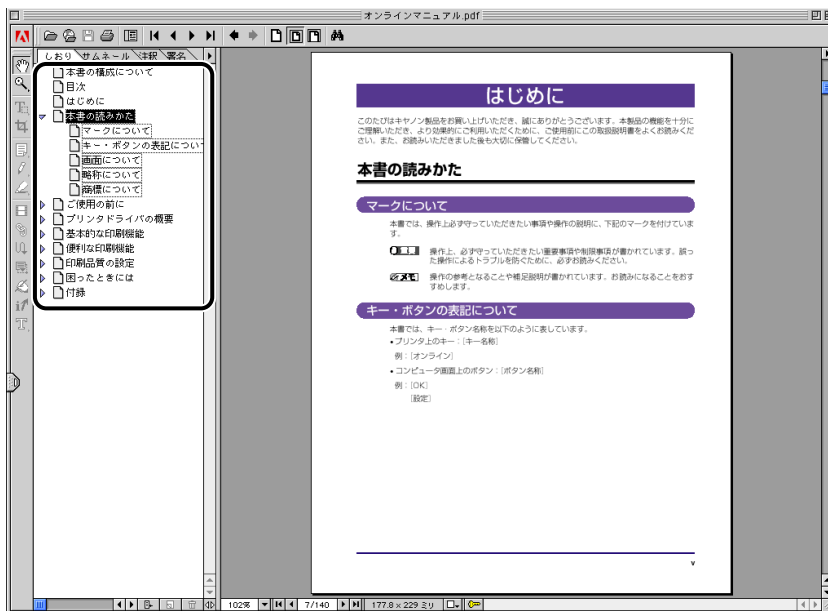
1 **付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。**

2 **CD-ROM 内の［LIPSV］－［プリンタドライバ MacOS9］フォルダを開きます。**

メモ　お使いの機種によって、フォルダ構成が異なることがあります。

3 **［オンラインマニュアル .pdf］アイコンをダブルクリックします。**

オンラインマニュアルが起動します。

メモ　常にオンラインマニュアルをお使いいただけるように、OS 上の任意のフォルダにコピーすることをおすすめします。

4 ［しおり］メニューから参照するトピックを選択します。

選択したトピックに関する説明が、画面に表示されます。

Mac OS X 用プリンタドライバの場合

1 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

2 CD-ROM 内の［LIPSV］－［プリンタドライバ MacOSX］フォルダを開きます。

メモ　お使いの機種によって、フォルダ構成が異なることがあります。

3 ［オンラインマニュアル .pdf］アイコンをダブルクリックします。

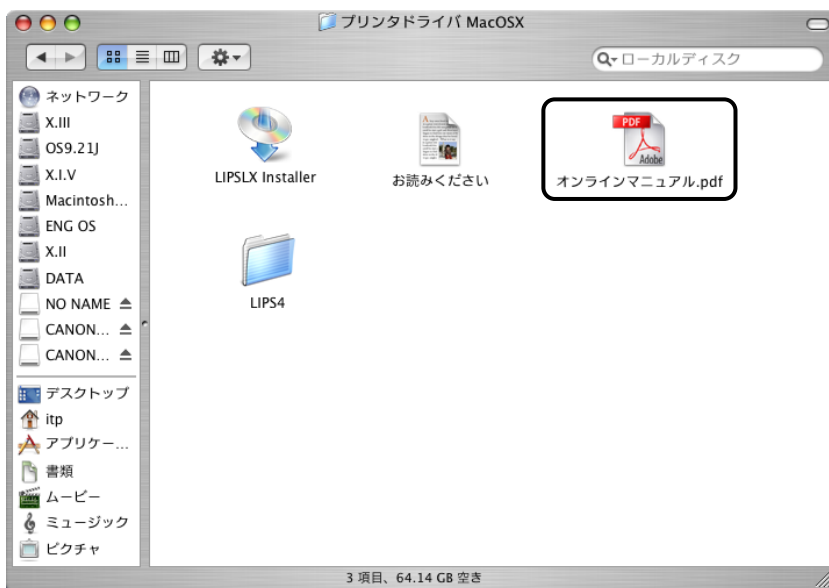
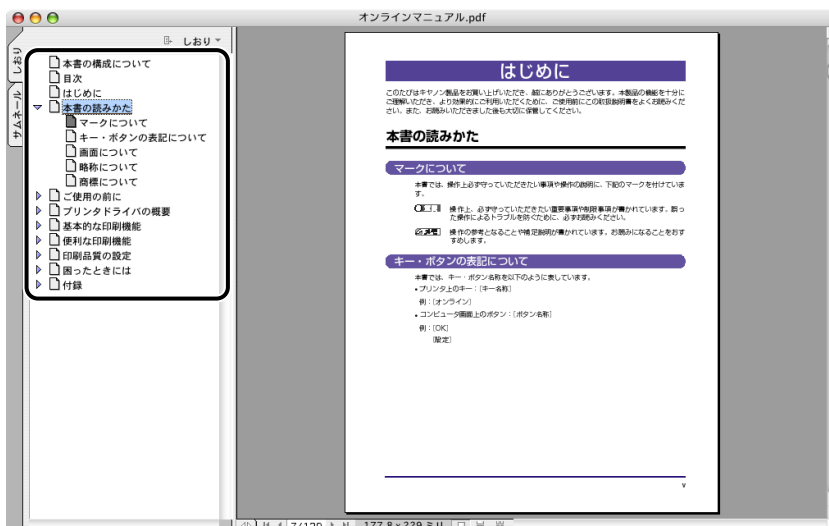
オンラインマニュアルが起動します。

メモ　常にオンラインマニュアルをお使いいただけるように、OS 上の任意のフォルダにコピーすることをおすすめします。

4 ［しおり］メニューから参照するトピックを選択します。

選択したトピックに関する説明が、画面に表示されます。

DOSから印刷するには

4
CHAPTER

PC-98 シリーズ日本語 MS-DOS Version 3.30 以降、または DOS/V Version 5.0 以降で印刷する方法について説明しています。

印刷するときに必要な作業

「設置ガイド」、または「ユーザーズガイド」に従ってプリンタの設置が完了したら、次は印刷に必要な設定作業を行う必要があります。

ここでは、アプリケーションソフトウェアから印刷するために必要な作業を説明しています。

プリンタを設置したあとに行う作業

■ 使用するプリンタの機種名を選択する

DOS アプリケーションソフトウェアから印刷するには、各アプリケーションソフトウェアに用意されているプリンタ設定メニューで、使用するプリンタ名を選択します。この作業は、印刷を実行するすべてのアプリケーションソフトウェアで行ってください。

印刷のたびに行う作業

■ 印刷設定を行う

プリンタの用紙サイズ、原稿のサイズ、印刷部数などを設定します。この設定が適切でないと、期待した印刷結果が得られないことがあります。

プリンタの設定は、アプリケーションソフトウェアから行います。

■ ページフォーマットを設定する

使用するプリンタの機種名を LIPS プリンタ以外（PC-PR201/80A や ESC/P プリンタなど）に設定した場合は、アプリケーションソフトウェアの用紙設定に合わせたページフォーマットの設定が必要です。

■ 印刷する

アプリケーションソフトウェアから印刷します。この操作はアプリケーションソフトウェアごとに異なりますので、各アプリケーションソフトウェアに付属の取扱説明書を参照してください。

アプリケーションソフトウェアから印刷する

DOS アプリケーションソフトウェアから印刷する場合には、アプリケーションソフトウェアで使用するプリンタの機種を選択して、印刷のレイアウトなどの設定を決める必要があります。

印刷の前に、以下を参考にしてプリンタの機種を選択してください。

重要
- DOS アプリケーションソフトウェアから印刷する場合には、付属の Windows 用プリンタドライバは使用できません。
- 本プリンタとキヤノン BJ プリンタは、印刷機構の違いのため互換性はありません。BJ プリンタ、LIPS IVc プリンタなどは選択しないでください。

メモ
プリンタの機種の選択方法、印刷の手順については、お使いのアプリケーションソフトウェアに付属の取扱説明書の、印刷に関する部分を参照してください。

■ 本プリンタの機種名が表示される場合

本プリンタの機種名を選択します。

■ 他の LBP の機種名しか表示されない場合

本プリンタの機種名がないときは、以下の表に記載した、互換性がある他の LBP の機種名を選択します。

優先順位	機種名	LIPS のバージョン
1	LBP-730、720、450、LIPS IV など	LIPS IV
2	LBP-A309GII、A304GII、A304E、B406GII、B406G、B406EII、B406E、B406S (LIPS III)、B406D (LIPS III)、A404F、A404GII、A404E、A404 (LIPS III)	LIPS III
3	LBP-B406S (LIPS II+)、B406D (LIPS II+)、A404(LIPS II+)、B406、A408	LIPS II+
4	キヤノン LBP、LASER SHOT、LIPS など	

重要
これらのプリンタの機種名を選択したときは、印刷には支障ありませんが、機能が制限されることがあります。

メモ
- 優先順位が高いほど、本プリンタとの互換性が高くなります。
- プリンタ設定の方法や表示される機種名は、アプリケーションソフトウェアによって違います。正しく設定するには、アプリケーションソフトウェアに付属の取扱説明書を参照してください。

■ アプリケーションソフトウェアが日本電気（株）製プリンタにしか対応していない場合

NEC 製 PC-PR201/80A プリンタなどを選択して、N201 エミュレーションモードで使用します。

■ アプリケーションソフトウェアが DOS/V コンピュータ（ESC/P）用のプリンタにしか対応していない場合

ESC/P のプリンタを選択して、ESC/P エミュレーションモードで使用します。

メモ　ESC/P エミュレーションモードの設定方法や注意事項については、「ユーザーズガイド」を参照してください。

プリンタのユーティリティソフトウェアを使用するには

5
CHAPTER

付属のユーティリティソフトウェアをインストールする方法について説明しています。

NetSpot Job Monitor をインストールする

NetSpot Job Monitor をインストールして、プリンタの管理を行う方法を説明します。

必要なシステム環境

NetSpot Job Monitor を利用するには、次のシステム環境が必要です。

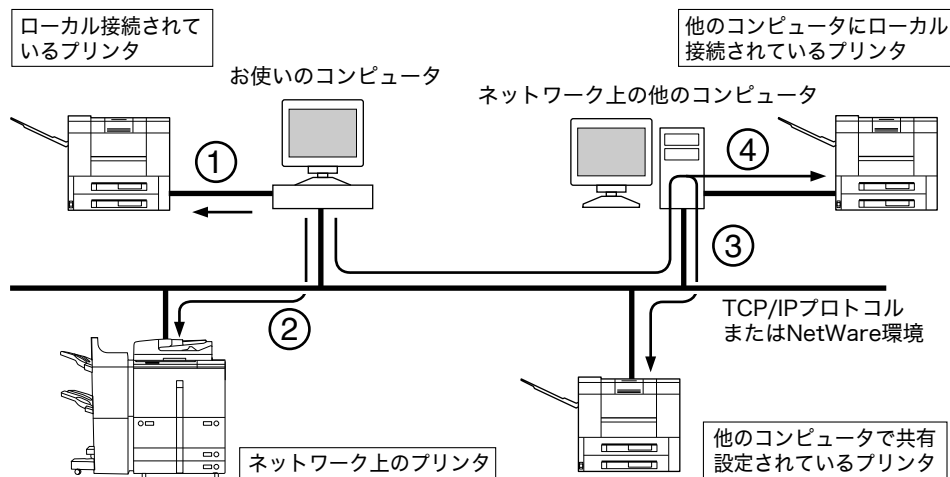
■ NetSpot Job Monitor

NetSpot Job Monitor は、以下のシステム環境でご利用になれます。

- OS
  - ・Microsoft Windows 98/Me 日本語版
  - ・Microsoft Windows NT Workstation 4.0 日本語版
  - ・Microsoft Windows 2000 Professional 日本語版
  - ・Microsoft Windows XP Professional/Home Edition 日本語版
- コンピュータ
  - ・intel486/Pentium 系 CPU で上記 OS が動作するコンピュータ
- メモリ
  - ・16MB 以上
- ハードディスク
  - ・10MB 以上（インストール時）、10MB 以上（動作時）
- 画面
  - ・640 x 480 ドット、256 色
- プロトコルスタック
  - ・Windows に付属の TCP/IP プロトコル（TCP/IP 版）

重要
- Windows NT 4.0 には、Service Pack 6 以降をインストールしてください。
- iR シリーズおよび LBP5900 でローカル接続している場合、NetSpot Job Monitor は使用できません。
- NetSpot Job Monitor を使用するには、コンピュータとプリンタで双方向通信が行える必要があります。双方向通信が可能なプリンタケーブルで接続して、プリンタとプリンタドライバともに双方向機能を使用する設定にしてください（初期状態では、双方向機能を使用するように設定されています）。

印刷状況を確認できるプリンタの種類

NetSpot Job Monitor は、プリンタの現在の状態や印刷状況を確認するためのユーティリティソフトウェアです。デバイスボードまたはステータスモニタを使って、プリンタの状態確認、印刷ジョブの停止や削除などが行えます。
NetSpot Job Monitor は、以下のような接続形態のプリンタの印刷状況を確認することができます。

■ **ローカル接続されているプリンタ（上図 ①）**

コンピュータのパラレルインターフェースにセントロニクスケーブルで接続されたプリンタや USB 接続されたプリンタの印刷状況が、確認できます。ただし、シリアルポートに接続されているローカルプリンタの印刷状況は、確認できません。

重要 iR シリーズおよび LBP5900 でローカル接続している場合、NetSpot Job Monitor は使用できません。

■ **お使いのコンピュータから TCP/IP プロトコルまたは NetWare 環境で接続されているプリンタ（上図 ②）**

TCP/IP プロトコルの場合は、ネットワークボードが対応している LPR ソフトウェアを使用して、プリンタの印刷状況が確認できます。

NetWare 環境の場合は、NetWare のプリントキューを使用して、プリンタの印刷状況が確認できます（プリントサーバモード、リモートプリンタモードのどちらにも対応しています）。

メモ Novell NetWare 6.0 以降には対応していません。

■ **共有設定されているプリンタ（上図③、④）**

上記、「ローカル接続されているプリンタ」、または「お使いのコンピュータから TCP/IP プロトコルまたは NetWare 環境で接続されているプリンタ」を共有設定している場合は、その共有プリンタに印刷できるコンピュータからも、共有プリンタの印刷状況が確認できます。
この場合は、共有設定しているコンピュータに、NetSpot Job Monitor（共有設定しているコンピュータが Windows NT 4.0/2000/XP の場合は、NetSpot Job Monitor 管理者モード）がインストールされている必要があります。

重要　図④の環境で iR400 を除く iR シリーズをお使いの場合、NetSpot Job Monitor は使用できません。

NetSpot Job Monitor のインストール

NetSpot Job Monitor のインストール手順を説明しています。

メモ
- Windows NT 4.0/2000/XP 用の NetSpot Job Monitor には、管理者用の NetSpot Job Monitor と一般ユーザ用の NetSpot Job Monitor があります。どちらの NetSpot Job Monitor をインストールするかにより、インストール方法が異なります。

NetSpot Job Monitor の種類	インストールに必要な権限	印刷状況を確認できるプリンタの種類
管理者用	Windows NT 4.0/2000/XP の Administrators	NetSpot Job Monitor が対応する全プリンタ（下記参照）
一般ユーザ用	Windows NT 4.0/2000/XP の Administrators	共有設定されているプリンタのみ

- 管理者用の NetSpot Job Monitor では、以下のプリンタの印刷状況を確認できます。
  ・ローカル接続されているプリンタ（iR シリーズを除く）
  ・お使いのコンピュータから TCP/IP プロトコルまたは NetWare 環境で接続されているプリンタ
  ・共有設定されているプリンタ
- 一般ユーザ用の NetSpot Job Monitor では、共有設定されているプリンタ（→印刷状況を確認できるプリンタの種類：P.5-3）の印刷状況のみ確認できますので、他の Windows NT 4.0/2000/XP をサーバとして使用している場合などにお使いください。そのとき、サーバとして使用している Windows NT 4.0/2000/XP には、管理者用の NetSpot Job Monitor をインストールしてください。

1 コンピュータを起動します。

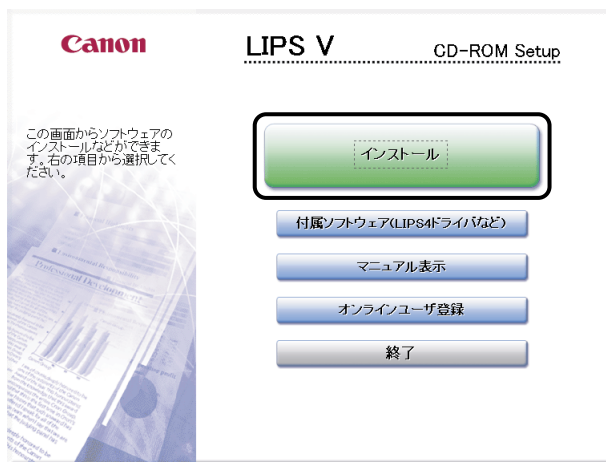
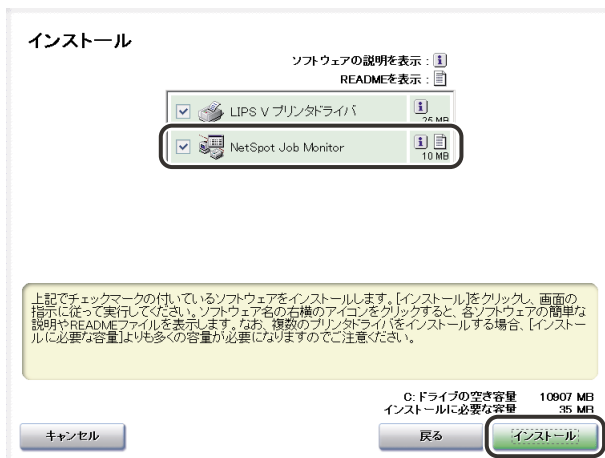
重要
- インストール前に、他のアプリケーションソフトウェアをすべて終了してください。
- Windows NT 4.0/2000/XP をお使いの場合、起動した際に、必ず Administrators のメンバーとしてログオンしてください。

2 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

CD-ROM メニューが自動的に表示されます。

メモ
CD-ROM メニューが起動しない場合は、［マイコンピュータ］の CD-ROM ドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

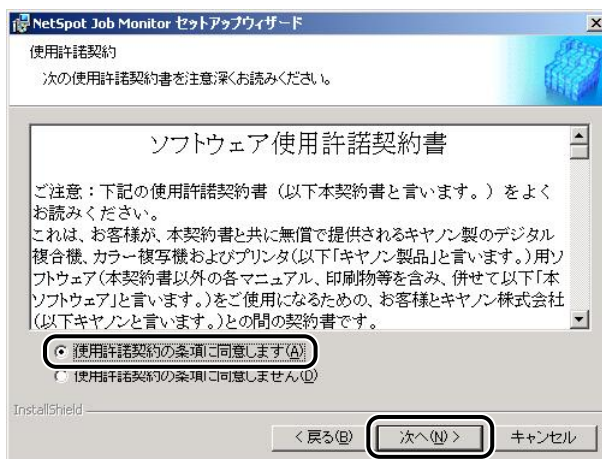
3 CD-ROM メニューの［インストール］をクリックします。

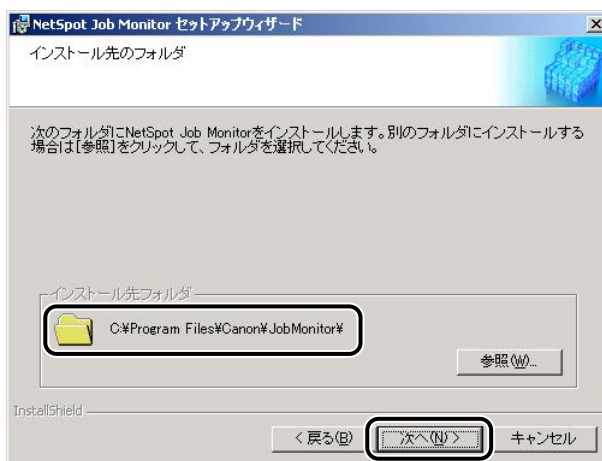
5
プリンタのユーティリティソフトウェアを使用するには

4 [NetSpot Job Monitor] にチェックマークが付いていることを確認したあと、[インストール] をクリックします。

チェックマークが付いているソフトウェアは、順次インストールされます。必要に応じて、チェックマークを外します。

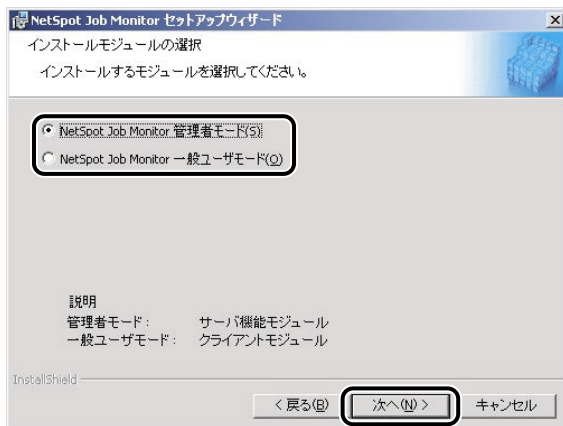
セットアップウィザードが表示されます。

5 [次へ] をクリックします。

使用許諾契約書が画面に表示されます。

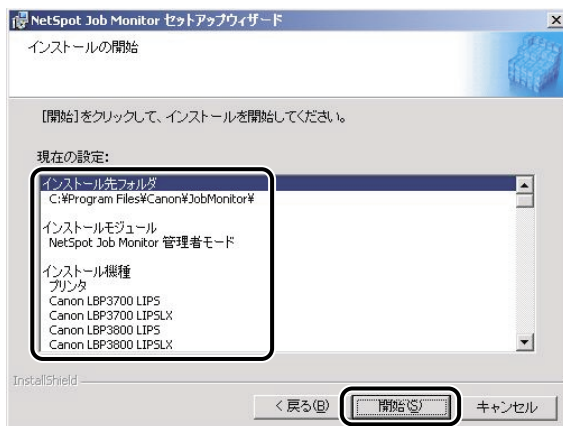
6 内容を確認して、[使用許諾契約の条項に同意します]を選択したあと、[次へ]をクリックします。

メモ　お使いの環境によっては、コンピュータの再起動を促すメッセージが表示される場合があります。その場合は、コンピュータの再起動後にインストールを続けてください。

7 インストール先を確認したあと、[次へ]をクリックします。

[参照]をクリックして、インストール先のディレクトリを任意に指定することもできます。

8 Windows NT 4.0/2000/XP で Administrators の権限がある場合は、[NetSpot Job Monitor 管理者モード] または [NetSpot Job Monitor 一般ユーザモード] を選択したあと、[次へ] をクリックします。

モジュールの種類

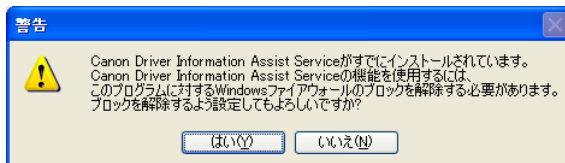
- 管理者モード：
  プリンタ管理などのサーバ機能モジュールをインストールします。
- 一般ユーザモード：
  プリンタの状態表示などのクライアントモジュールをインストールします。

Windows 98/Me の場合や、Windows NT 4.0/2000/XP で管理者用をインストール済みの場合は、上図の画面は表示されません。手順 9 に進んでください。

9 設定内容を確認したあと、［開始］をクリックします。

NetSpot Job Monitor のインストールが開始されます。

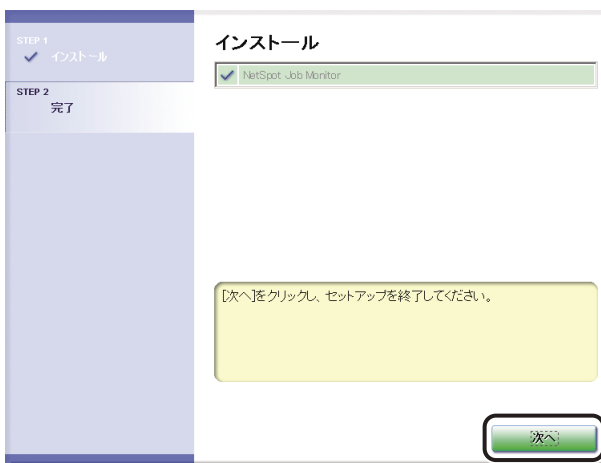
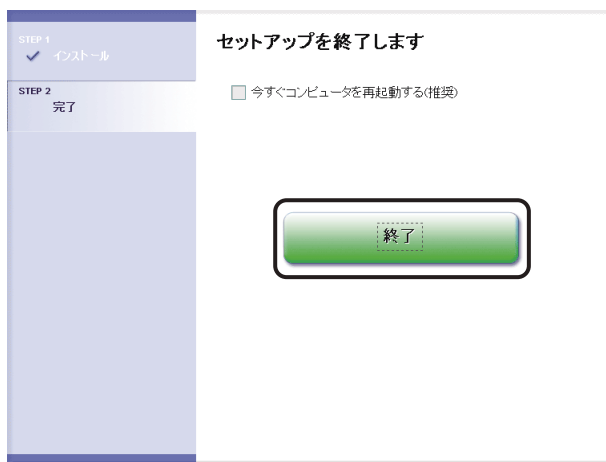
インストールが終了すると、［インストールの完了］ダイアログボックスが表示されます。

メモ

- 設定を変更したい場合は、［戻る］をクリックして、再度設定しなおしてください。
- Windows ファイアウォール機能を持っている OS をお使いの場合に、以下の画面が表示されたときは、［はい］または［いいえ］をクリックします。
  ［はい］をクリックすると、NetSpot Job Monitor などのアプリケーションに対する Windows ファイアウォールのブロックが解除され、プリンタの状態が確認できるようになります。
  ［いいえ］をクリックすると、NetSpot Job Monitor は使用できなくなります。

10 [終了] をクリックします。

複数のソフトウェアをインストールする場合、ソフトウェアが順次インストールされます。

メモ　[終了] をクリックすると、Readme が表示されます。Readme には重要な情報が記載されていますので、お読みください。

11 セットアップウィザードが終了したあと、[次へ] をクリックします。

12 ［終了］をクリックします。

以上でインストールの作業が終了しました。

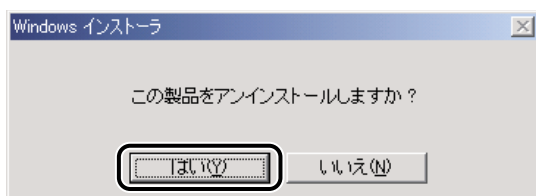
NetSpot Job Monitor のアンインストール

NetSpot Job Monitor が不要になった場合は、以下の手順でアンインストールします。

1 すべてのアプリケーションソフトウェアを終了します。

2 ［スタート］メニューから、［プログラム］－［NetSpot Job Monitor］－［NetSpot Job Monitor のアンインストール］を選択します。

メッセージが表示されます。

3 ［はい］をクリックして、アンインストーラを起動します。

アンインストールが終了すると、メッセージが表示されます。

4 ［OK］をクリックします。

その他の補足情報

補足事項について説明しています。

■ 全OS共通の注意

- NetSpot Job Monitor についての詳細は、ヘルプファイルを参照してください。
- 「お使いのコンピュータから TCP/IP プロトコルまたは NetWare 環境で接続されているプリンタ」をお使いの場合は、デバイスにプリントサーバ（ネットワークボード）が装備されている必要があります。

■ Windows 98/Me をお使いの場合

- NetWare 環境で、クライアントソフトウェア（プロトコルスタック）に Windows 98/Me 付属の NetWare ネットワーククライアントをお使いの場合は、「Canon Port Setting Tool」（→ P.7-7）を使ってプリンタのネットワークアドレスの設定を行ってください。
- TCP/IP プロトコルを使用して接続されているプリンタを使用する場合、お使いの LPR ソフトウェアによっては、NetSpot Job Monitor で印刷状況を確認できないことがあります。

■ Windows NT 4.0/2000/XP をお使いの場合

- NetWare 環境で、クライアントソフトウェア（プロトコルスタック）に IntranetWare Client をお使いの場合は、以下の制限があります。
  - ・他の Windows NT 4.0 コンピュータで共有設定されているプリンタの状態を調べることはできません。（Windows 98/Me で共有設定されているプリンタの状態は調べられます。）
- NetWare 環境で、クライアントソフトウェア（プロトコルスタック）に Windows NT 4.0/2000/XP に付属の NetWare クライアントをお使いの場合は、以下のような制限があります。
  - ・Administrators の権限がないときは、他のコンピュータで共有設定されているプリンタの状態を調べることはできません。

・Administrators の権限があるときは、「Canon Port Setting Tool」（→ P.7-7）を使ってプリンタのネットワークアドレスの設定を行ってください。

使用方法

全デバイスの状態を一覧表示する（デバイスボード）

デバイスボードは、インストールしたデバイスの状態を一覧表示するためのソフトウェアです。印刷ジョブの一時停止、削除などが行えます。

デバイスボードを起動するには、Windows の［スタート］メニューから、［プログラム］－［NetSpot Job Monitor］－［NetSpot Job Monitor デバイスボード］を選択します。

メモ

- Canon Port Setting Tool を使って、NetSpot Job Monitor の、デバイス情報取得の更新間隔や機種チェック機能を設定するには、「Canon Port Setting Tool でポートを設定する」（→ P.7-7）を参照してください。
- デバイスボードの［オプション］－［デバイスボードの自動起動］をあらかじめ選択すると、コンピュータの起動時に自動的にデバイスボードが起動します。
- デバイスボードの詳細は、ヘルプファイルを参照してください。ヘルプファイルは、デバイスボードの［ヘルプ］－［ヘルプ］を選択すると表示されます。

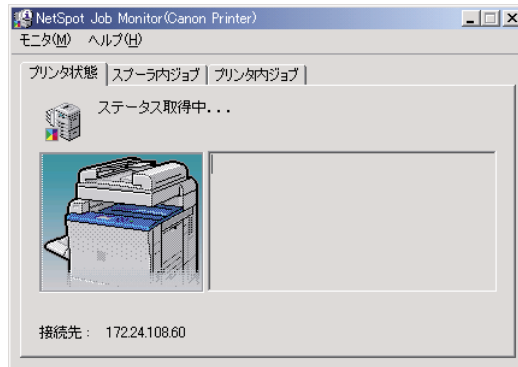
特定デバイスの詳細な状況を表示する（ステータスモニタ）

ステータスモニタは、特定のデバイスの詳細な状況を確認するためのユーテリティソフトウェアです。紙詰まりなどのエラーの表示や対処方法が表示されます。また、印刷ジョブの一時停止や削除、保存ジョブの印刷なども行えます。

ステータスモニタを起動するには、デバイスボードで確認するデバイスを選択したあと、[オプション]ー[モニタの起動]を選択します。

メモ　ステータスモニタの詳細は、ヘルプファイルを参照してください。ヘルプファイルは、ステータスモニタの［ヘルプ］ー［ヘルプ］を選択すると表示されます。

■ 各ページでの表示内容

各ページでの表示内容は、以下のとおりです。デバイスにより、表示されるページは異なります。

- [プリンタ状態] ページ
  デバイスの状態を示すアイコンやメッセージなどが表示されます。エラーの対処方法も表示されます。
- [スプーラ内ジョブ] ページ
  まだデバイスに送信されていないジョブ（コンピュータ内のジョブ）やデバイスに送信されたジョブについての情報が表示されます。コンピュータ内のジョブに対して、印刷処理の一時停止やジョブの削除も行えます。
- [プリンタ内／ファクス内ジョブ] ページ
  デバイス内にある送信されたジョブについての情報が表示されます。
- [保存ジョブ] ページ
  デバイスに保存されているジョブについての情報が表示されます。ここでは保存ジョブの印刷や削除、また部数や排紙先のジョブの属性変更も行うことができます。

NetSpot Device Installer を使用する

NetSpot Device Installer を使用してデバイスのネットワークプロトコルの初期設定を行う方法について説明しています。

必要なシステム環境

NetSpot Device Installer を利用するには、次のシステム環境が必要です。

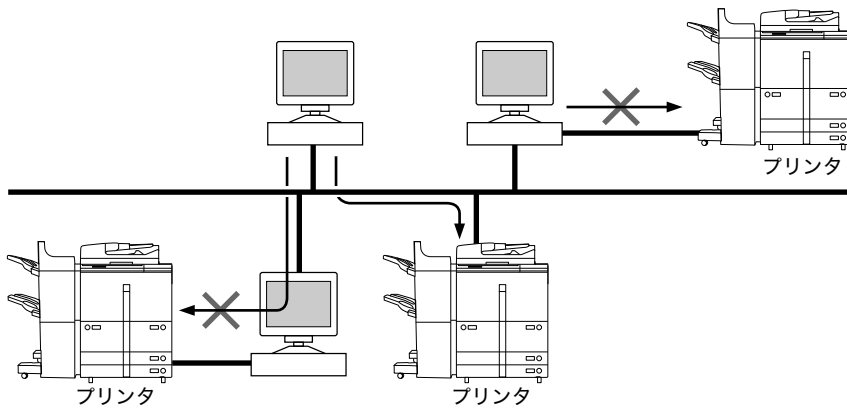
■ NetSpot Device Installer Windows 版を使用する場合

- OS
  - ・Microsoft Windows 98 日本語版 +Service Pack 1 以降
  - ・Microsoft Windows 98 Second Edition 日本語版
  - ・Microsoft Windows Me 日本語版
  - ・Microsoft Windows NT Server/Workstation 4.0 日本語版＋ Service Pack 4 以降
  - ・Microsoft Windows 2000 Server/Professional 日本語版
  - ・Microsoft Windows XP Professional/Home Edition 日本語版
  - ・Microsoft Windows Server 2003 日本語版
- コンピュータ
  - ・上記 OS が動作するコンピュータ
- ハードディスク
  - ・15MB 以上の空き領域（本ソフトウェアをコンピュータにインストールして使用する場合）
- プロトコル
  - ・TCP/IP
  - ・IPX
- プロトコルスタック
  - ・Windows に付属の TCP/IP プロトコル（TCP/IP 版）
  - ・Novell Client for Windows（IPX 版）

■ **NetSpot Device Installer Mac OS X 版を使用する場合**

- OS
  ・Mac OS X 10.1.1 以降
- コンピュータ
  ・上記 OS が動作する Macintosh
- ハードディスク
  ・10MB 以上の空き領域（プログラムをハードディスクにコピーして使用する場合）
- プロトコル
  ・TCP/IP
- プロトコルスタック
  ・Mac OS X に付属の TCP/IP プロトコル

設定できるデバイスの種類

NetSpot Device Installer では、TCP/IP、または IPX のネットワークに接続されているデバイスのネットワークプロトコルの初期設定を行うことができます。それ以外の接続形態のデバイスは、NetSpot Device Installer では設定できません。

NetSpot Device Installer のインストール

NetSpot Device Installer は、次の手順でインストールします。お使いの OS により、インストール方法が異なります。

メモ
- NetSpot Device Installer は、インストールせずに使用できるユーティリティソフトウェアです。インストールせずに使用する場合は、「使用方法」(→P.5-20)を参照してください。
- NetSpot Device Installer（TCP/IP 版）にプラグインを追加すると、機能を拡張することができます。プラグインの機能を使用する場合は、NetSpot Device Installer とプラグインの両方をコンピュータにインストールしてください。プラグインの詳細については、NetSpot Device Installer の Readme を参照してください。

Windows 上にインストールする

Windows 上にインストールする手順を説明しています。

重要
- インストール前に、他のアプリケーションソフトウェアをすべて終了してください。
- Windows NT 4.0/2000/XP/Server 2003 をお使いの場合、起動した際に、必ず Administrators のメンバーとしてログオンしてください。
- Windows ファイアウォール機能を持っている OS をお使いで、Windows ファイアウォール機能が有効になっている場合、NetSpot Device Installer をブロック対象外のプログラムとしてファイアウォールに登録しておかなければ、IP アドレスが設定されていないプリンタの探索や、ローカルサブネット以外のネットワークに対するブロードキャスト探索／マルチキャスト探索を行うことができません。
  NetSpot Device Installer をファイアウォールのブロック対象外のプログラムとして登録する手順は、NetSpot Device Installer の Readme ファイルを参照してください。

1 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

CD-ROM メニュー画面が表示された場合は、［終了］をクリックします。

2 CD-ROM 内の［NetSpot_Device_Installer］－［Windows］フォルダにある［nsdisetup.exe］アイコンをダブルクリックします。

使用許諾契約書が表示されます。

メモ
NetSpot Device Installer を起動したことのあるコンピュータでは、使用許諾契約書は表示されずに NetSpot Device Installer が起動します。手順 4 に進んでください。

3 使用許諾契約書の内容を確認したあと、［はい］をクリックします。

4 ［参照］をクリックして、インストール先を選択したあと、［OK］をクリックします。

［スタートメニューに追加する］を選択すると、Windows の［スタート］メニューに NetSpot Device Installer を追加できます。

NetSpot Device Installer のインストールが始まります。

Windows ファイアウォール機能を持っている OS をお使いの場合に、以下の画面が表示されたときは、［はい］または［いいえ］をクリックします。

［はい］をクリックすると、NetSpot Device Installer をファイアウォールに登録します。［いいえ］をクリックすると、NetSpot Device Installer のファイアウォールへの登録は行われません。その場合は、IP アドレスが設定されていないプリンタの探索や、ローカルサブネット以外のネットワークに対するブロードキャスト探索／マルチキャスト探索を行うことができません。

5 インストール完了の画面が表示されたら、［OK］をクリックします。

プラグインのインストールプログラムが起動します。

6 インストールするプラグインを選択したあと、［インストール開始］をクリックします。

プラグインの詳細については、NetSpot Device Installer の Readme を参照してください。

メモ プラグインは、あとでインストールすることもできます。あとからプラグインをインストールする手順については、Readme を参照してください。

以上でインストールの作業が終了しました。

Mac OS X 上にインストールする

1 **すべてのアプリケーションソフトウェアを終了します。**

2 **付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。**

3 **CD-ROM 内の［NetSpot_Device_Installer］フォルダを開きます。**

4 **［MacOSX］フォルダ内の［NetSpot_Device_Installer.dmg］アイコンをダブルクリックします。**

画面上に［NetSpot Device Installer］アイコンが表示されます。

5 **［NetSpot Device Installer］アイコンをダブルクリックします。**

6 **手順 5 で表示されたウィンドウの中の［NetSpot Device Installer］アイコンを、インストールしたい場所にドラッグ＆ドロップします。**

これで NetSpot Device Installer のインストールが完了しました。

7 **プラグインを追加する場合は、手順 5 で表示されたウィンドウの中の［plugin］フォルダを開きます。次に、インストールしたいプラグインのインストーラアイコンをダブルクリックします。**

インストーラはプラグインごとに分かれています。プラグインの詳細については、NetSpot Device Installer の Readme ファイルを参照してください。

以上でインストールの作業が終了しました。

使用方法

ここでは、付属の CD-ROM から NetSpot Device Installer を起動する方法を説明しています。

重要　Windows ファイアウォール機能を持っている OS をお使いで、Windows ファイアウォール機能が有効になっている場合、NetSpot Device Installer をブロック対象外のプログラムとしてファイアウォールに登録しておかなければ、IP アドレスが設定されていないプリンタの探索や、ローカルサブネット以外のネットワークに対するブロードキャスト探索／マルチキャスト探索を行うことができません。
NetSpot Device Installer をファイアウォールのブロック対象外のプログラムとして登録する手順は、NetSpot Device Installer の Readme ファイルを参照してください。

メモ　NetSpot Device Installer をコンピュータにインストールした場合の起動方法は、以下のとおりです。

- Windows の場合、インストール時に［スタート］メニューに追加したときは、［スタート］メニューから［プログラム］－［NetSpot Device Installer］－［NetSpot Device Installer］を選択します。［スタート］メニューに登録しなかった場合は、インストール先のフォルダにある［nsdi］アイコンをダブルクリックします。
- Macintosh の場合は、インストール先のフォルダにある［NetSpot Device Installer］アイコンをダブルクリックします。

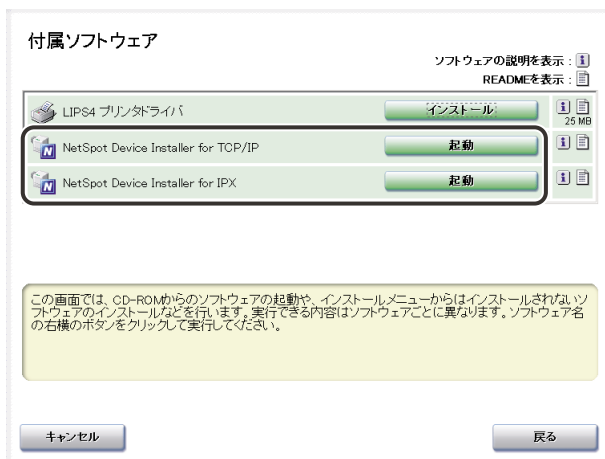
Windows 上で使用する

1 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

CD-ROM メニュー画面が自動的に表示されます。

メモ　CD-ROM メニューが起動しない場合は、［マイコンピュータ］の CD-ROM ドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

2 ［付属ソフトウェア（LIPS4 ドライバなど）］をクリックします。

3 **TCP/IP ネットワークで初期設定する場合は［NetSpot Device Installer for TCP/IP］の［起動］を、IPX ネットワークで初期設定する場合は［NetSpot Device Installer for IPX］の［起動］をクリックします。**

使用許諾契約書が画面に表示されます。

4 **使用許諾契約書の内容を確認したあと、［はい］をクリックします。**

NetSpot Device Installer が起動します。

5 **デバイスの初期設定を行います。**

設定手順は、オンラインヘルプを参照してください。オンラインヘルプは、［ヘルプ］メニューの［ヘルプ］をクリックすると、表示されます。

Mac OS X 上で使用する

1 **付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。**

2 **CD-ROM 内の［NetSpot_Device_Installer］フォルダを開きます。**

3 ［MacOSX］フォルダ内の［NetSpot_Device_Installer.dmg］アイコンをダブルクリックします。

画面上に［NetSpot Device Installer］アイコンが表示されます。

4 ［NetSpot Device Installer］アイコンをダブルクリックします。

5 手 順 4 で表示されたウィンドウの中の［NetSpot Device Installer］アイコンをダブルクリックします。

NetSpot Device Installer が起動します。

6 デバイスの初期設定を行います。

設定手順は、オンラインヘルプを参照してください。オンラインヘルプは、［ヘルプ］メニューの［ヘルプ］をクリックすると、表示されます。

5

プリンタのユーティリティソフトウェアを使用するには

FontGalleryをインストールする

FontGalleryには、TrueTypeフォントとして和文20書体、欧文100書体が収められています。また、Windowsをお使いの場合は、かな31書体、およびかな書体組み合わせユーティリティ「FontComposer」をインストールすることにより、さらに多彩な文字表現が可能になります。Macintoshをお使いの場合は、あらかじめ和文書体とかな書体を組み合わせた44書体が収められています。
FontGalleryおよびFontComposerのインストール手順について説明しています。ご使用になる前に、「FontGallery製品使用許諾契約書」(→P.5-24)を必ずお読みください。

メモ　本製品に関するお問い合わせは、下記お客様相談センターまでご相談ください。
・お客様相談センター：　050-555-90091

必要なシステム環境

FontGalleryおよびFontComposerを使用するには、次のシステム環境が必要です。

重要
- かな書体およびFontComposerは、Windowsをお使いの場合にご利用いただけます。Macintoshをお使いの場合は、ご利用いただけません。
- FontGalleryは、1台のコンピュータに対してのみ使用許諾をしています。複数のコンピュータでお使いになる場合は、別途FontGalleryライセンス商品をお買い求めください。ネットワークのサーバ上で使用することはできません。お使いのコンピュータにインストールしてお使いください。

■ Windows版を使用する場合

- OS
  - ・Microsoft Windows 98/Me 日本語版
  - ・Microsoft Windows 2000 Professional 日本語版
  - ・Microsoft Windows XP Professional/Home Edition 日本語版
- コンピュータ
  - ・上記OSが動作するコンピュータ

■ Macintosh版を使用する場合

- OS
  - ・Mac OS 9.1以降、Mac OS X 10.1.5～10.4.2
- コンピュータ
  - ・上記のMacOSが動作するコンピュータ

FontGallery 製品使用許諾契約書

弊社では、FontGallery 製品につきまして、下記のソフトウェア製品使用許諾契約書とBITSTREAM 使用許諾契約を設けさせていただいており、お客様が契約書にご同意いただいた場合にのみ、ソフトウェア製品をご使用いただいております。お手数ではございますが、本 FontGallery 製品をご使用になる前に、契約書を十分にお読みください。なお、本 FontGallery 製品をご使用になられた場合には、お客様が契約にご同意いただいたものとさせていただきます。

ソフトウェア製品使用許諾契約書

キヤノン株式会社（以下、キヤノンといいます。）は、お客様に対し、本契約書とともにご提供する FontGallery 製品（当該製品のマニュアルを含みます。以下「許諾ソフトウェア」といいます。）の譲渡不能の非独占的使用権を下記条項に基づき許諾し、お客様も下記条項にご同意いただくものとします。「許諾ソフトウェア」およびその複製物に関する権利はキヤノンに帰属します。

1. 使用許諾

（1） お客様は、機械読取形態の「許諾ソフトウェア」を一時に一台のコンピュータにおいてのみ使用することができます。お客様が、同時に複数台のコンピュータで「許諾ソフトウェア」を使用したり、また「許諾ソフトウェア」をコンピュータネットワーク上の複数のコンピュータで使用する場合には、別途契約によりキヤノンからその使用権を取得することが必要です。

（2） お客様は、「許諾ソフトウェア」の全部または一部を再使用許諾、譲渡、頒布、貸与その他の方法により第三者に使用もしくは利用させることはできません。

（3） お客様は、「許諾ソフトウェア」の全部または一部を修正、改変、リバース・エンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブル等することはできません。また第三者にこのような行為をさせてはなりません。

2.「許諾ソフトウェア」の複製

お客様は、バックアップのために必要な場合に限り、「許諾ソフトウェア」を１コピーだけ複製することができます。あるいは、オリジナルをバックアップの目的で保持し、「許諾ソフトウェア」をお客様がご使用のコンピュータのハードディスク等の記憶装置１台のみに１コピーだけ複製することができます。しかし、これら以外の場合にはいかなる方法によっても「許諾ソフトウェア」を複製できません。お客様には、「許諾ソフトウェア」の複製物上に「許諾ソフトウェア」に表示されているものと同一の著作権表示を行っていただきます。

3. 保証の否認・免責

（1） キヤノンおよびキヤノンマーケティングジャパン株式会社（以下、キヤノンマーケティングジャパンといいます。）は、「許諾ソフトウェア」がお客様の特定の目的のために適当であること、もしくは有用であること、または「許諾ソフトウェア」にバグがないこと、その他「許諾ソフトウェア」に関していかなる保証もいたしません。

(2) キヤノンおよびキヤノンマーケティングジャパンは、「許諾ソフトウェア」の使用に付随または関連して生ずる直接的または間接的な損失、損害等について、いかなる場合においても一切の責任を負わず、また「許諾ソフトウェア」の使用に起因または関連してお客様と第三者との間に生じたいかなる紛争についても、一切責任を負いません。

4. 輸出

お客様は、日本国政府または該当国の政府より必要な認可等を得ることなしに、一部または全部を問わず、「許諾ソフトウェア」を、直接または間接に輸出してはなりません。

5. 契約期間

(1) 本契約は、お客様が「許諾ソフトウェア」を使用した時点で発効します。

(2) お客様は、キヤノンに対して 30 日前の書面による通知をなすことにより本契約を終了させることができます。

(3) キヤノンは、お客様が本契約のいずれかの条項に違反した場合、直ちに本契約を終了させることができます。

(4) 本契約は、上記 (2) または (3) により終了するまで有効に存続します。上記 (2) または (3) により本契約が終了した場合、キヤノンまたはキヤノンマーケティングジャパンは、「許諾ソフトウェア」の代金をお返しいたしません。お客様は、「許諾ソフトウェア」の代金の返還をキヤノンおよびキヤノンマーケティングジャパンに請求できません。

(5) お客様には、本契約の終了後 2 週間以内に、「許諾ソフトウェア」およびその複製物を廃棄または消去したうえ、廃棄または消去したことを証する書面をキヤノンに送付していただきます。

6. 一般条項

(1) 本契約のいずれかの条項またはその一部が法律により無効となっても、本契約の他の部分に影響を与えません。

(2) 本契約に関わる紛争は、東京地方裁判所を管轄裁判所として解決するものとします。

BITSTREAM 使用許諾契約

同梱のフォントをインストールすることにより、お客様は本契約の条件に拘束されることに同意することになります。

本合意により、お客様と BITSTREAM とのあいだの完全な合意が構成されます。本合意書の条件に同意なさらない場合は、同梱のディスクに含まれているフォントをご使用にならないでください。

1. 使用許諾。本 Bitstream 製品に対してお客様が支払われた価格の一部であるライセンス料金支払いの対価として、ライセンサーである BITSTREAM はライセンシーであるお客様に対し、Bitstream 製品を、1 台のプリンタ、あるいは 1 台のタイプセッタまたはイメージセッタおよびそのタイプセッタまたはイメージセッタ専用のプルーフプリンタに接続した 1 台または複数のコンピュータ上で使用および表示する非独占的権利を付与します。
   BITSTREAM は、ライセンシーに明示的には付与されていないすべての権利を留保します。

2. 所有権。お客様はライセンシーとして、Bitstream 製品が最初に記録されたかその後に供給される磁気またはその他の物理的媒体を保有しますが、BITSTREAM は最初の、またはその他のコピーがどのような形態でまたは媒体上に存在するかを問わず、Bitstream 製品の最初のディスクコピーまたはその後のコピーに記録された Bitstream 製品のソフトウェアプログラムに対する権限および所有権を留保します。本ライセンスは Bitstream 製品のオリジナルソフトウェアプログラムまたはその一部またはコピーの販売ではありません。
3. コピーの制限。Bitstream 製品および付属の資料は著作権で保護されており、BITSTREAM の所有権の対象になる情報および企業秘密が含まれています。印刷物を未許可のままコピーすること、およびたとえそれが変更されているか、他のソフトウェアに合体されたり他のソフトウェアに含められている場合でも Bitstream 製品を未許可のままコピーすることは、明示的に禁じられています。お客様が本合意書の条件に従わなかったことを原因とするか、従わなかったために助長された BITSTREAM の知的所有権の侵害は、お客様に法律上の責任を負っていただく場合があります。Bitstream 製品はバックアップを目的とする場合に限り、コピーを 1 部作成することができますが、その場合は、著作権情報を完全な形でバックアップコピーに複製するものとします。
4. 使用の許容範囲。本 Bitstream 製品、ユーザーガイドおよび文書はライセンシーであるお客様に使用が許諾されるものであり、事前に BITSTREAM の書面による同意を得ずに、一定期間第三者に譲渡することはできません。Bitstream 製品に変更、改造、翻訳、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行うことはできません。また Bitstream 製品から派生的な製品を作成することもできません。お客様に提供される文書は事前に BITSTREAM の書面による同意を得ずに、変更、改造、翻訳することはできませんし、派生的な文書を作成するのにも使用できません。
5. 終了。本契約は終了するまで有効です。本契約は、お客様が本書に含まれている条項に一つでも従わなければ、BITSTREAM からお知らせしなくても自動的に終了します。終了と同時に文書、Bitstream 製品、そのすべてのコピーは部分的か全体かを問わず、変更されたコピーがある場合はそれも含めて破棄しなければなりません。
6. その他。本契約はマサチューセッツ州法に準拠します。

保証の拒否および限定保証

BITSTREAM は、Bitstream 製品が提供されているディスクについて、通常の使用形態であればお客様の受領書の写しによって証明されるお客様への納品日から 90 日間、材質および出来映えに欠陥がないことを保証します。

ディスクに関する BITSTREAM の全責任およびお客様の唯一の救済措置は、購入価格を返却するか、BITSTREAM の限定保証を満たさず、BITSTEAM に受領証のコピーとともに返却されたディスクを交換するかのいずれかを BITSTREAM が選択することとなります。ディスクの障害が事故、濫用または誤用を原因とする場合、BITSTREAM はディスクを交換するか購入価格を返却する責任を有しません。ディスクを交換する場合は、当初の保証期間の残りの期間か 30 日間のいずれか長いほうの期間について保証されます。この保証により、お客様には特定の法的権利が付与されます。また州によりお客様は異なるその他の権利を持つ可能性があります。

以上で明確に定義されている場合を除き、Bitstream 製品、ユーザーガイドおよび文書は「保証なし」のまま提供されます。BITSTREAM は特定目的の商品性および適合性の黙示的な保証など、明示的か黙示的かを問わず、いっさいの種類の保証を行いません。

Bitstream 製品、ユーザーガイドおよび文書の品質および性能に関して、リスクはお客様が全面的に負うことになります。BITSTREAM は、Bitstream 製品に含まれる機能がお客様の要求事項を満たす旨、またはソフトウェア製品が無停止またはエラーなしで稼働する旨を保証するものではありません。

BITSTREAM は、たとえそうした損害の可能性を助言されていたとしても、Bitstream 製品の使用から、または使用できなかったことから生じた直接的、間接的、派生的、付随的な損害賠償の責任を負いません（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失から生じた損害を含む）。

一部の州では、派生的または付随的な損害賠償の責任を除外または限定することが認められていないため、上記の限定が適用されない場合があります。

米国政府の限定権利

Bitstream 製品と呼ばれるソフトウェア製品とその関連文書は権利を限定して提供されます。合衆国政府による使用、複写、開示は、FAR52.227-19(c)(2)（1987 年 5 月）が適用される場合はそこに規定されている制限に従います。それ以外の場合は DOD FAR の適用される規定が 252.227-7013 の第 (a)(15) 条（1988 年 4 月）または第 (a)(17) 条（1988 年 4 月）を補完する条項です。

契約当事者／メーカーは 215 First Street, Cambridge, MA 02142 の Bitstream Inc. です。本契約に関して質問がおありの場合、または理由を問わず BITSTREAM に連絡を取りたい場合は、書面でご連絡ください。

以上

キヤノン株式会社

Windows 上にインストールする

メモ

- 取扱説明書を CD-ROM に収録しています。詳しくは、次のファイルに記載されていますので参照してください。
  - ・FontGallery 取扱説明書：　¥Fgallery¥Manual¥Font¥Fgmanual.pdf（PDF 形式）
  - ・FontComposer 取扱説明書：　¥Fgallery¥Manual¥Composer¥Fcmanual.pdf（PDF 形式）
- フォントをインストールするには、多少の時間がかかります。1 書体につき 10 秒前後かかりますので、あらかじめご了承ください。
- 欧文書体は、英語版 LIPS プリンタドライバでもご利用いただけます。

FontGallery のインストール

Windows 版 FontGallery を、以下の手順に従ってインストールしてください。

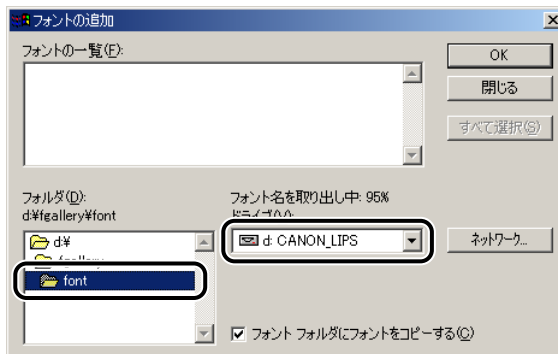
1 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

- Windows NT 4.0/2000/XP をお使いの場合、起動した際に、必ず Administrators のメンバーとしてログオンしてください。
- インストール前に、他のアプリケーションソフトウェアをすべて終了してください。

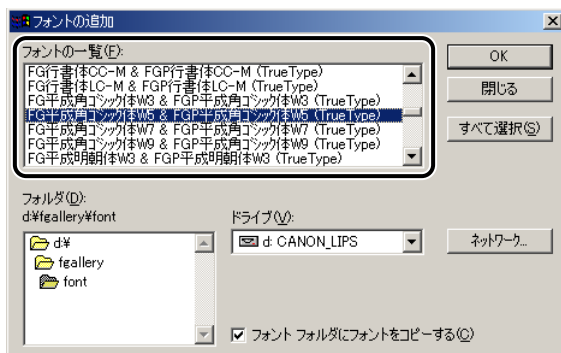
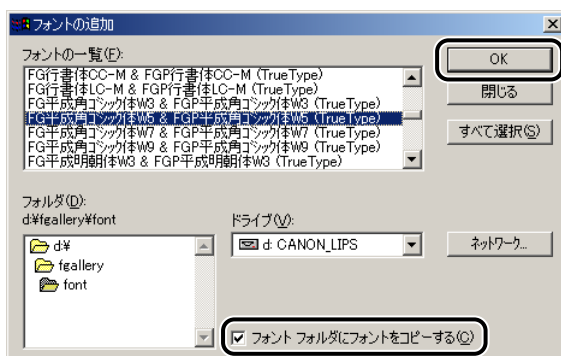
2 ［マイコンピュータ］－［コントロールパネル］－［フォント］フォルダを開きます。

3 ［フォント］フォルダの［ファイル］メニューから、［新しいフォントのインストール］を選択します。

［フォントの追加］ダイアログボックスが表示されます。

4 ［ドライブ］から CD-ROM を選び、［フォルダ］の一覧から、［fgallery］フォルダにある［font］フォルダを選択してダブルクリックします。

選んだフォルダにあるフォントが、［フォントの一覧］に表示されます。

5
プリンタのユーティリティソフトウェアを使用するには

5 ［フォントの一覧］から、追加したいフォントを選びます。

6 ［フォントフォルダにフォントをコピーする］にチェックマークが付いているのを確認したあと、［OK］をクリックします。

Windows のフォントフォルダにフォントが追加されます。

FontComposer、かな書体をインストールする

Windows 版 FontComposer を、以下の手順に従ってインストールしてください。かな書体は、Windows 版 FontComposer をインストールすることによって、同時にインストールされます。

重要　FontComposer を使用するには、約 10 ～ 20MB のハードディスクの空き容量が必要となる場合があります。FontComposer を起動する際に、空き容量不足のメッセージが表示された場合には、ハードディスクの空き容量を確保してください。

1 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

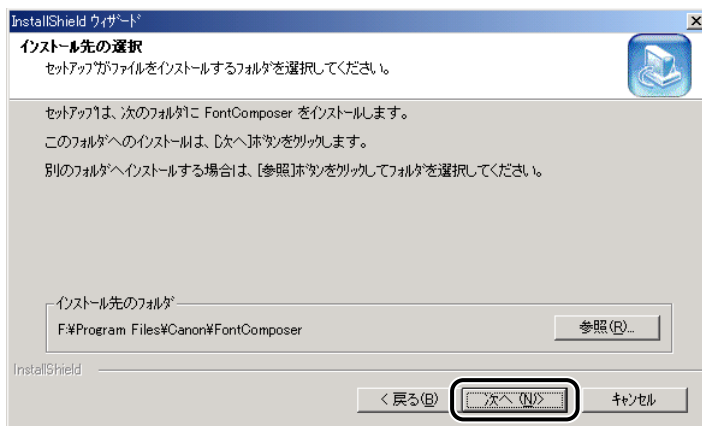
重要
- Windows NT 4.0/2000/XP をお使いの場合、起動した際に、必ず Administrators のメンバーとしてログオンしてください。
- インストール前に、他のアプリケーションソフトウェアをすべて終了してください。

2 CD-ROM 内の［FGALLERY］－［COMPOSER］－［Setup.exe］アイコンをダブルクリックします。

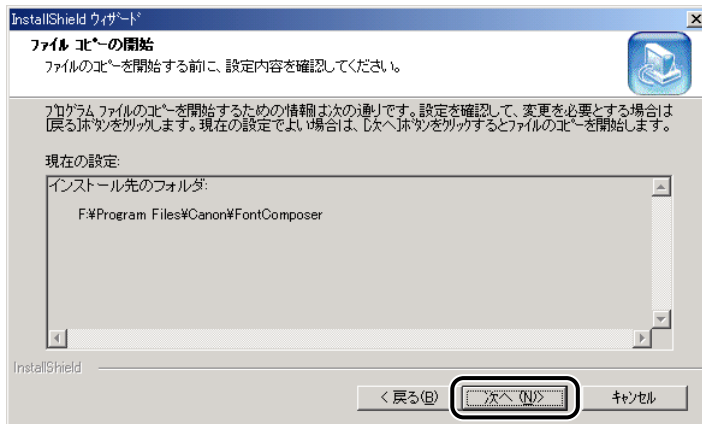
ウィザードが表示されます。

3 ［次へ］をクリックします。

［インストール先の選択］ダイアログボックスが表示されます。

4 インストール先を確認したあと、[次へ]をクリックします。

[ファイルコピーの開始]ダイアログボックスが表示されます。

メモ　インストール先を指定する場合は、[参照]をクリックして、インストール先のフォルダを選択します。

5 設定内容を確認したあと、[次へ]をクリックします。

インストールが開始されます。
インストールが終了すると、インストール完了のメッセージが表示され、自動的に閉じます。

以上でインストールの作業が終了しました。

Macintosh 上にインストールする

Macintosh 版 FontGallery を、以下の手順に従ってインストールしてください。

メモ　取扱説明書を CD-ROM にファイルとして収録しています。詳しくは、次のファイルに記載されていますので参照してください。

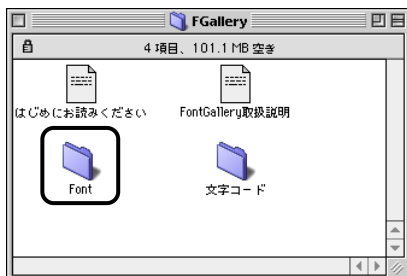
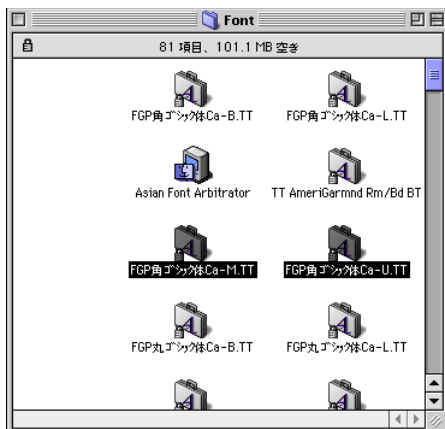
・FontGallery 取扱説明書：Fgallery フォルダ内の「Fgallery 取扱説明書」ファイル（シンプルテキスト形式）

1 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

重要　インストール前に、他のアプリケーションソフトウェアをすべて終了してください。

2 CD-ROM 内の［FGallery］－［Font］フォルダを開きます。

上図は Mac OS 9 の画面です。

プリンタのユーティリティソフトウェアを使用するには

3 インストールするフォントを選択します。

4 選択したフォントを［システムフォルダ］－［フォント］フォルダ（Mac OS X の場合、お使いのハードディスクの［ライブラリ］（[Library]）－［Fonts]）にドラッグ＆ドロップしてコピーします。

以上でインストール作業は終了しました。

FontGallery 同梱書体見本

次の書体をご利用いただけます。

■ 和文書体

和文書体の見本を以下に示します。

平成明朝体 W3	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 W5	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 W7	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 W9	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 W3	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 W5	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 W7	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 W9	夢のある多彩なフォント
角ゴシック体 Ca-L	夢のある多彩なフォント
角ゴシック体 Ca-M	夢のある多彩なフォント
角ゴシック体 Ca-B	夢のある多彩なフォント
角ゴシック体 Ca-U	夢のある多彩なフォント
丸ゴシック体 Ca-L	夢のある多彩なフォント
丸ゴシック体 Ca-M	夢のある多彩なフォント
丸ゴシック体 Ca-B	夢のある多彩なフォント
丸ゴシック体 Ca-U	夢のある多彩なフォント
教科書体 NT-M	夢のある多彩なフォント
楷書体 NT-M	夢のある多彩なフォント
行書体 LC-M	夢のある多彩なフォント
行書体 CC-M	夢のある多彩なフォント

■ **かな書体**

かな書体の見本を以下に示します。

こでまりＬ	ゆめのあるふぉんと
こでまりＭ	ゆめのあるふぉんと
こでまりＢ	ゆめのあるふぉんと
こでまりＨ	ゆめのあるふぉんと
からたちＬ	ゆめのあるふぉんと
からたちＭ	ゆめのあるふぉんと
からたちＢ	ゆめのあるふぉんと
からたちＨ	ゆめのあるふぉんと
さんざしＬ	ゆめのあるふぉんと
さんざしＭ	ゆめのあるふぉんと
さんざしＢ	ゆめのあるふぉんと
さんざしＨ	ゆめのあるふぉんと
てっせんＬ	ゆめのあるふぉんと
てっせんＭ	ゆめのあるふぉんと
てっせんＢ	ゆめのあるふぉんと
てっせんＨ	ゆめのあるふぉんと
あしびL	ゆめのあるふぉんと
あしびM	ゆめのあるふぉんと
あしびB	ゆめのあるふぉんと
あしびH	ゆめのあるふぉんと
はしばみＬ	ゆめのあるふぉんと
はしばみＭ	ゆめのあるふぉんと
はしばみＢ	ゆめのあるふぉんと
はしばみＨ	ゆめのあるふぉんと
さざんかＬ	ゆめのあるふぉんと
さざんかＭ	ゆめのあるふぉんと
さざんかＢ	ゆめのあるふぉんと
さざんかＨ	ゆめのあるふぉんと
行書LC仮名	ゆめのあるふぉんと
sek01	ゆめのあるふぉんと
sek02	ゆめのあるふぉんと

■ 和文書体とかな書体の組み合わせ

和文書体とかな書体の組み合わせ見本を以下に示します。

平成明朝体 Ｗ３＋からたちＬ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ３＋こでまりＬ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ３＋さんざしＬ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ３＋てっせんＬ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ５＋からたちＭ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ５＋こでまりＭ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ５＋さんざしＭ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ５＋てっせんＭ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ７＋からたちＢ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ７＋こでまりＢ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ７＋さんざしＢ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ７＋てっせんＢ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ９＋からたちＨ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ９＋こでまりＨ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ９＋さんざしＨ	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 Ｗ９＋てっせんＨ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ３＋あしびＬ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ３＋さざんかＬ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ３＋はしばみＬ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ５＋あしびＭ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ５＋さざんかＭ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ５＋はしばみＭ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ７＋あしびＢ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ７＋さざんかＢ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ７＋はしばみＢ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ９＋あしびＨ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ９＋さざんかＨ	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 Ｗ９＋はしばみＨ	夢のある多彩なフォント
角ゴ Ｃａ-Ｌ＋あしびＬ	夢のある多彩なフォント
角ゴ Ｃａ-Ｌ＋さざんかＬ	夢のある多彩なフォント
角ゴ Ｃａ-Ｌ＋はしばみＬ	夢のある多彩なフォント
角ゴ Ｃａ-Ｍ＋あしびＭ	夢のある多彩なフォント
角ゴ Ｃａ-Ｍ＋さざんかＭ	夢のある多彩なフォント
角ゴ Ｃａ-Ｍ＋はしばみＭ	夢のある多彩なフォント
角ゴ Ｃａ-Ｂ＋あしびＢ	夢のある多彩なフォント
角ゴ Ｃａ-Ｂ＋さざんかＢ	夢のある多彩なフォント
角ゴ Ｃａ-Ｂ＋はしばみＢ	夢のある多彩なフォント
角ゴ Ｃａ-Ｕ＋あしびＨ	夢のある多彩なフォント
角ゴ Ｃａ-Ｕ＋さざんかＨ	夢のある多彩なフォント
角ゴ Ｃａ-Ｕ＋はしばみＨ	夢のある多彩なフォント
角ゴ Ｃａ-Ｕ＋ｓｅ２Ｈ	夢のある多彩なフォント
丸ゴ Ｃａ-Ｂ＋ｓｅｋ０１	夢のある多彩なフォント
楷書体 ＮＴ－Ｍ＋てっせんＭ	夢のある多彩なフォント
行書体 ＬＣ－Ｍ＋行書ＬＣ仮名	夢のある多彩なフォント

メモ

- Windows をお使いの場合は、FontComposer を使用して組み合わせ書体を自由に作成できます。
- Macintosh をお使いの場合は、あらかじめ上記の組み合わせ書体が収録されています。

■ 欧文書体

欧文書体の見本を以下に示します。

American Garamond Roman	ABCDEF abcdef 12345
American Garamond Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
American Garamond Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
American Garamond Bold Italic	***ABCDEF abcdef 12345***
Bodoni Roman	ABCDEF abcdef 12345
Bodoni Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Bodoni Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Bodoni Bold Italic	***ABCDEF abcdef 12345***
Cataneo Light	*ABCDEF abcdef 12345*
Cataneo Regular	*ABCDEF abcdef 12345*
Cataneo Bold	***ABCDEF abcdef 12345***
＊ Cataneo Light Swash	*ABCDEF a_bcde-f 12345*
＊ Cataneo Regular Swash	*ABCDEF a_bcde-f 12345*
＊ Cataneo Bold Swash	***ABCDEF a_bcde-f 12345***
Cooper Black	**ABCDEF abcdef 12345**
Cooper Black Italic	***ABCDEF abcdef 12345***
Cooper Black Outline	ABCDEF abcdef 12345
Century Oldstyle Roman	ABCDEF abcdef 12345
Century Oldstyle Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Century Oldstyle Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Century Schoolbook Roman	ABCDEF abcdef 12345
Century Schoolbook Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Century Schoolbook Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Century Schoolbook Bold Italic	***ABCDEF abcdef 12345***
Clarendon Roman	ABCDEF abcdef 12345
Clarendon Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Clarendon Black	**ABCDEF abcdef 12345**
Cloister Black Regular	ABCDEF abcdef 12345
Cloister Black Openface	ABCDEF abcdef 12345
Commercial PI Regular	±°′″∅＋ ©®©®™™ ●●▪■■
Commercial Script Regular	*ABCDEF abcdef 12345*
Dutch 801 Regular	ABCDEF abcdef 12345
Dutch 801 Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Dutch 801 Bold	**ABCDEF abcdef 12345**

＊ 「Cataneo Swash」には、一部文字が収容されておりません。これは、「Cataneo」と組み合わせて使用される書体のためです。

Dutch 801 Bold Italic	ABCDEF abcdef 12345
Dutch 801 Extra Bold	ABCDEF abcdef 12345
Dutch 801 Extra Bold Italic	ABCDEF abcdef 12345
Exotic 350 Light	ABCDEF abcdef 12345
Exotic 350 Demi-Bold	ABCDEF abcdef 12345
Exotic 350 Bold	ABCDEF abcdef 12345
Goudy Oldstyle Roman	ABCDEF abcdef 12345
Goudy Oldstyle Italic	ABCDEF abcdef 12345
Goudy Oldstyle Bold	ABCDEF abcdef 12345
Goudy Oldstyle Bold Italic	ABCDEF abcdef 12345
Goudy Oldstyle Extra Bold	ABCDEF abcdef 12345
Goudy Oldstyle Handtooled	ABCDEF abcdef 12345
Holiday PI	
Poster Bodoni Roman	ABCDEF abcdef 12345
Poster Bodoni Italic	ABCDEF abcdef 12345
Prima Sans BT	ABCDEF abcdef 12345
Prima Sans Bold	ABCDEF abcdef 12345
Prima Serif BT	ABCDEF abcdef 12345
Prima Serif Bold	ABCDEF abcdef 12345
Prima Mono BT	ABCDEF abcdef 12345
Prima Mono Bold	ABCDEF abcdef 12345
Ribbon 131 Regular	ABCDEF abcdef 12345
Ribbon 131 Bold	ABCDEF abcdef 12345
Roundhand Regular	ABCDEF abcdef 12345
Roundhand Bold	ABCDEF abcdef 12345
Roundhand Black	ABCDEF abcdef 12345
Serifa Thin	ABCDEF abcdef 12345
Serifa Thin Italic	ABCDEF abcdef 12345
Serifa Light	ABCDEF abcdef 12345
Serifa Light Italic	ABCDEF abcdef 12345
Serifa Roman	ABCDEF abcdef 12345
Serifa Italic	ABCDEF abcdef 12345
Serifa Bold	ABCDEF abcdef 12345
Serifa Black	ABCDEF abcdef 12345

Serifa Bold Condensed	ABCDEF abcdef 12345
Snowcap Regular	ABCDEF abcdef 12345
Staccato 222	ABCDEF abcdef 12345
Staccato 555	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Light	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Light Italic	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Roman	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Italic	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Bold	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Bold Italic	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Condensed	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Bold Condensed	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Thin	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Thin Italic	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Light Condensed	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Light Condensed Italic	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Condensed Italic	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Bold Condensed Italic	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Bold Outline	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Extended	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Bold Extended	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Black Extended	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Black Outline	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Bold Rounded	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Black Rounded	ABCDEF abcdef 12345
Symbol Proportional Regular	ΑΒΧΔΕΦ αβχδεφ 12345
Zapf Humanist 601 Roman	ABCDEF abcdef 12345
Zapf Humanist 601 Italic	ABCDEF abcdef 12345
Zapf Humanist 601 Bold	ABCDEF abcdef 12345
Zapf Humanist 601 Bold Italic	ABCDEF abcdef 12345
Zapf Humanist 601 Ultra	ABCDEF abcdef 12345
Zapf Humanist 601 Ultra Italic	ABCDEF abcdef 12345

困ったときには

プリンタの使用中に生じたトラブルへの対処方法について説明しています。

Windows でのトラブルの対処法

Windows 用プリンタドライバを使用したときのトラブルへの対処法について説明しています。

プリンタから意味不明の文字が印刷される

原　因　プリンタドライバが正しくインストールされていない。

処　置　以下の手順で、プリンタドライバを正しくインストールしてください。
［プリンタ］フォルダ（Windows XP/Server 2003 の場合は、［プリンタと FAX］フォルダ）に、お使いのプリンタ名のアイコンが表示されているか確認します。

メモ

- プリンタ名のアイコンが表示されているとき：
  プリンタ名のアイコンをダブルクリックして、［プリンタ］メニューの［通常使うプリンタに設定］を選択します。
- プリンタ名のアイコンが表示されていないとき：
  プリンタドライバをインストールします。（→プリンタドライバをインストールする：P.2-5）

印刷結果の端がかけてしまう

原因 1　アプリケーションソフトウェアの余白の設定が、本プリンタの印刷できる範囲を超えている。

処　置　アプリケーションソフトウェアの余白の設定が、本プリンタの印刷できる範囲に入っているか確認してください。
本プリンタは、上下左右ともに周囲 5mm（封筒は 10mm）の範囲には、印刷できません。

原因 2　余白なしで、用紙いっぱいのデータをプリントした。

処　置　次のことを確認してください。

- データの周囲の余白を確認し、プリントしなおします。
- データが欠けないようにプリンタドライバで縮小率（［ページ設定］－［倍率を指定する］）を設定し、プリントしなおします。

メモ　封筒に印刷する場合、郵便番号などが周囲 10mm の範囲にあることがあります。そのときは、プリンタドライバの［とじしろ］を設定して、印刷範囲全体を、郵便番号などを印刷したい方向にずらして印刷してください（ただし、周囲 10mm の範囲の印刷品位は保証されません）。

オーバレイ印刷時に、出力結果が「Canon LIPS3 プリンタドライバ」と異なる

原　因　「Canon LIPS3 プリンタドライバ」で作成したフォームファイルを本プリンタドライバで印刷すると、印刷結果が異なることがあります。

処　置　プリンタドライバの［オーバレイ］ページで、［オーバレイの種類］から［互換オーバレイ］を選択してください。

オーバレイ印刷時に、以前作成したフォームファイルが利用できない

原因 1　オーバレイ印字の設定が正しくされていない。

処　置　［オーバレイ］ページの［オーバレイ印字］が選択されていることを確認してください。

原因 2　LIPS III、LIPS IV プリンタドライバ以外で作成したフォームファイルを使用している。

処　置　「BJC-880J 用プリンタドライバ」、「BJC-680J 用プリンタドライバ」、「LBP-A405Jr. 用拡張フォトグラフィックドライバ」で作成したフォームファイルは、本プリンタから印刷できません。本プリンタドライバで作成したフォームファイルを使用してください。

オーバレイ印刷時にフォームファイルがずれて印刷される

原　因　LBP-2030 用に作成したフォームファイルを使用して印刷している。

処　置　LBP-2030 用に作成したフォームファイルを使用して印刷すると、アプリケーションソフトウェアによっては、ずれて印刷されることがあります。本プリンタ用のプリンタドライバで、フォームファイルを作成してください。

カラーイメージデータの印刷に時間がかかる

原因 1　プリンタドライバの［ホスト展開］が設定されている。

処　置　プリンタドライバの［印刷品質］ページの［印刷品質］で、［ユーザ設定］を選択して、［設定］をクリックします。［ユーザ設定］ダイアログボックスの［ホスト展開］で、［しない］を選択します。

原因 2　印刷データが複雑で処理に時間がかかる。

処　置　イメージモードで印刷してください。プリンタドライバの[印刷品質]ページの[印刷品質］で、[ユーザ設定］を選択して、[設定］をクリックします。[ユーザ設定］ダイアログボックスの[グラフィックモード]で、[イメージモード]を選択します。さらに、［モード詳細］から［高速］を選択します。

ファインモード／スーパーファインモードで正常に印刷できない

原因 1　アプリケーションソフトウェアによっては、ファインモード、スーパーファインモードで正常に印刷できないことがあります。

処　置　ファインモードはクイックモードで、スーパーファインモードはファインモードで印刷してください。

原因 2　ファインモード／スーパーファインモードで印刷したとき、原稿とプリンタドライバの設定によっては、正常に印刷できないことがあります。

処　置　ファインモードはクイックモードで、スーパーファインモードはファインモードで印刷してください。

印刷に時間がかかる／メモリフルと表示される

原　因　Microsoft 製のプリンタドライバがインストールされている。

処　置　「プリンタドライバをインストールする」(→ P.2-5）にしたがってキヤノン製のプリンタドライバをインストールしなおしてください。

付録

知っておいていただきたい情報や、参考となる情報について説明しています。

USB クラスドライバをインストールできない場合は

USB クラスドライバのインストールが正常にできない場合について説明しています。

Windows 2000/XP/Server 2003 の場合

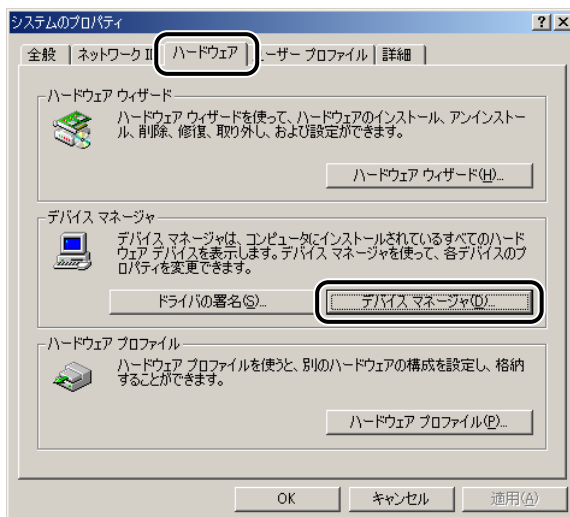
1 **コンピュータとプリンタが USB ケーブルで正しく接続されていること、およびプリンタの電源が入っていることを確認します。**

2 **[スタート] メニューから [設定] − [コントロールパネル] (Windows XP/Server 2003 の場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル]) を選択して、[システム] アイコン (Windows XP/Server 2003 の場合は、[パフォーマンスとメンテナンス] を選択したあと [システム] アイコン) をダブルクリックします。**

[システムのプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。

メモ　Windows 2000 Professional の場合は、[設定] − [コントロールパネル] − [システム] を選択してください。Windows 2000 Server の場合は、[設定] − [コントロールパネル] を選択して、[システム] アイコンをダブルクリックします。

7
付録

3 ［ハードウェア］タブをクリックしたあと、［デバイスマネージャ］をクリックします。

4 ［USB（Universal Serial Bus）コントローラ］の下に表示されている USB クラスドライバを削除します。

❑ ［Canon LIPS USB Printer］、またはお使いのプリンタ名を選択したあと、［削除］をクリックします。

注意 USB クラスドライバ以外の項目は、絶対に削除しないでください。誤って削除した場合は、Windows が正常に動作しなくなることがあります。

重要 USB クラスドライバの項目が［その他のデバイス］の下に表示されている場合も、正常にインストールされていません。ご使用の OS に応じて、USB クラスドライバの項目を選択したあと、削除してください。

5 ［デバイスの削除の確認］ダイアログボックスが表示されたら、［OK］をクリックします。

6 ［閉じる］をクリックします。

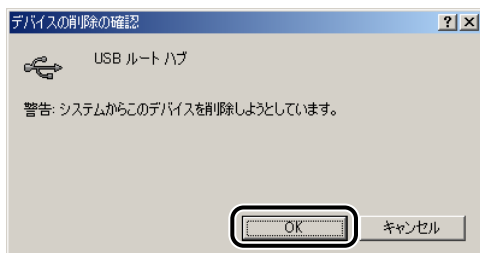
7 ［コントロールパネル］を閉じます。

8 USB ケーブルをコンピュータから外したあと、Windows を再起動します。

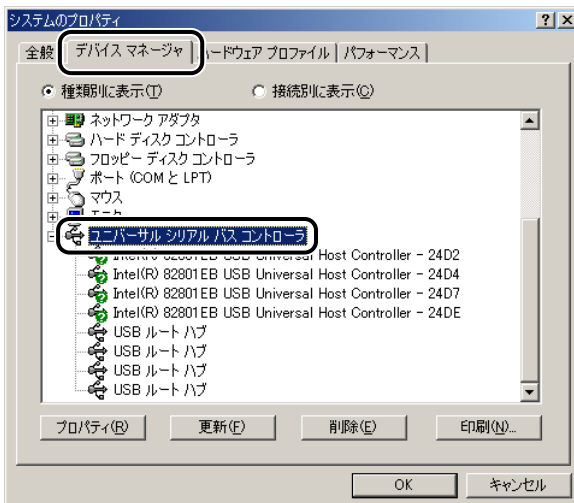
9 「プリンタドライバをアンインストールする」（→ P.2-43）を参照してドライバをアンインストールしたあと、「USB 環境をお使いの場合」（→ P.2-16）を参照して USB クラスドライバをインストールします。

重要 ドライバのインストールを正常に終了できなかった場合は、ドライバをインストールしなおす前に、必ずドライバをアンインストールしてください。

Windows 98/Me の場合

1 **コンピュータとプリンタが USB ケーブルで正しく接続されていること、およびプリンタの電源が入っていることを確認します。**

2 **[スタート] メニューから [設定] − [コントロールパネル] を選択して、[システム] アイコンをダブルクリックします。**

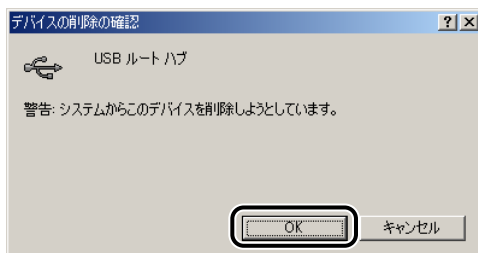
[システムのプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。

3 **[デバイスマネージャ] タブをクリックしたあと、[ユニバーサルシリアルバスコントローラ] をダブルクリックします。**

4 **[ユニバーサルシリアルバスコントローラ] の下に表示されている USB クラスドライバを削除します。**

❑ [Canon LIPS USB Printer]、またはお使いのプリンタ名を選択したあと、[削除] をクリックします。

注意 USB クラスドライバ以外の項目は、絶対に削除しないでください。誤って削除した場合は、Windows が正常に動作しなくなることがあります。

重要 USB クラスドライバの項目が [その他のデバイス] の下に表示されている場合も、正常にインストールされていません。ご使用の OS に応じて、USB クラスドライバの項目を選択したあと、削除してください。

5 ［デバイスの削除の確認］ダイアログボックスが表示されたら、［OK］をクリックします。

6 ［閉じる］をクリックします。

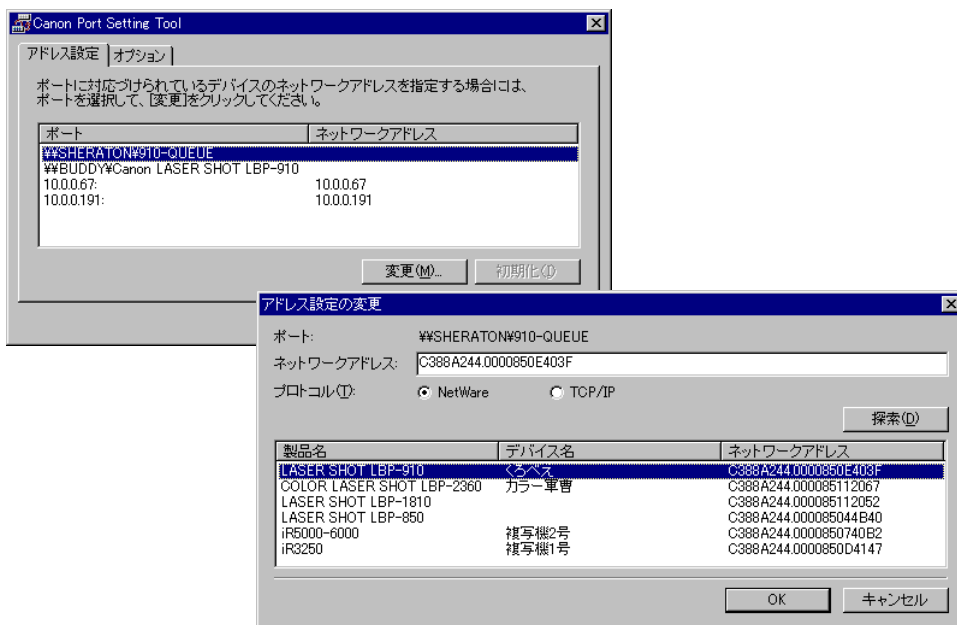
7 ［コントロールパネル］を閉じます。

8 USB ケーブルをコンピュータから外したあと、Windows を再起動します。

9 「プリンタドライバをアンインストールする」（→ P.2-43）を参照してドライバをアンインストールしたあと、「USB 環境をお使いの場合」（→ P.2-16）を参照して USB クラスドライバをインストールします。

重要 ドライバのインストールを正常に終了できなかった場合は、ドライバをインストールしなおす前に、必ずドライバをアンインストールしてください。

Canon Port Setting Tool でポートを設定する

Canon Port Setting Tool は、コンピュータにインストールされているデバイスと、デバイスのネットワークアドレスの対応付けを行うことができます。ドライバのデバイス情報取得が正しく動作していないときや、NetSpot Job Monitor のデバイスボードやステータスモニタが正しく動作していないときなどにお使いください。
NetSpot Job Monitor をインストールしている場合は、NetSpot Job Monitor の、デバイス情報取得の更新間隔や機種チェック機能の設定なども行うことができます。
Canon Port Setting Tool を起動するには、お使いのドライブ内の［Program Files¥Canon¥Portset］フォルダにある［Portset.exe］をダブルクリックします。

重要　本ソフトウェアは、Macintosh 環境では使用できません。

メモ
- 本ソフトウェアは、インストーラ使用時にドライバと同時にインストールされます。
- Canon Port Setting Tool の詳細は、ヘルプファイルを参照してください。ヘルプファイルは、Canon Port Setting Tool を起動して［ヘルプ］をクリックすると表示されます。

索引

英数字

か

7
付録

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

消耗品・オプション製品のご購入ご相談窓口

消耗品・オプション製品はお買い上げ頂いた販売店、またはお近くのキヤノン製品取り扱い店にてお買い求めください。ご不明な場合は、下記お客様相談センターまでご相談ください。

修理サービスご相談窓口

修理のご相談は、お買い上げ頂いた販売店にご相談ください。
ご不明な場合は、下記お客様相談センターまでご相談ください。

Canon キヤノン株式会社・キヤノンマーケティングジャパン株式会社

お客様相談センター （全国共通番号）

050-555-90061

[受付時間]　＜平日＞ 9:00～20:00　＜土日祝日＞ 10:00～17:00
（1/1～3は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は043-211-9627をご利用ください。
※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

キヤノンマーケティングジャパン株式会社　〒108-8011　東京都港区港南2-16-6
Canonホームページ：http://canon.jp

USRM1-0992-00